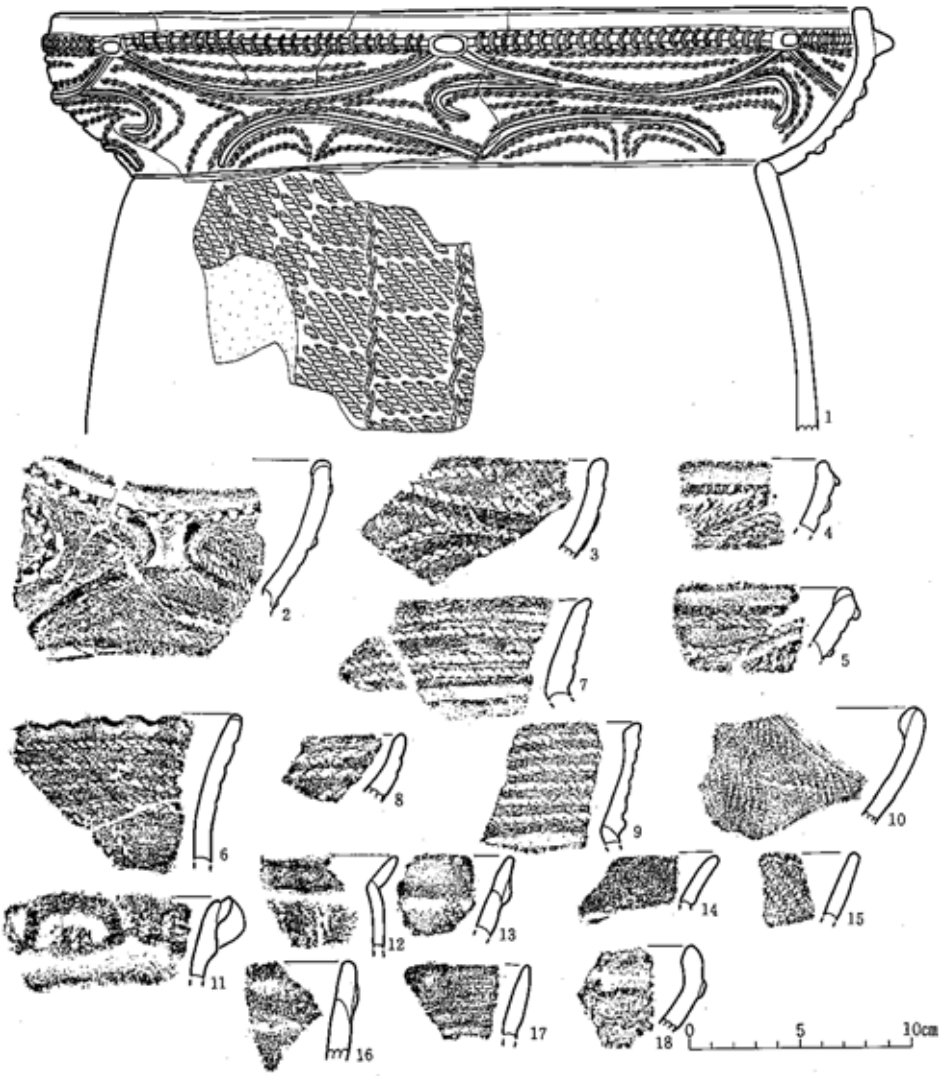
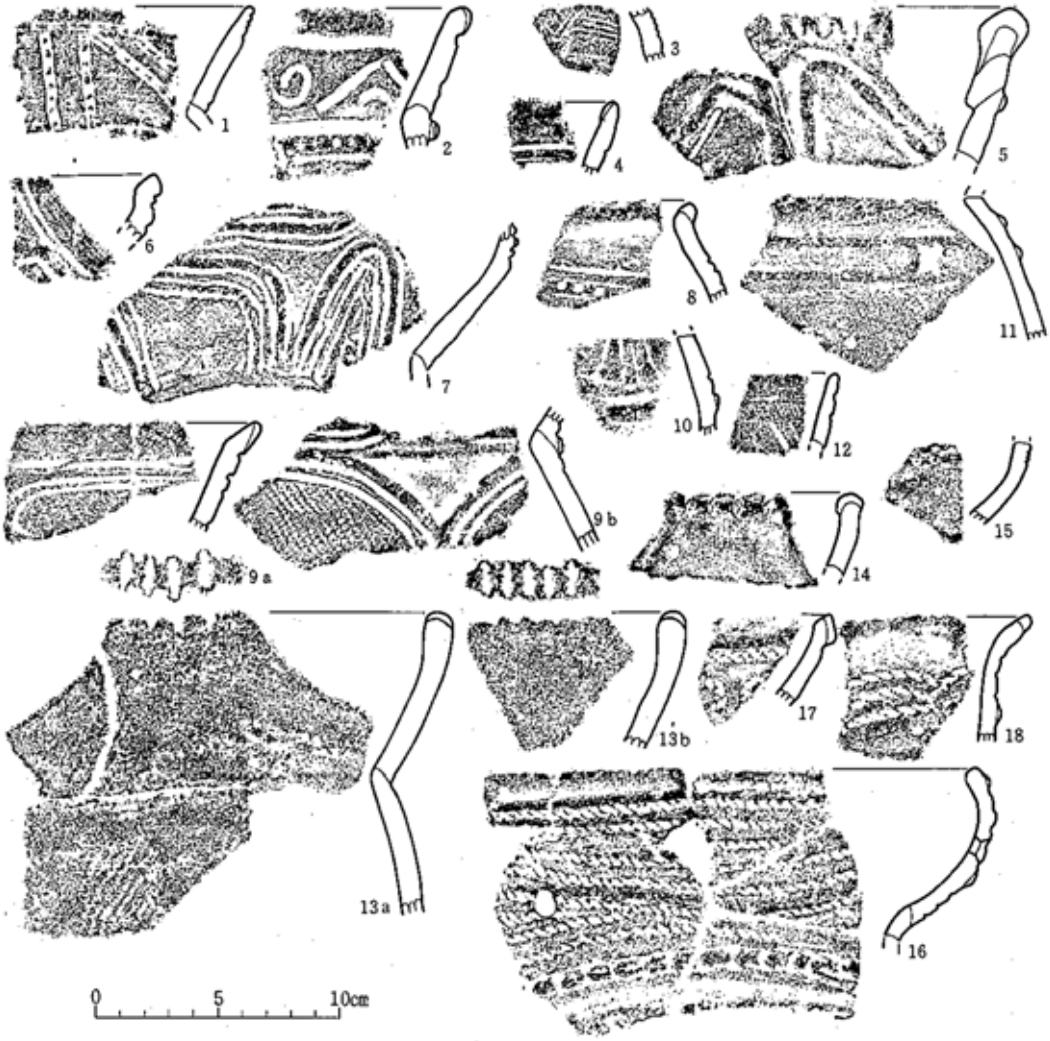


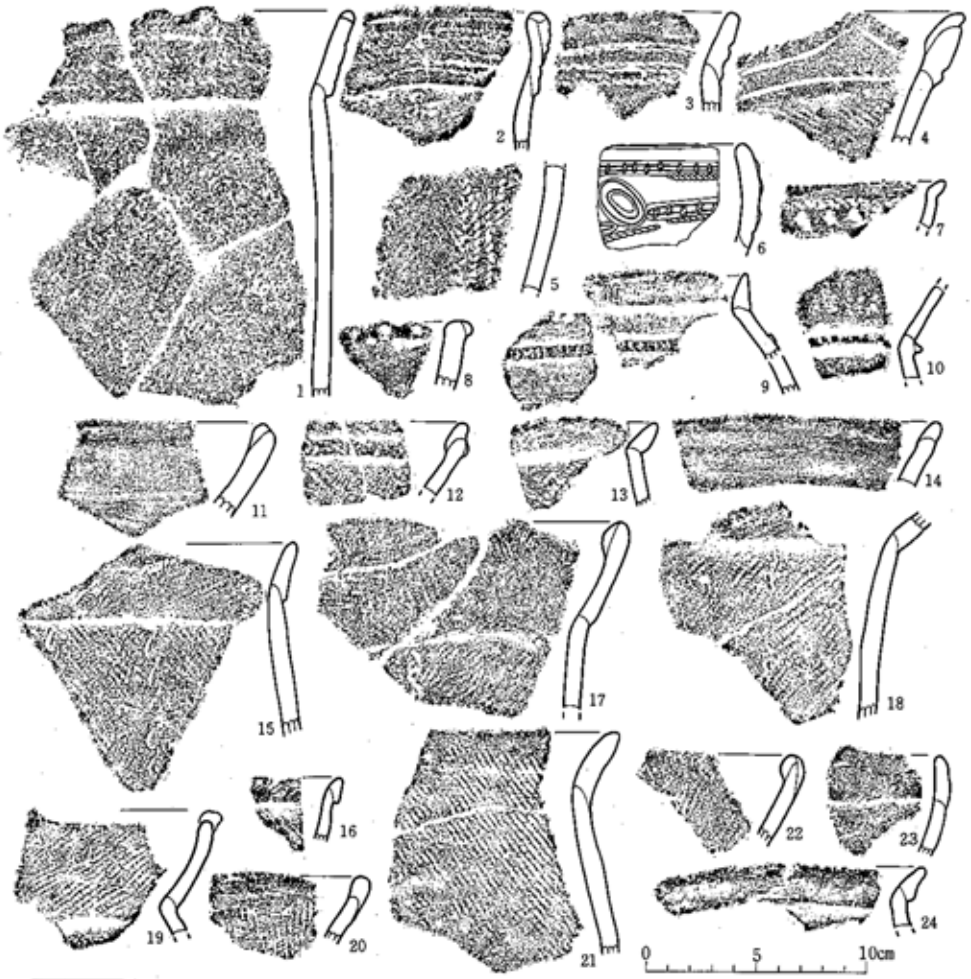
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO86区・4層, CM86区・2層, CP86区・4層, CP86区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)4C	口縁形：平縁，口縁に沿う隆線文，平面形等間による刺突文（隆線上），梅円形貼付文，相対する弧状隆線文，隆帯状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（斜結び一軸）	233
2	CO86区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)4C	口縁部：波状縁，区画隆線文，刺突文（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（Lr）	233
3	CO86区・4層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	233
4	CO86区・4層	深鉢・D(Ⅰ)8C	口縁部：平縁，区画隆線文，縦位刺目文（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（LR,RL）	233
5	CO86区・4層	深鉢・D(Ⅰ)8C	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	233
6	CO86区・4層	深鉢・S5a	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（上唇），横位平行押圧縄文（LR）	233
7	CO86区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	233
8	CO86区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	233
9	CO86区・西ベルト4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	233
10	CO86区・北ベルト4層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，縄文（RL）	233
11	CO86区・4層	深鉢・S－	口縁部：平縁，弧状貼付文，口縁に沿う隆線文，交互指頭状圧痕（隆線上），縦位押圧縄文（LR）	233
12	CO86区・4層	深鉢・V2	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）結節文（二重結び）	233
13	CO86区・4層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	233
14	CO86区・4層	深鉢・W－	口縁部：平縁，無文	233
15	CO86区・西ベルト4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL）	233
16	CO86区・西ベルト4層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	233
17	CO86区・4層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	233
18	CO86区・4層	深鉢・－	口縁部：平縁，無文	233

第106図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・4層(3)）



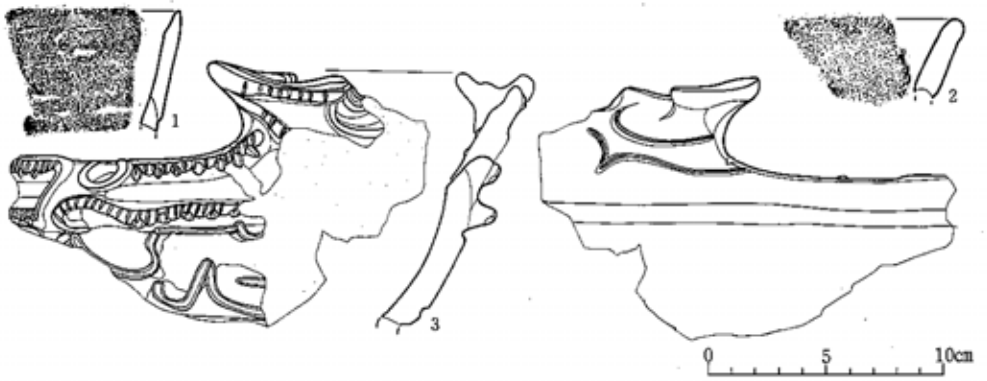
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO86区・3層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，半截竹管による区画押引き文	234
2	CO86区・北ベルト3層	深鉢・H2b(？)	口縁部：平縁，口縁に沿う沈線文，横帯状沈線文，弧状沈線文，胴部：横位隆帯，刺目文，胴部：横位沈線文	234
3	CO86区・北ベルト3層	深鉢・H2b	胴部：半截竹管による平行沈線文，羽状縄文（RL,LR～結束の有無は不明）	234
4	CO86区・ベルト・3層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（RL）	234
5	CO86区・北ベルト3層	深鉢・D(ⅡC2)1a	口縁部：波状縁，横位刺目文，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	234
6	CO86区・3層	深鉢・D(ⅡC2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，弧状沈線文	234
7	CO86区・北ベルト3層	深鉢・D(ⅡC2(？))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	234
8	CO86区・西ベルト3層	深鉢・N−	口縁部：波状縁，無文，胴部：半截竹管による横位平行沈線文，刺突文	234
9a,b	CO86区・西ベルト3層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，区画沈線文，縄文（LR），胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	234
10	CO86区・ベルト・3層	深鉢・N9a	胴部：隆線文，区画沈線文	234
11	CO86区・3層	深鉢・N9a	胴部：横位隆線文，「ﾆ」字状貼付文，縄文（LR）	234
12	CO86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)8b(？)	口縁部：平縁，区画沈線文	234
13a,b	CO86区・西ベルト3層	深鉢・D(ⅡC2)5	口縁部：波状縁，横位刺目文（波頂部），無文（ナデ），胴部：縄文（RL）結節文	234
14	CO86区・北ベルト3層	深鉢・D(ⅡC2)5	口縁部：波状縁，横位押圧縄文（Lr）（波頂部）	234
15	CO86区・西ベルト3層	浅鉢・D−	胴部：横位平行沈線文，円形竹管文	234
16	CO86区・北ベルト3層	深鉢・D6C	口縁部：平縁，弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文(Lr)，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による刺突文，擦痕状	234
17	CO86区・3層	深鉢・D6C	口縁部：平縁，区画押圧縄文（LR）	234
18	CO86区・3層	深鉢・D or S−	口縁部：平縁，「の」字状貼付文，連弧状押圧縄文（LR）	234

第107図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・3層(1)）



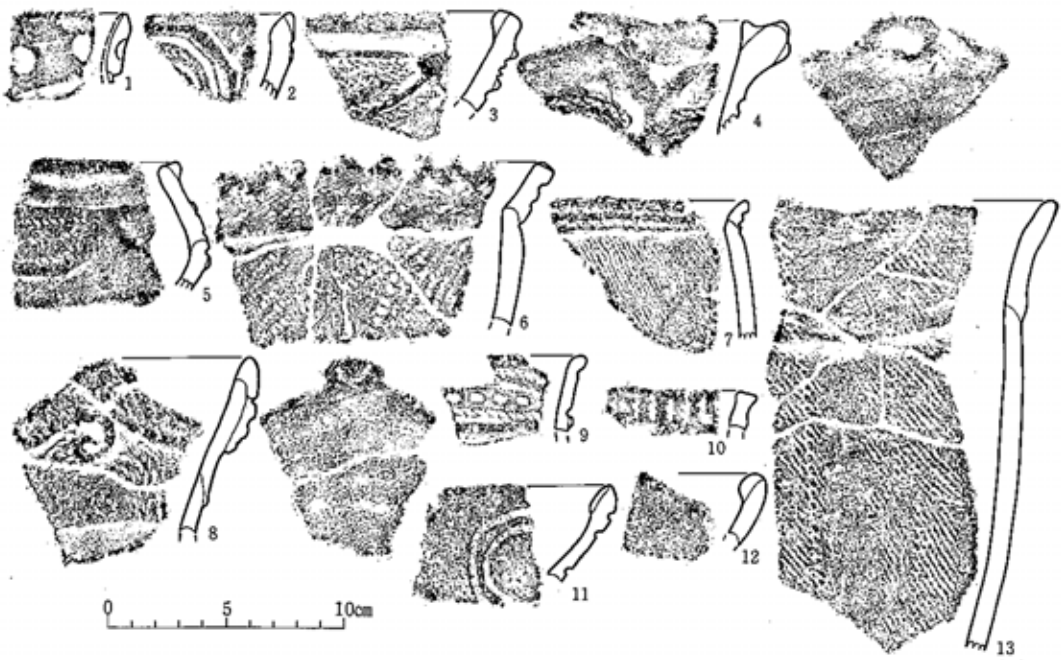
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO86区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（上端），横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（摩滅）	235
2	CO85区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（摩滅）	235
3	CO86区・西ベルト3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	235
4	CO86区・3層	深鉢・D(Ⅱa)2	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，横位沈線文，胴部：縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	235
5	CO86区・3層	深鉢・N7b	胴部：区画押圧縄文（Lr），結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	235
6	CO86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，横位平行隆線文，縦位押圧縄文（LR）（隆線上），円環状貼付文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	235
7	CO86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，口縁に沿う押圧縄文（LR），刺突文	235
8	CO86区・3層	深鉢・D−	口縁部：平縁，指頭状圧痕（上端）	235
9	CO86区・北ベルト3層 CO86区・北ベルト1層	深鉢・N−	口縁部：平縁，無文，胴部：横位隆線文，半截竹管による連続刺突文（隆線上）	235
10	CO86区・3層	深鉢・D−(?)	頸部：横位隆帯，刺突文（隆帯上），半截竹管による連続刺突文	235
11	CO86区・西ベルト3層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	235
12	CO86区・北ベルト3層	浅鉢・A−	口縁部：平縁，縄文（RL），頸部：横位隆帯，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	235
13	CO86区・3層	深鉢・V2	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）	235
14	CO86区・西ベルト3層	深鉢・V2	口縁部：平縁，無文	235
15	CO86区・西ベルト3層	深鉢・V3	口縁部：波状縁，縄文（LR）胴部：縄文（LR）結節文（片結び一段）	235
16	CO85区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	235
17	CO86区・北ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縄文（LR），胴部：縄文，（LR）結節文（二重結び）	235
18	CO86区・北ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：縄文（RLR），胴部：縄文（RLR）結節文（片結び一段）	235
19	CO86区・北ベルト3層	深鉢・N11	口縁部：突起のつく平縁，縄文（LR）	235
20	CO86区・西ベルト3層	深鉢・V or W	口縁部：平縁，縄文（RL）	235
21	CO86区・北ベルト3層	深鉢・V2	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	235
22	CO86区・北ベルト3層	深鉢・V or W	口縁部：波状縁，縄文（RL）	235
23	CO86区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅱ)C2b(?)	口縁部：波状縁，無文，胴部：無文	235
24	CO85区・北ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	235

第108図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・3層(2)）



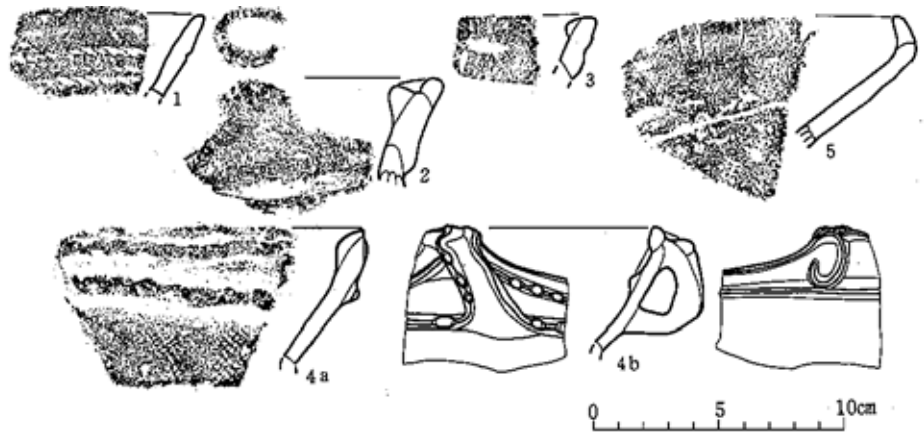
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO86区・西ベルト層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	236
2	CO86区・西ベルト層	深鉢・W5	口縁部：平縁，（摩滅）	236
3	CO86区・3層	深鉢・D(Ⅰ)5C	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起上），区画隆線文，刺突文（隆線上），縦位刺目文（隆線上），横位連続刺突文，弧状隆線文（突起内面）	236

第109図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・3層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO86区・北ベルト2層	深鉢・A(Ⅰ)−	口縁部：平縁，円形の窪み，横位沈線文	236
2	CO86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)4a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文結節文	236
3	CO86区・北ベルト2層，CO85区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8C	口縁部：平縁，区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	236
4	CO86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：突起をもつ平縁，「の」字状貼付文（上端），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	236
5	CO86区・北ベルト2層	深鉢・K5	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	236
6	CO86区・北ベルト2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状縁，隆帯状区画（上端），横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（両端ひき上）	239
7	CO86区・北ベルト2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	236
8	CO86区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅱa)6b	口縁部：波状縁，弧状押圧縄文（Lr）（波頂部内面），縦位押圧縄文（LR），渦巻状隆線文，弧状押圧縄文（LR），横位沈線縄文（LR）	236
9	CO86区・北ベルト2層	深鉢・S5	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），連続刺突文	236
10	CO86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（R ℓ）	236
11	CO86区・2層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，弧状沈線文（摩滅）	236
12	CO86区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅱc2)5(?)	口縁部：波状縁，縄文（RL）	236
13	CO85区・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，結束（第1種）縄文（Lr），胴部：結束（第1種）縄文（Lr×Lr）	236

第110図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO86区・西ベルト1層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（LR）	236
2	CO86区・北ベルト1層	深鉢・N−	口縁部：突起のつく平線，無文（ナデ）	236
3	CO86区・西ベルト1層	深鉢・W3b	口縁部：平線，縄文（LR）	236
4a,b	CO86区・西ベルト1層	深鉢・D(I)−	口縁部：突起のつく平線，隆帯起点，横位平行隆線文，指頭状圧痕（隆線上），渦巻状隆線文（内側），胴部：縄文（LR）	236
5	CO86区・西ベルト1層	浅鉢・A8c	口縁部：平線，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	236

第111図　東側遺物包含層出土土器（CO86区・1層）

第Ⅰa層（第1層）：第111図

第111図1〜4：口縁部破片である。文様構成は明らかではない。4には斜位の橋状把手が口縁部に配されている。

CP86区

第Ⅴc層（第7層）：第112図〜第114図

第112図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。胴部は膨んでいる。頸部に文様が施され、連続山形文が押引き文によって構成されている。

第112図2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は肥厚して外傾し、胴上部は膨んで、円筒状の胴下部に接続している。山形突起には円形の盲孔が付され、頸部を半截竹管による横位平行沈線文がめぐっている。底面には木葉痕が残されている。

第113図3：胴部から口縁部にむかって直線的に外傾する器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。底面には木葉痕がわずかに残されている。

第113図4：鉢形土器である。口縁部は連続して、三角形の彫去が施されている。

第113図1：胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反し、口縁部は複合口縁状を呈している。口縁部下端には縦位刻目文が連続して施されている。

第114図2：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が格子目状に施されている。

第114図3：胴部から口縁部にかけてゆるやかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部

には、横位の隆線文が3段貼付され、縦位の刻目文が加えられている。

第114図4〜6：文様意匠の施されない土器である。4〜5は口縁部に無文帯が設けられている。

第Ⅴb層（第6層）：第115図〜第116図

第115図1：口頸部が外反し、胴部が膨む器形である。口縁部には6単位の方形貼付文が付されその間に連続山形文が押圧縄文によって施されている。頸部隆帯上には、斜位刻目文が連続して施されている。

第115図2〜3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。2は口縁部に鋸歯状沈線文、頸部に半截竹管による横位平行沈線文が施されている。

第116図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。四波状を呈し、波頂部に盲孔が配され、口縁部下端には連続刺突文が施されている。

第116図2〜3：文様意匠の施されない土器である。

第Ⅴa層（第5層）：第117図〜第118図

第117図1〜2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。1は波頂部に円形の貼付文・沈線文が施され、2 の口縁部には弧状の沈線文が描かれている。頸部は、ともに半截竹管文によって文様が施されている。

第117図3：口縁部が内弯する器形である。口縁部には山形状沈線文が描かれている。

第117図4：口頸部はゆるやかに外反している。胴部に縄文が施されている。

第117図5：胴部破片である。隆線文、沈線文、交互刺突文が施されている。文様構成は明らかではない。

第118図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾し、胴下部が膨む器形である。口縁部は四波状を呈し、波頂部に円形の盲孔が配され、その間を弧状沈線文が施されている。頸部には半截竹管による横位平行沈線文、縦位貼付文が施されている。

第Ⅲb層（第4層）：第119図〜第120図

第119図1：胴部から口縁部にむかって直線的に外傾する器形である。無文。

第120図1：頸部がつよくくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形と思われる。山形状の沈線文と渦巻文が施されている。

第120図2：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する器形と思われる。半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 120 図 3〜4：頸部が「く」字状にくびれ、胴部が膨む器形である。半截竹管による平行沈線文・連続刺突文によって連続山形文・渦巻文が構成されている。

第 120 図 5〜6：口縁部破片である。5 の口縁部下端には半截竹管による刺突文が連続して施されている。

第 120 図 7：口縁部破片である。横位平行沈線文が施されている。

第 120 図 8：頸部が「く」字状にゆるくくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。「C」字状の突起が口縁上端にひとつ配されている。胴部は 4 単位の懸垂沈線文によって区画され、その間に相対する弧状沈線文、「Y」字状沈線文が施されている。頸部には 4 つの円形貼付文が付されている。

第 120 図 9：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。口縁部には区画沈線文が施されている。

第 120 図 10〜11：文様意匠が施されない土器である。

第IIIa層（第2層）：第 121 図

第 121 図 1：口頸部破片である。口縁に沿う平行沈線文と横位平行沈線文が施されている。

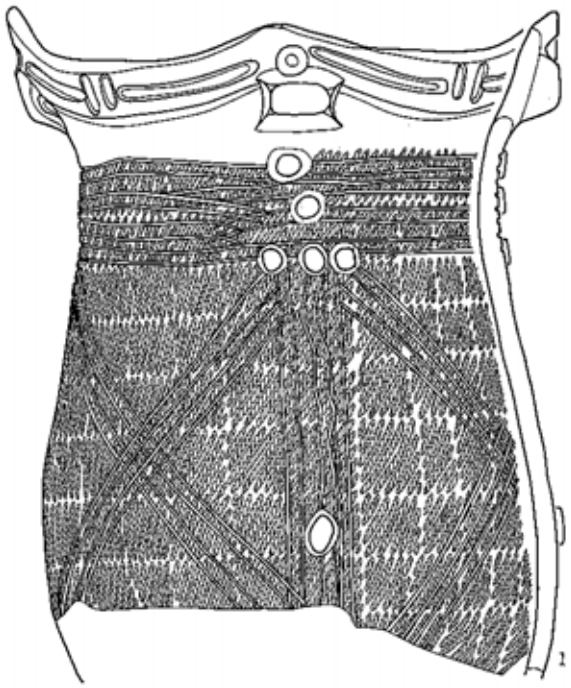
第 121 図 2〜3：胴底部破片である。3 は胴下部にくびれ部をもっている。

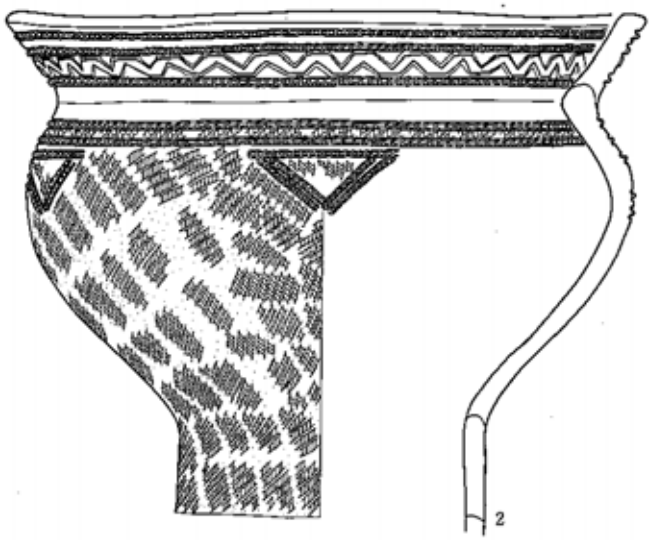
第 121 図 4〜9：文様意匠の施されない土器である。頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。7 の頸部には楕円形貼付文が付されている。

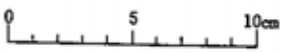
第II b層（第1層）：第 122 図

第 122 図 1：胴部破片である。懸垂隆線文が施されている。

第 122 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形である。口縁部は四波状を呈し、渦巻文・連弧文が沈線文によって施されている。

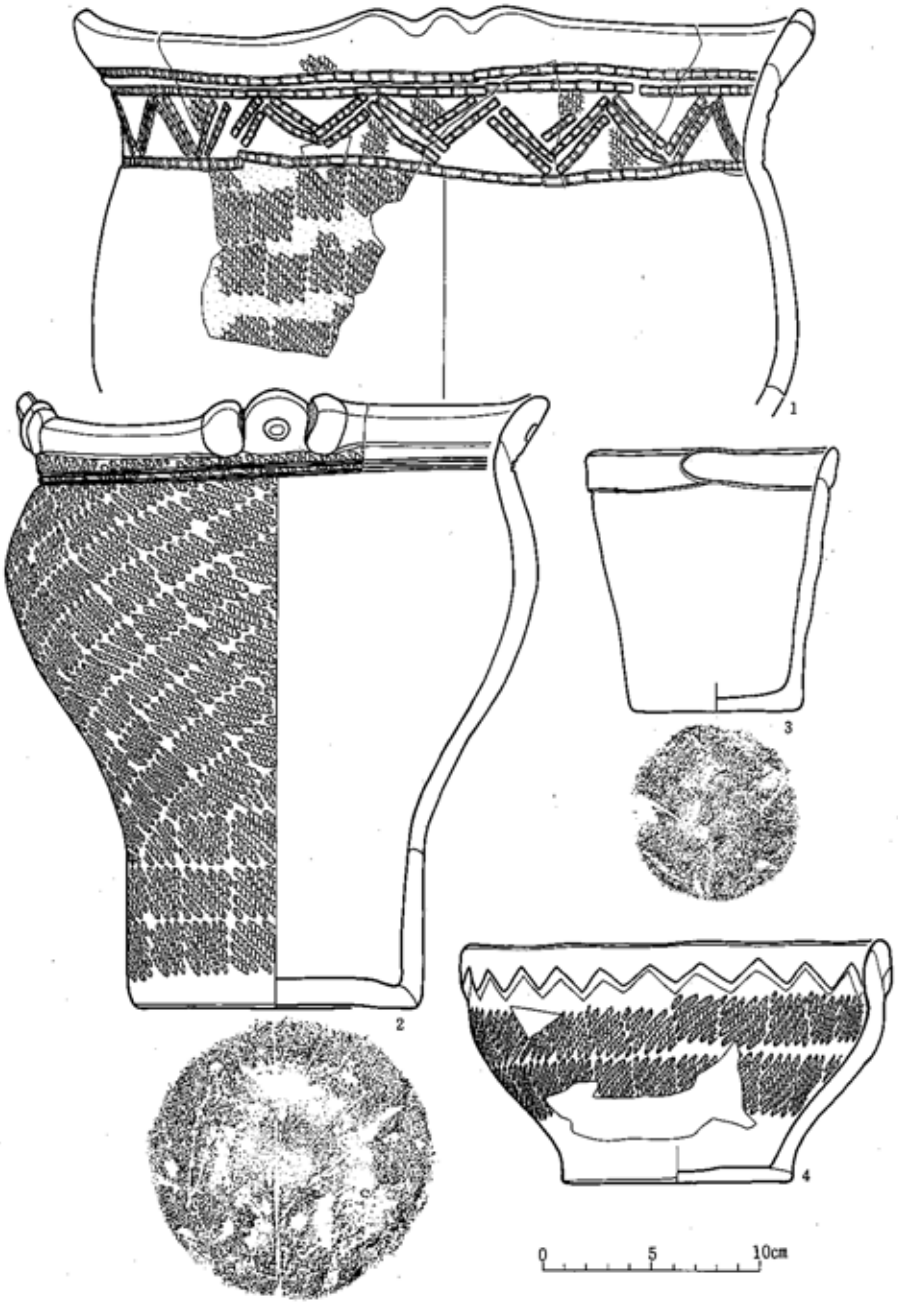






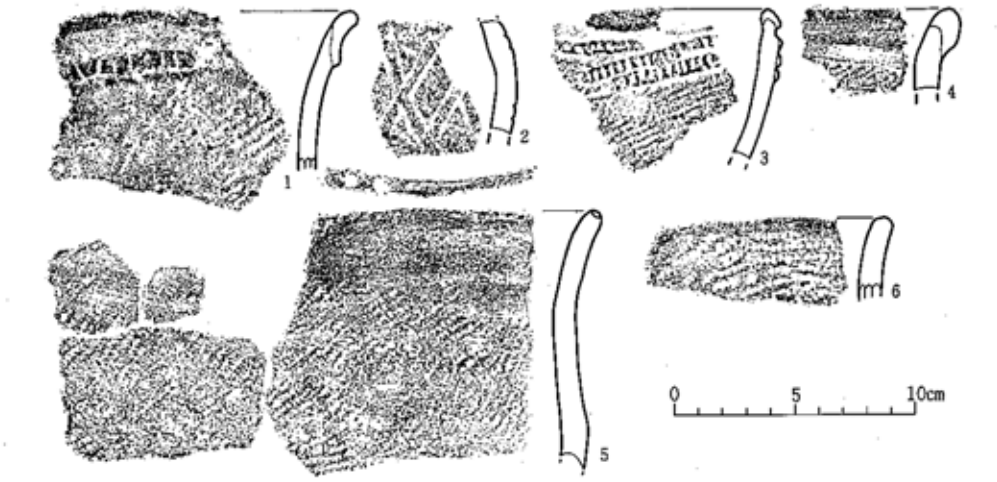
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP86区・7層	深鉢・A(II)3	口縁部：低狭縁，内部の窪孔，縄文施縄文，横位施縄文，横状紋（下縁），胴部：半截竹管による平行施縄文，円形貼付文，縄文（LR）	49－2
2	CP86区・7層	深鉢・H6a	口縁部：半截横位平行刻上細貼付文，断面状粘土細貼付文半截竹管による押引き文，胴部：横位平行刻上細貼付文，二条断続貼り細貼付文，半截竹管による押引き文，縄文（LR）	49－1

第112図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・7層(1)）



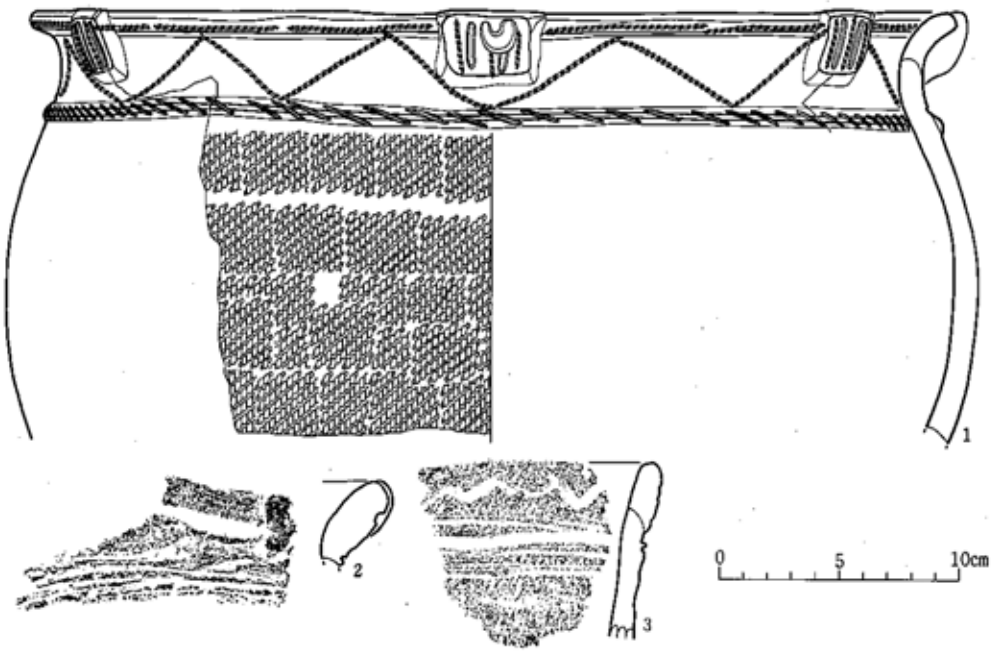
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP86区・7層、CQ86区・西ベルト6層、CP96区・西ベルト6層、46号住居跡区3層、CQ86区・6層、CQ96区・1層)、CQ87区・1層、CQ97区一括遺物	深鉢・B1	口縁部：波状縁、無文、頸部：横位平行押引き文、連続山形押引き文、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	237
2	CP86区・7層	深鉢・H1	口縁部：山形突起のつく平縁、内形の窪み、胴部：平縁杯部による横位平行沈線文、縄文（RL）底部：木葉痕	48－1
3	CP86区・7層、CQ86区・7層	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文、底部：木葉痕→ナデ調整	48－3
4	CP86区・7層、CQ86区・6層、82年度上層161－1層	鉢・B1	口縁部：平縁、三角形の彫去（下端）、胴部：縄文（LR）、底部：無文	48－4

第113図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・7層(2)）



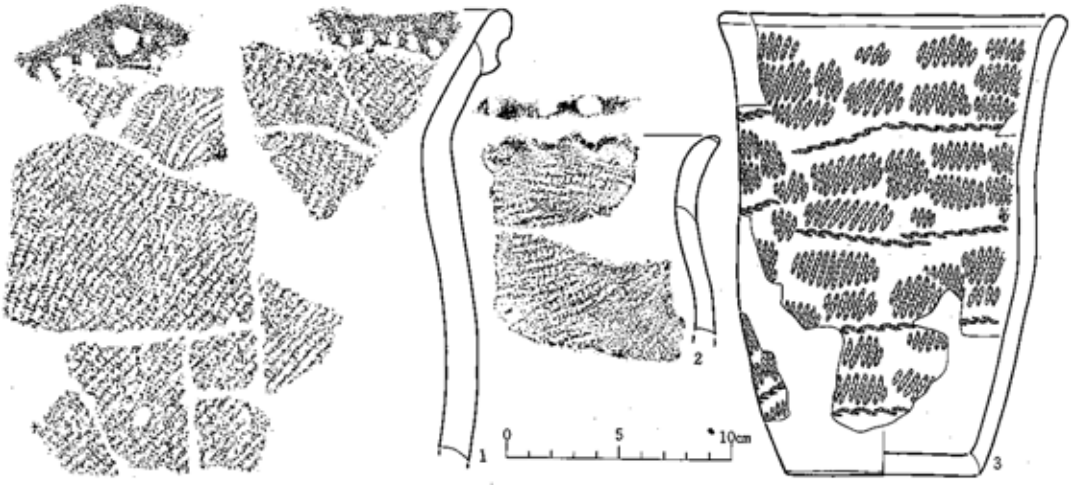
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP86区・7層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，横位刻目文〔下端〕，胴部：縄文（LR）	237
2	CP86区・7層	深鉢・Q1	胴部：羊歯状文による格子目状平行沈線文	237
3	CP86区・7層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，横位隆線文，横位刻目文〔隆線上〕，胴部：縄文（LR）	237
4	CP86区・7層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	237
5	CP86区・7層	深鉢・S9b	口縁部：平縁，刺突文〔上端〕，無文，胴部：縄文（LR）	237
6	CP86区・7層	深鉢・A(I)5b	口縁部：平縁，縄文（LR）	237

第114図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・7層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP86区・6層，CM85区・北ベルト2層，CQ86区・1層	深鉢・B1	口縁部：平縁，方形貼付文，横位沈線文，〔貼付上〕，横位押圧縄文〔貼付上〕，弧状沈線文，口縁に沿う押圧縄文(LR)，連続山形押圧縄文(LR)，胴部：横位施帯，斜位結束沈線文〔施帯上〕，胴部：縄文(LR)	50－1
2	CP86区・6層	深鉢・A(II)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，羊歯状文による横位平行沈線文，横位貼付文	237
3	CP86区・6層，CP87区・7層	深鉢・A(I)3	口縁部：平縁，細隆状沈線文，胴部：羊歯状文による横位平行沈線文，縄文（LR）〔※CP87区・7層に同一個体あり〕	237

第115図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・6層(1)）

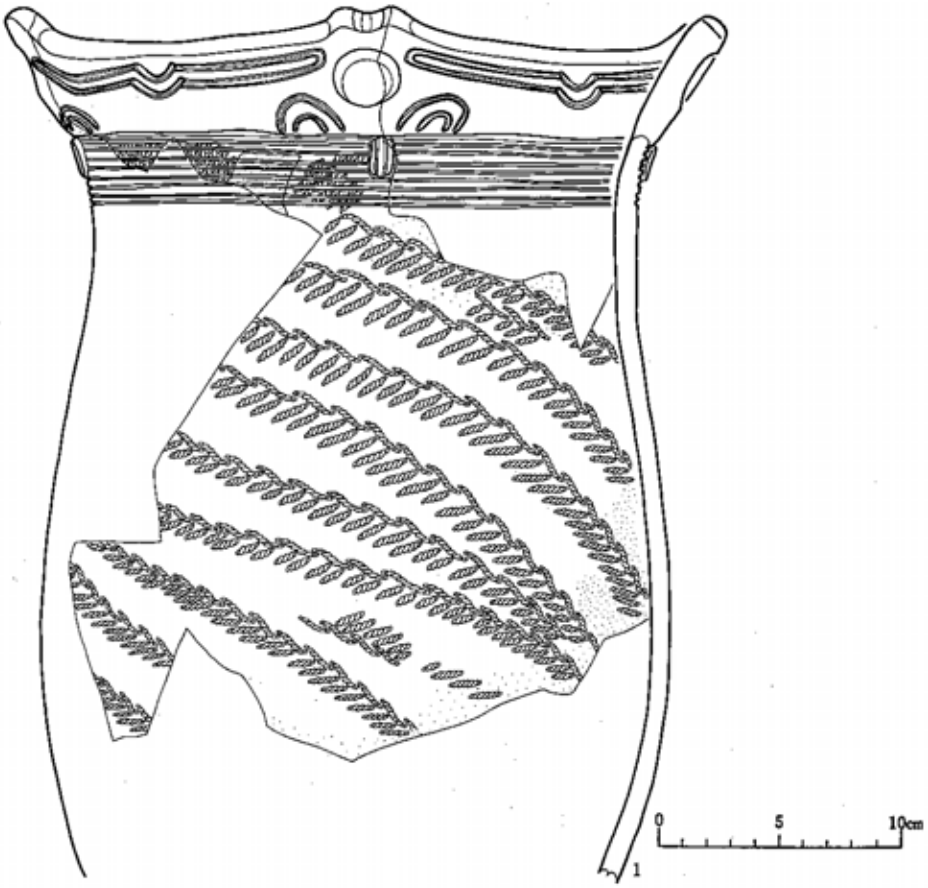


番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CP86区・6層	深鉢・A(II)4	口縁部：波状線，盲孔，斜突文（下端），胴部：縄文（LR）	236
2	CP86区・6層	深鉢・A(I)3a	口縁部：小波状線，指頭状圧痕（上端），胴部：縄文（LR）	237
3	CP86区・6層	深鉢・S10a	口縁部：平線，縄文（LR）横位文（片結び一原），胴部：縄文（LR）横位文（片結び一原）	49－5

第116図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・6層(2)）

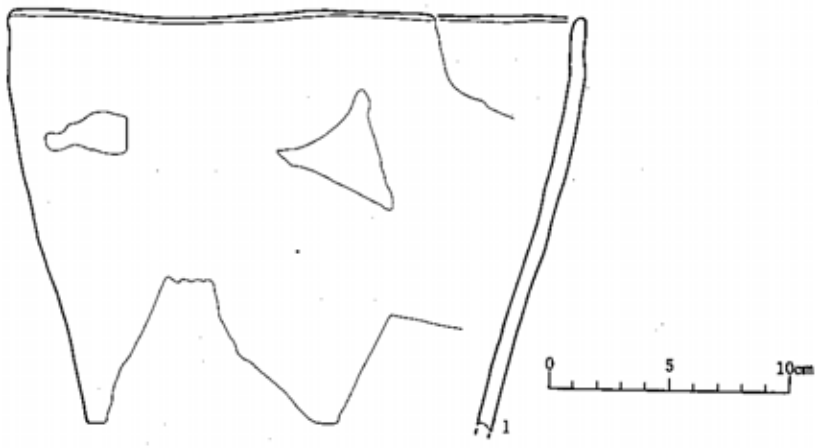
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CP86区・西ベルト5層	深鉢・A(II)2	口縁部：波状線，刺突文（上端），円形貼付文，斜突文，連続刺突による横位平行沈線文，胴部：円形貼付文，斜突文，連続刺突による横位平行沈線文	237
2	CP86区・5層	深鉢・A(II)4	口縁部：平線，波状沈線文，胴部：平線状管による横位平行沈線文，平線状管による連続刺突文，縄文（LR）	238
3	CP86区・北ベルト5層	深鉢・A(II)2(?)	口縁部：突起のつく平線，山形状沈線文，胴部：縄文（LR）	238
4	CP86区・北ベルト5層 CP86区・北ベルト4層 CP86区・北ベルト2層	深鉢・W2a	口縁部：平線，無文，胴部：縄文（LR）	238
5	CP86区・西ベルト5層	深鉢・F(I or II)1	胴部：円環状貼付文，沈線に沿う沈線文，交互刺突文，押引き文	238

第117図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・5層(1)）



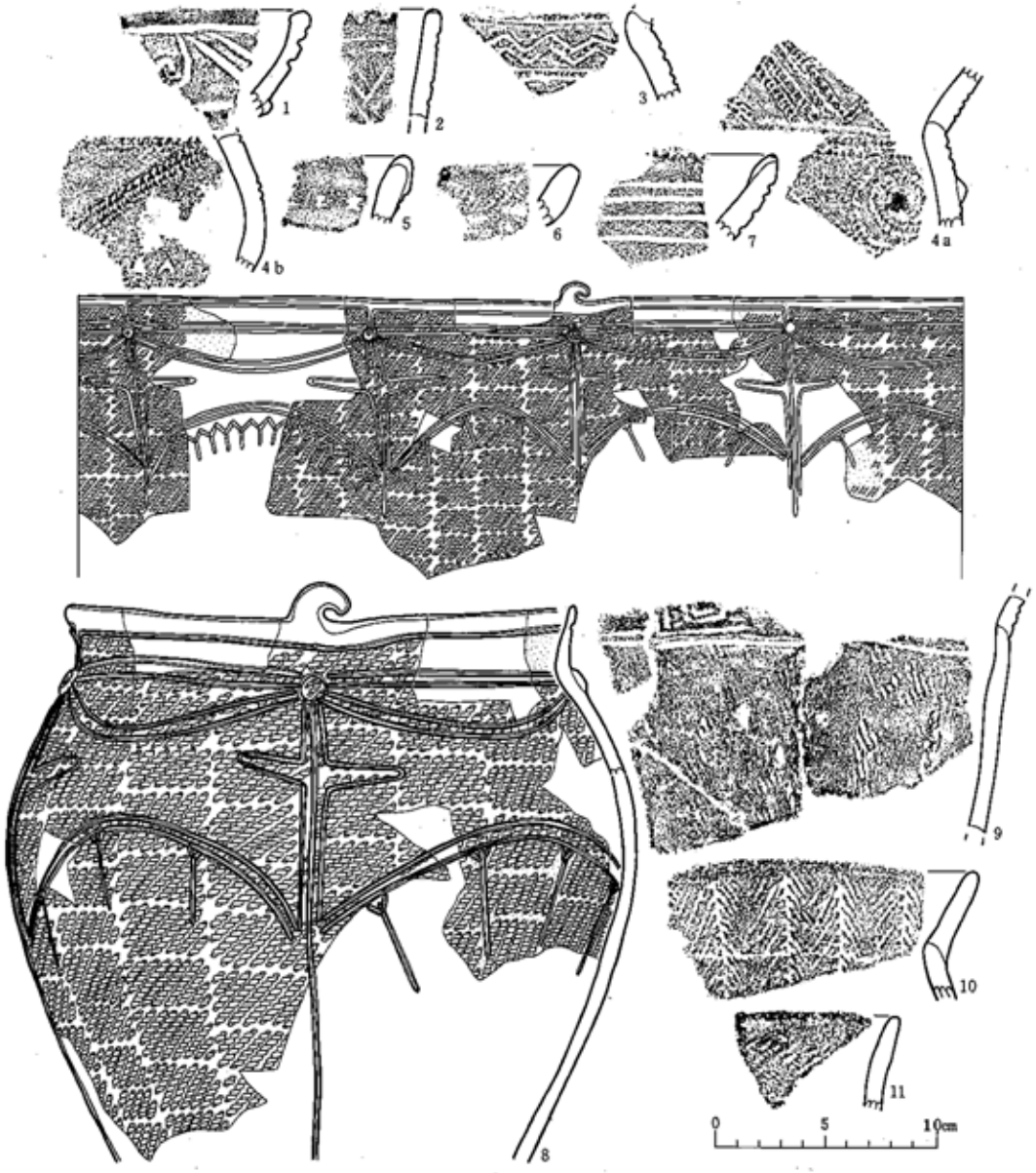
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP86区・北ベルト5層 82年度土壙606-1層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁、内部の窪み、口縁に沿う沈線文、波状状沈線文、頸部：半截竹管による横位平行沈線文、縦位貼付文、縦位沈線文（隆線上）、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一種）	50－2

第118図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・5層(2)）



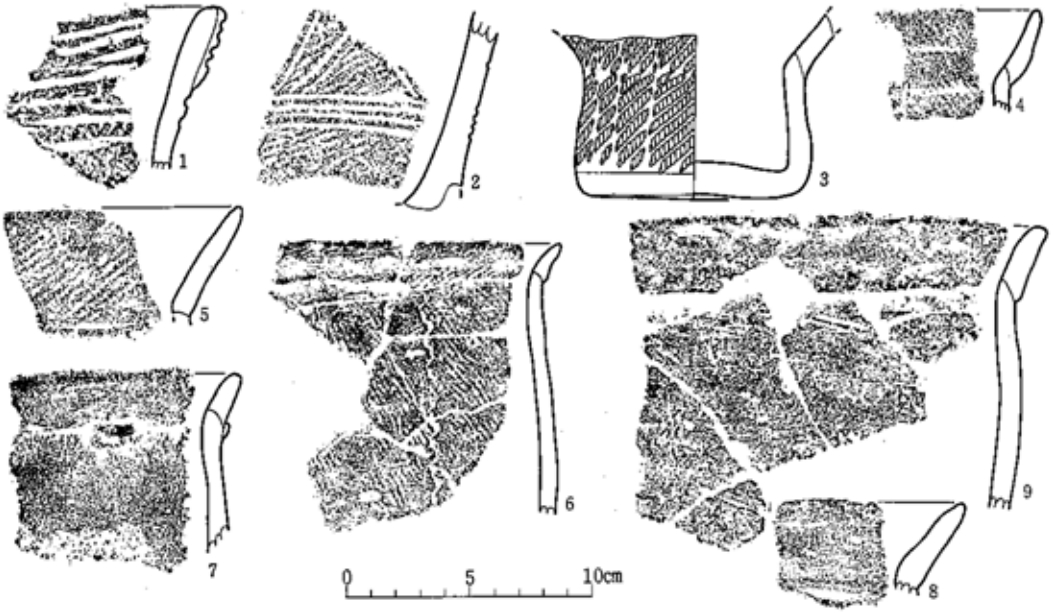
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP86区西ベルト・4層 CP86区西ベルト・3層 CP86区西ベルト・2層	深鉢・S11b	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	238

第119図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・4層(1)）



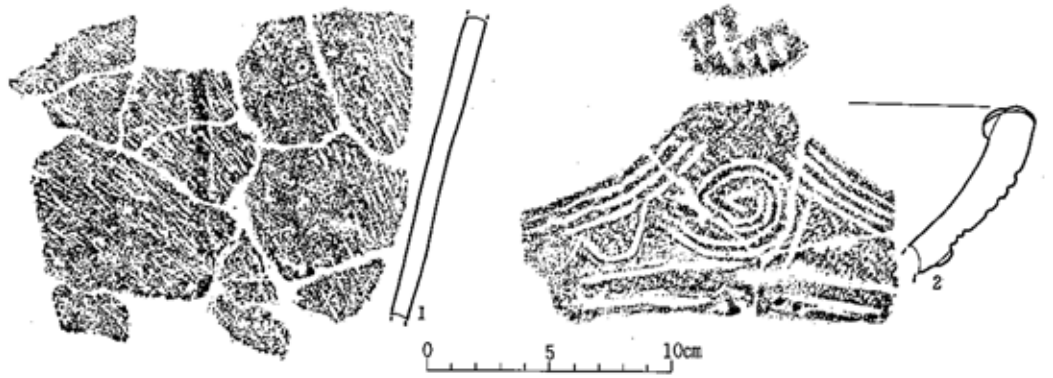
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CP86区・北ベルト4層	深鉢・N2−	口縁部：平縁，口縁に沿う沈線文，山形状区画沈線文，渦巻状沈線文，頸部：横位施帯，横位沈線文	238
2	CP86区・4層	深鉢・S−	口縁部：平縁，綱位刺目文，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による山形状平行沈線文，	238
3	CP86区・西ベルト4層	深鉢・N3−	口縁部：半截竹管による山形状平行沈線文，胴部：半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による渦巻状平行沈線文，円形貼付文	238
4a,b	CP86区・北ベルト4層，CP86区・北ベルト5層	深鉢・N2−	胴部：円形貼付文，半截竹管による渦巻状押引き文，半截竹管による区画押引き文，三角形の刺突	238
5	CP86区・北ベルト4層	深鉢・S9a−	口縁部：平縁，半截竹管による刺突文	238
6	CP86区・北ベルト4層	深鉢・S9b−	口縁部：平縁，縄文（LR）	238
7	CP86区・北ベルト4層	深鉢・D(I)1a	口縁部：平縁，綱位刺目文（上端），横位平行沈線文，縄文（RL）	238
8	CP86区・西ベルト4層，CP86区・西ベルト5層	深鉢・N9a	口縁部：頸部のつく平縁，「C」字状突起，横位沈線文，縄文（LR），胴部：区画沈線文，円形貼付文，「Y」字状沈線文，縄文（LR）	48−2
9	CP86区・西ベルト4層	深鉢・D(II C2)1a	口縁部：区画沈線文，横位平行沈線文，胴部：縄文（Lr）綾絡文（同結び一段）	238
10	CP86区・北ベルト4層	深鉢・V3	口縁部：平縁，結束（第1種）羽状縄文（Rℓ×Lr）胴部：結束（第1種）羽状縄文（Rℓ×Lr）	238
11	CP86区・西ベルト4層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR）	238

第120図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・4層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CP86区・北ベルト2層	深鉢・A(II)3(?)	口縁部：波状線，口縁に沿う沈線文，横位平行沈線文，胴部：横位平行沈線文，縄文（RL）	239
2	CP86区・北ベルト2層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	239
3	CP86区・北ベルト2層	深鉢・H−	胴部：縄文（LR），底部：（摩滅）	
4	CP86区・北ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：平線，縄文（Lr）	239
5	CP86区・西ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：平線，縄文（LR）	239
6	CP86区・西ベルト2層	深鉢・V3	口縁部：平線，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）	239
7	CP86区・北ベルト2層	深鉢・E(I)10	口縁部：平線，無文，胴部：楕円形貼付文，無文	239
8	CP86区・北ベルト2層	深鉢・W5	口縁部：平線，無文	239
9	CP86区・西ベルト2層	深鉢・W5	口縁部：平線，無文，胴部：無文	239

第121図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・2層）

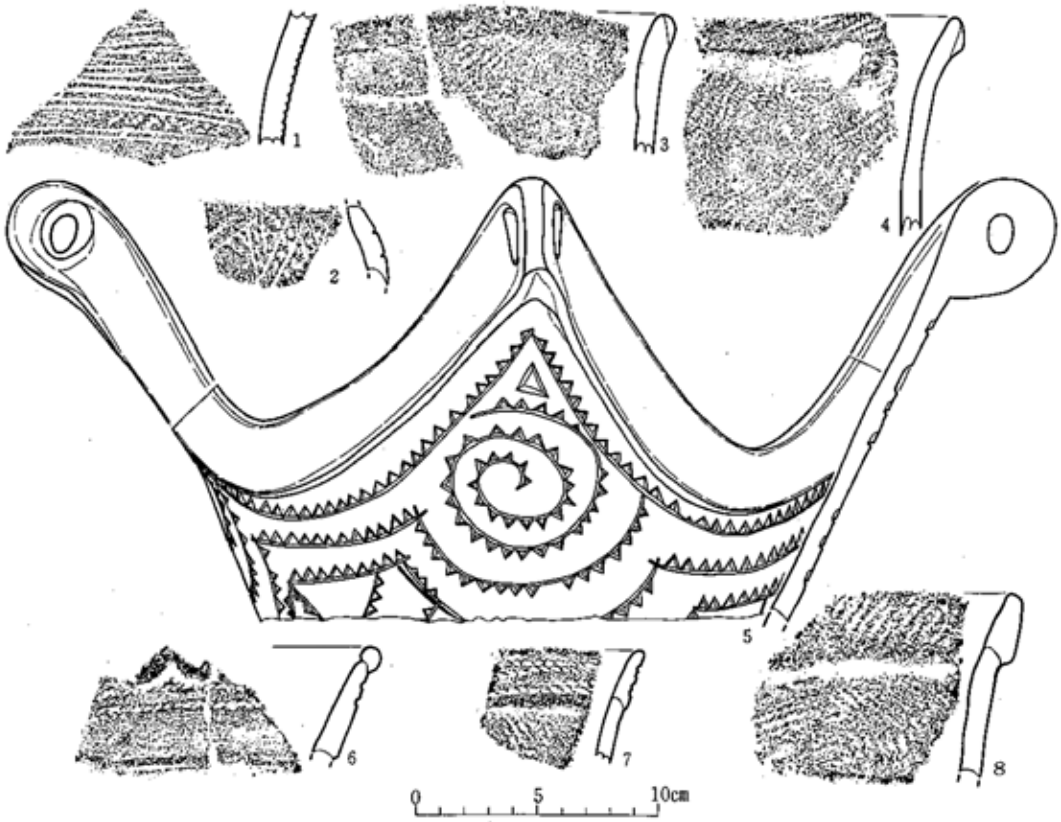


番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CP86区・西ベルト1層	深鉢・E(I)4d	口縁部：懸垂線文，縄文（LLr）	239
2	CP86区・西ベルト1層	深鉢・N4a or 5a	口縁部：波状線，横位刺目文（波頂部），口縁に沿う沈線文，渦巻状沈線文，連弧状沈線文，胴部：横位隆帯，「メ」字状貼付文，縄文（RL）	239

第122図　東側遺物包含層出土土器（CP86区・1層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CQ86区・北ベルト2層	深鉢・H2a	口縁部：波状線，粘土紐貼付文，円形貼付文	240
2	CQ86区・北ベルト2層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	240
3	CQ86区・北ベルト2層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	240

第123図　東側遺物包含層出土土器（CQ86区・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CQ86区・1層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	240
2	CQ86区・1層	深鉢・Q1−	胴部：半截竹管による山形状平行沈線文，縄文	240
3	CQ86区・1層	深鉢・S1b−	口縁部：平線，縄文（LR）（摩滅）	240
4	CQ86区・1層	深鉢・S1b−	口縁部：波状線，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	240
5	CQ86区・1層	深鉢・I1	口縁部：波状線，環状把手，胴部：渦巻状沈線文，沈線に沿う三角形の刺突，三角形の刺突	51−3
6	CQ86区・1層	深鉢・E(I)1a	口縁部：小波状部をもつ平線，横位平行押圧縄文（RL）	240
7	CQ86区・1層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	240
8	CQ86区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平線，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	240

第124図　東側遺物包含層出土土器（CQ86区・1層）

ＣQ86 区

第Ⅴa層（第2層）：第 123 図

第 123 図 1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。円形貼付文、細い粘土紐貼付文によって文様が構成されている。

第 123 図 2～3：頸部破片である。半截竹管による横位平行沈線文が施されている。

第Ⅴ´層（第1層）：第 124 図

第 124 図 1：頸部破片である。半截竹管による横位平行沈線文が施されている。

第 124 図 2：胴部破片である。半截竹管による山形状平行沈線文が施されている。

第 124 図 3～4：頸部がゆるやかに外反する器形である。文様意匠は施されていない。

第 124 図 5：胴部から口縁部にかけて直線的に外傾する器形である。口縁部は四波状を呈し、凸帯状に肥厚し、波頂部には貫通孔が配されている。渦巻文・弧状文が沈線文によって施され、三角形の彫去が連続施文されている。

第 124 図 5～7：口縁部破片である。横位平行押圧縄文が施されている。

第 124 図 8：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

（4）87 列（ＣL87 区・CM87 区・ＣN87 区・ＣO87 区・Ｃ P87 区・ＣQ87 区）

ＣL87 区

第Ⅱ層上面（第6層上面）：第 125 図

第 125 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部上端には、「S」字状を呈する突起が付され、突起下には楕円形貼付文がひとつ配されている。口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

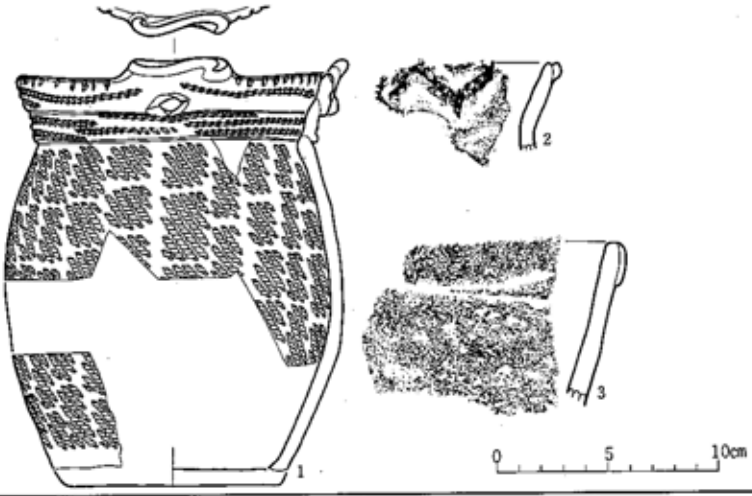
第 125 図 2：口縁部破片である。連続山形状を呈する隆線文か施されている。

第 125 図 3：口縁部は複合口縁状を呈している。

第Ⅰd層（第5層）：第 126 図～第 127 図

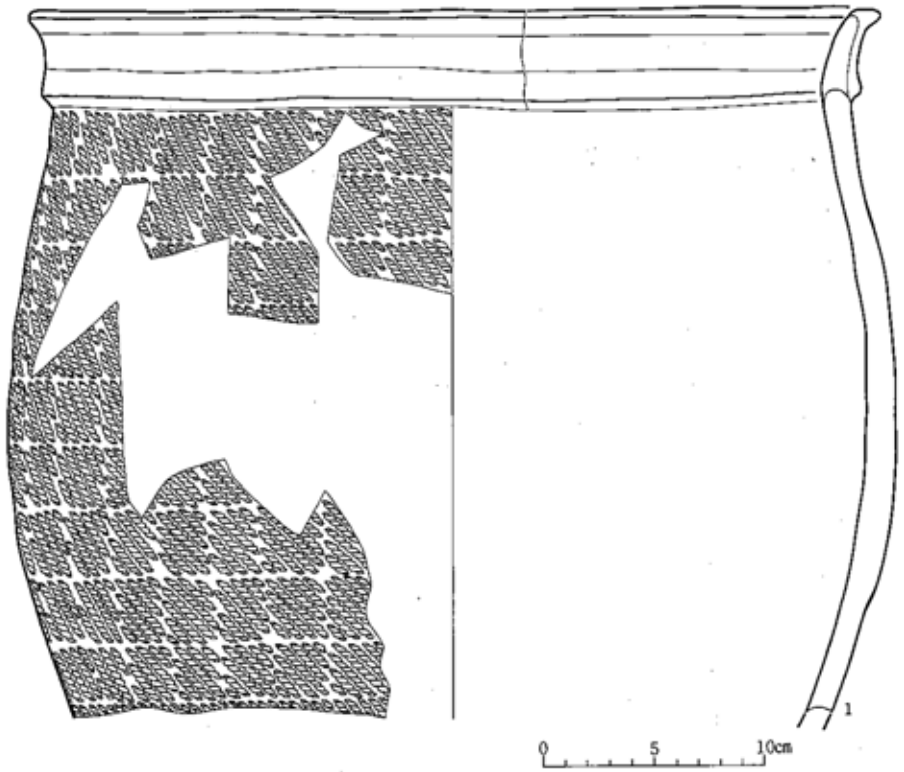
第 126 図 1：口縁部が複合口縁状を呈し、胴部がゆるやかに膨む器形である。胴部には縄文が施文されている。

第 127 図 1～3：口縁部破片である。口縁部に、1 は弧状隆線文・押圧縄文、2 は横位平行沈



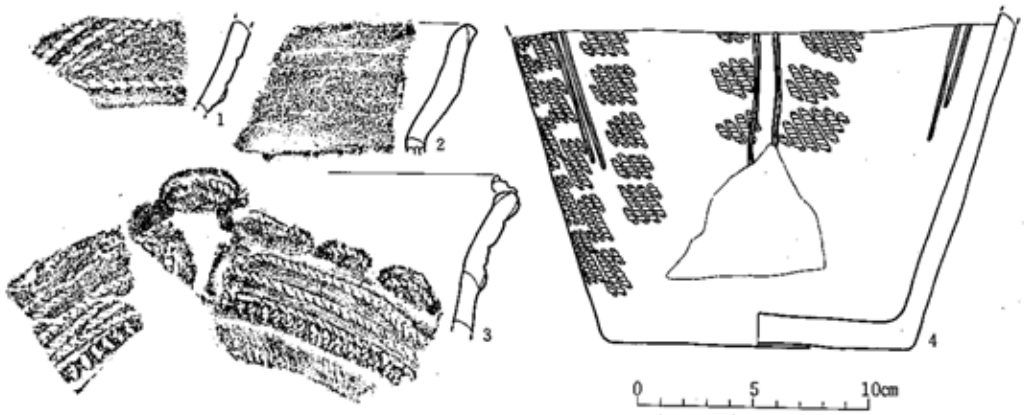
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CL87区・6層上面、CM87区・6層、CM87区・6層上面、CM87区・5層、CM87区・3層	深鉢・E(I)1b	口縁部：突起のつく平縁、「S」字状貼付文、楕円形貼付文、縄位押圧縄文（LR）（上横）、横位平行押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	52－2
2	CL87区・6層上面	深鉢・鉢(I)－	口縁部：平縁、連続山形隆線文、胴部：無文	241
3	CL87区・6層上面	深鉢・S11a	口縁部：波状縁、（摩滅）	241

第125図　東側遺物包含層出土土器（CL87区・6層上面）



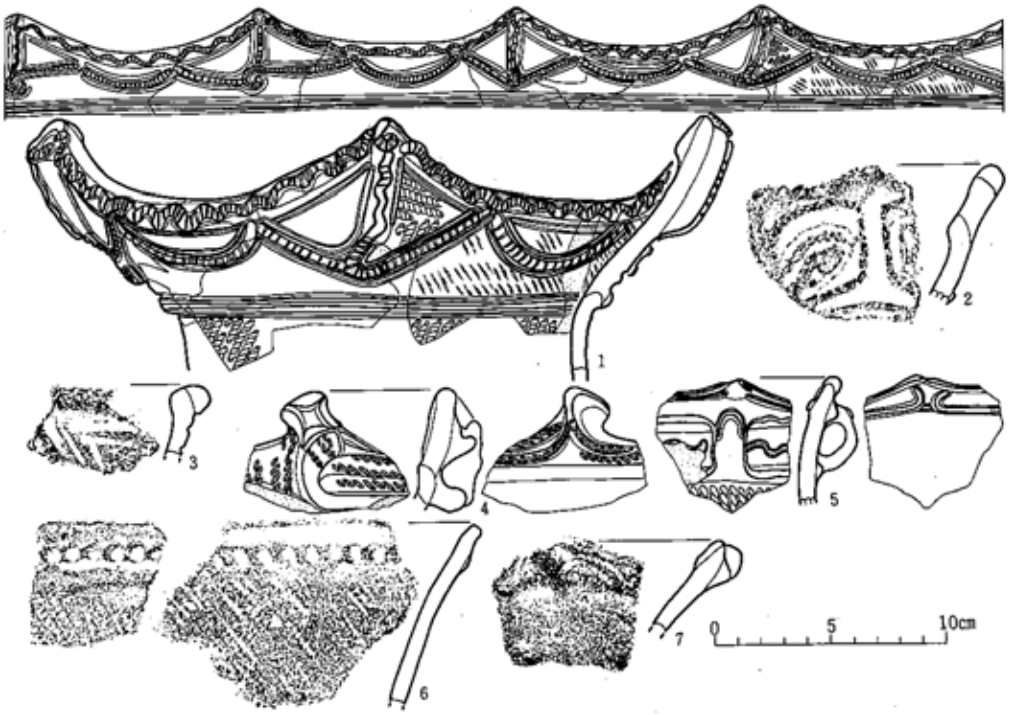
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CL87区・5層、CL87区・5層上面、CM87区・5層	深鉢・V2	口縁部：平縁、無文（ナデ）、胴部：縄文（LR）	241

第126図　東側遺物包含層出土土器（CL87区・5層(1)）



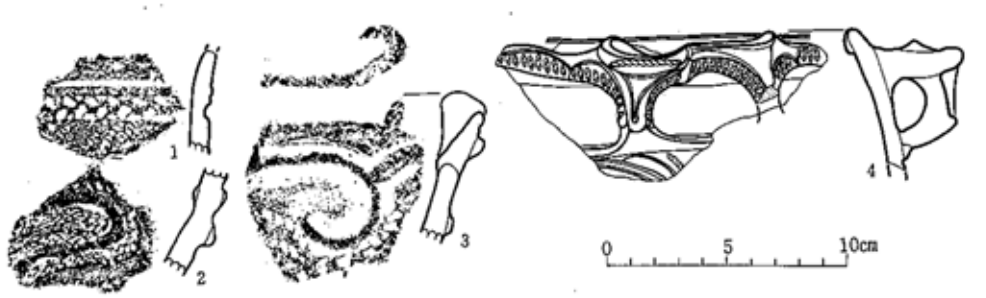
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL87区・5層	深鉢・D(Ⅰ)6c	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	241
2	CL87区・5層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，胎土：金雲母を多く含む	241
3	CL87区・5層，CM87区・5層	深鉢・D(Ⅰ)6c	口縁部：突起のつく平縁，区画隆線文（上端），連弧状貼付文，横位押圧縄文（Lr）（貼付上），「ﾒ」字状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），頸部：横位隆帯，横位押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	241
4	CL87区・5層	深鉢・—	胴部：懸垂状縦文，縄文（LR），底部：網代(—)	

第127図　東側遺物包含層出土土器（CL87区・5層(2)）



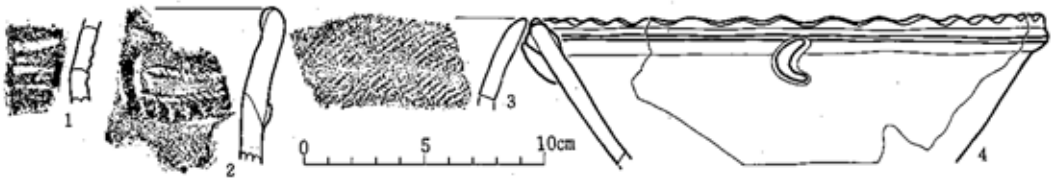
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL87区・4層	深鉢・D(Ⅱa)4b	口縁部：波状縁，区画隆線文，連弧状貼付文（胴部），横位刺目文（貼付上，隆線上），縄文(Lr，RL)，頸部：横位隆帯，横位平行沈線文，胴部：縄文（RL）	51－1
2	CL87区・4層	深鉢・E(Ⅱb)1	口縁部：波状縁，横位刺目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文	241
3	CL87区・4層	深鉢・D(Ⅰ)8b	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	241
4	CL87区・4層	深鉢・D(Ⅰ)6c	口縁部：突起のつく平縁，区画隆線文，横位押圧縄文（LR）（隆線上），横位押圧縄文（LR），口縁に沿う円土紐貼付文（内面）	241
5	CL87区・4層	深鉢・S—	口縁部：波状縁，橋状把手，鉢状貼付文（把手上），波状沈線文，横位押圧縄文（Rr），「ﾒ」字状粘土紐貼付文（内面）	241
6	CL87区・4層，CL87区・3層	深鉢・S5b	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯上），胴部：縄文（LR）	241
7	CL87区・4層	浅鉢・A6	口縁部：平縁，横位貼付文，連弧状押圧縄文（Lr），胴文：無文	241

第128図　東側遺物包含層出土土器（CL87区・4層）



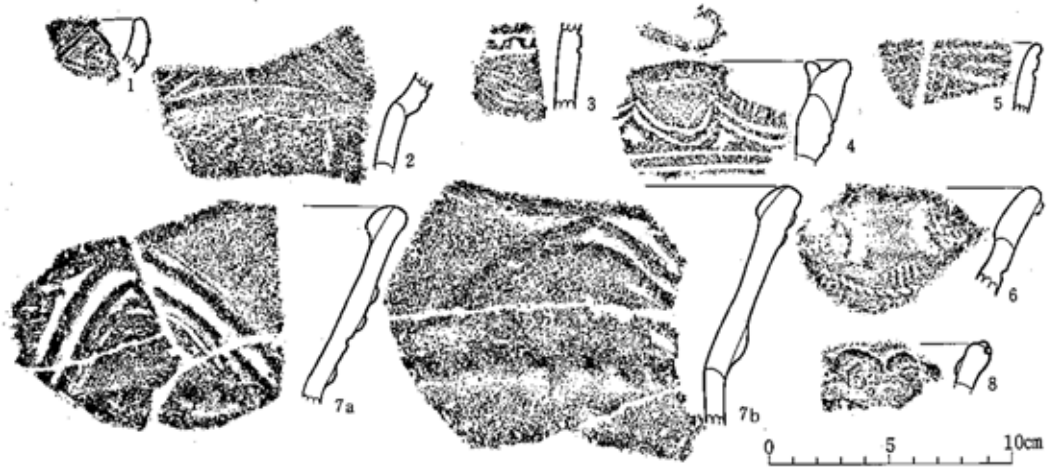
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL87区・2層	深鉢・一	胴部：横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	242
2	CL87区・2層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	242
3	CL87区・2層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	242
4	CL87区・2層	深鉢・O1	口縁部：平縁，横位平行隆線文，楕円形手，連弧状貼付文，刷毛押圧縄文（Lr）（隆線上，粗手上），横位押圧縄文（Lr）（突手上），胴部：隆線文，隆線に沿う沈線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	242

第129図　東側遺物包含層出土土器（CL87区・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM87区・6層上面	深鉢・D(Ⅰ?)1a	口縁部：横位平行沈線文，胴部：横位平行沈線文	242
2	CM87区・6層上面	深鉢・S4c	口縁部：弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），刷毛押圧縄文（Lr）（隆線上）胴部：縄文(Lr)	242
3	CM87区・6層上面	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文(LR)，胴部：縄文（LR）	242
4	CM87区・6層上面	浅鉢・A7	口縁部：小波状縁，横位隆帯，「C」字状貼付文，胴部：無文	52－6

第130図　東側遺物包含層出土土器（CM87区・6層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM87区・5層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，粘土紐貼付文，早蕨竹管による連続刺突文（貼付上）	242
2	CM87区・5層	深鉢・D(Ⅰ)8b	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	242
3	CM87区・5層	深鉢・一	胴胴部：横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	242
4	CM87区・5層	深鉢・N4a(?)	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），刷毛押目文（上端），区画沈線文，三角形の刺突，胴体：金属痕を多く含む	242
5	CM87区・5層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（Lr），弧状押圧縄文（Lr）	242
6	CM87区・5層	深鉢・E(Ⅱb)1	口縁部：波状縁，「ｚ」字状貼付文（斜落），横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	242
7a,b	CM87区・5層	深鉢・D－	口縁部：波状縁，連弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：横位隆帯，隆線状区画（隆帯上），胴部：文（LR）	242
8	CM87区・5層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，連弧状貼付文，連弧状押圧縄文（Lr）	242

第131図　東側遺物包含層出土土器（CM87区・5層(1)）

線文、3 は連弧状貼付文、連弧状押圧縄文、横位平行押圧縄文が施されている。

第 127 図 4：胴底部資料である。胴部には懸垂沈線文が描かれている。

第Ⅰc層（第4層）：第 128 図

第 128 図 1：頸部でゆるやかに外反し、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。口縁は山形状の四波状縁である。口縁部上端には連弧状貼付文、刻目文が施され、口縁部は波頂部から垂下する渦巻文、弧状文が隆線文によって施されている。頸部には隆帯が横走している。

第 128 図 2～3：口縁部被片である。隆線文・沈線文が施されている。文様構成は明らかではない。

第 128 図 4～5：口縁部破片である。ともに内面上部に文様か施されている。

第 128 図 6：口頸部はゆるやかに外反している。頸部隆帯には指頭状圧痕が連続して施されている。

第 128 図 7：浅鉢形土器である。口縁部には連弧状押圧縄文が施されている。

第Ⅰb層（第2層）：第 129 図

第 129 図 1：胴部破片である。横位平行沈線文、交互刺突文が施されている。文様構成は明らかではない。

第 129 図 2～4：口縁部破片である。2～3 は弧状ないしは渦巻状の隆線文と押圧縄文が施されている。4 は、口縁部に鍔状に張り出す隆帯がめぐり、2 個 1 対の橋状把手が設けられている。隆帯には巾広の指頭状圧痕が連続して施され、さらに縦位の押圧縄文が連続して加えられている。

CM87 区

第Ⅱ層上面（第6層上面）：第 130 図

第 130 図 1～2：口縁部破片である。1 は横位平行沈線文、2 は弧状区画隆線文、押圧縄文が施されている。

第 130 図 3：口縁部破片である。文様意匠は施されていない。

第 130 図 4：浅鉢形土器である。口縁は小波状を呈し、横位隆帯・「C」字状貼付文が配されている。

第Ⅰd層（第5層）：第131図～第132図

第131図1：口縁部破片である。細い粘土紐貼付文・半截竹管による連続刺突文が施されている。

第131図2～4：口縁部～胴部破片である。2は弧状の隆線文・沈線文が施されている。4は口縁上部に縦位短沈線文が連続施文され、口縁部に連弧状沈線文、三角形の彫去が施されている。

第131図5：口縁部破片である。横位平行押圧縄文が施文されている。

第131図7：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には弧状の隆線文・沈線文が施されている。

第131図6～8：押圧縄文が施されている。口縁部破片である。

第132図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。波頂部から垂下する懸垂隆線文間に連弧状隆線文が施されている。

第132図2：口縁部破片である。横位隆帯上には、指頭状圧痕が連続して施されている。

第132図3～4：頸胴部破片である。弧状の区画隆線文、沈線文が施されている。文様構成は明らかではない。

第Ⅰc層（第3層）：第133図

第133図1：口縁部破片である。弧状の区画隆線文・押圧縄文が施されている。

第133図2：胴部破片である。懸垂沈線文が施されている。

第133図3：口縁部には鍔状に張り出す隆帯がめぐり橋状把手が設けられる。

第133図4：口縁部が複合口縁状をなす無文土器である。

第133図5：胴底部資料である。底面には網代痕が残されている。

第133図6～7：浅鉢形土器である。6の口縁部には連弧状隆線文が施されている。

第Ⅰb層（第2層）：第134図

第134図1：口縁部破片である。「𝑥」字状貼付文の一部が施文されている。

第134図2～4：口縁部～胴部破片である。口縁部には押圧縄文が施されている。

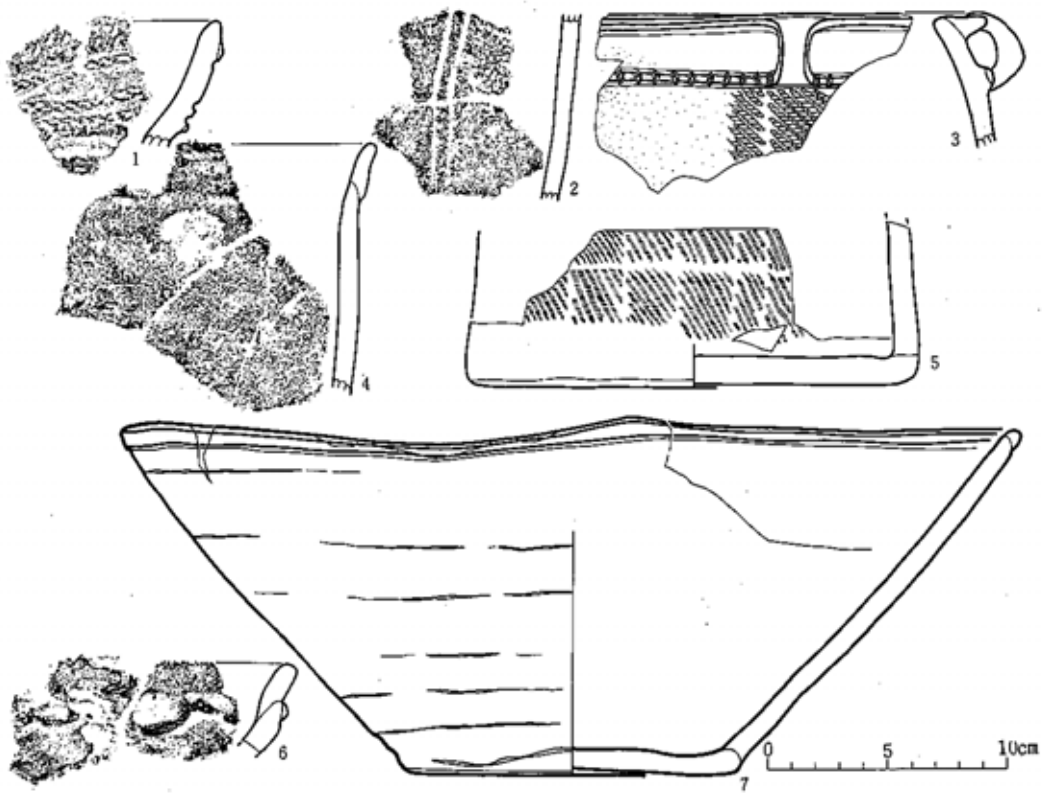
第134図5：胴部破片である。区画隆線文と沈線文が施されている。

第Ⅰa層（第1層）：第135図～第136図

第135図1～6 第136図4，9～14：押圧縄文以外の文様が施される土器である。第135図2は、波状縁を呈し、口縁上端には刻目文が連続して施され、口縁部には押引き文、三角形の彫去に

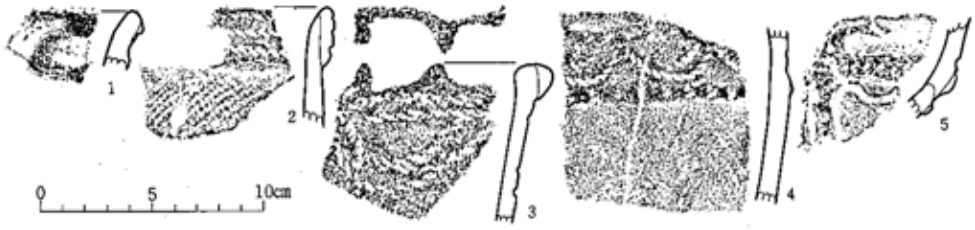
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CM87区・5層	深鉢・D(I)4c	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），縄文（LR）縦断文（ヘラ状ヴーゆ），胴部：横位隆帯，内頭状圧痕（隆帯上），胴部：縄文（LR），縦断文（ヘラ状ヴーゆ），	243
2	CM87区・5層	深鉢・S−	口縁部：平縁，横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯上），胴部：縄文（LR）	243
3	CM87区・5層	深鉢・R(I)3c	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縦位押圧縄文(LR)（隆線上），縄文(LR)，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	243
4	CM87区・5層	深鉢・E(IIb(?))1	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	243

第132図　東側遺物包含層出土土器（CM87区・5層(2)）



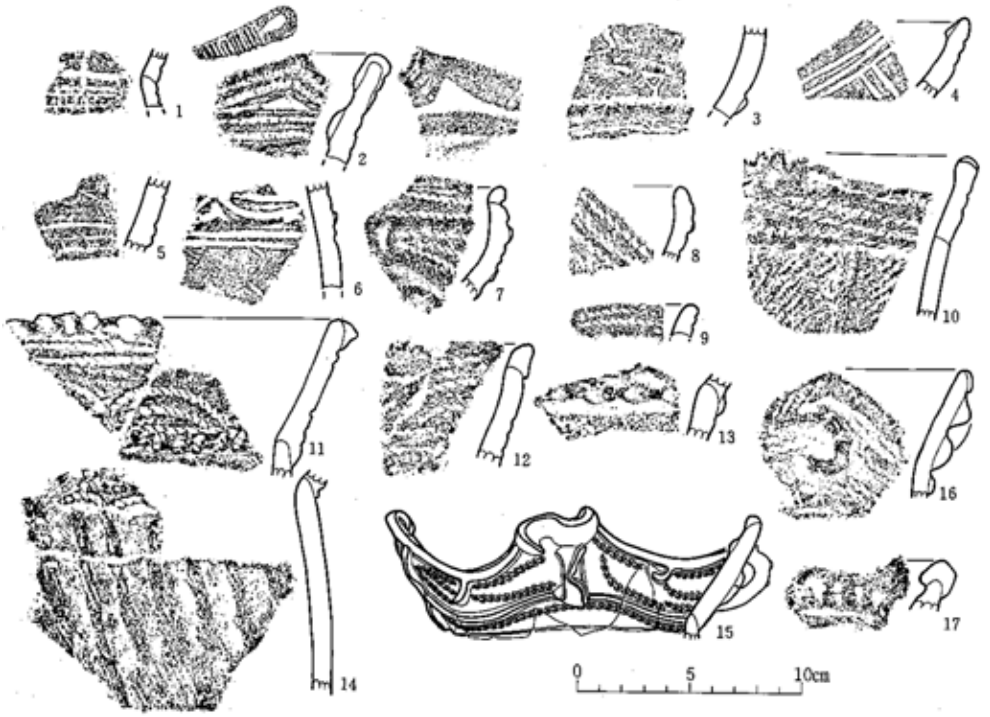
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM87区・3層	深鉢・E(IIa)3	口縁部：波状縁，区画隆線文，縦位押圧縄文（LR），隆線に沿う押圧縄文（LR）	243
2	CM87区・3層	深鉢・D−	胴部：縦位平行沈線文，縄文（Lr）（摩滅）	243
3	CM87区・西ベルト3層	深鉢・O1	口縁部：平縁，横位平行隆線文，横状肥手，縦位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）（摩滅）	243
4	CM87区・西ベルト3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文(ナデ)，胴部：無文(ナデ)	243
5	CM87区・西ベルト3層	深鉢・−	胴部：縄文（Lr），底部：網代底（2−4C）	
6	CM87区・西ベルト3層	浅鉢・A6	口縁部：波状縁，連弧状隆線文，胴部：無文	243
7	CM87区・西ベルト3〜4層	浅鉢・A8c	口縁部：突起をもつ平縁，無文(ナデ)，胴部：無文(ケズリ)，底部：網代底（2−2）	51−2

第133図　東側遺物包含層出土土器（CM87区・3層）



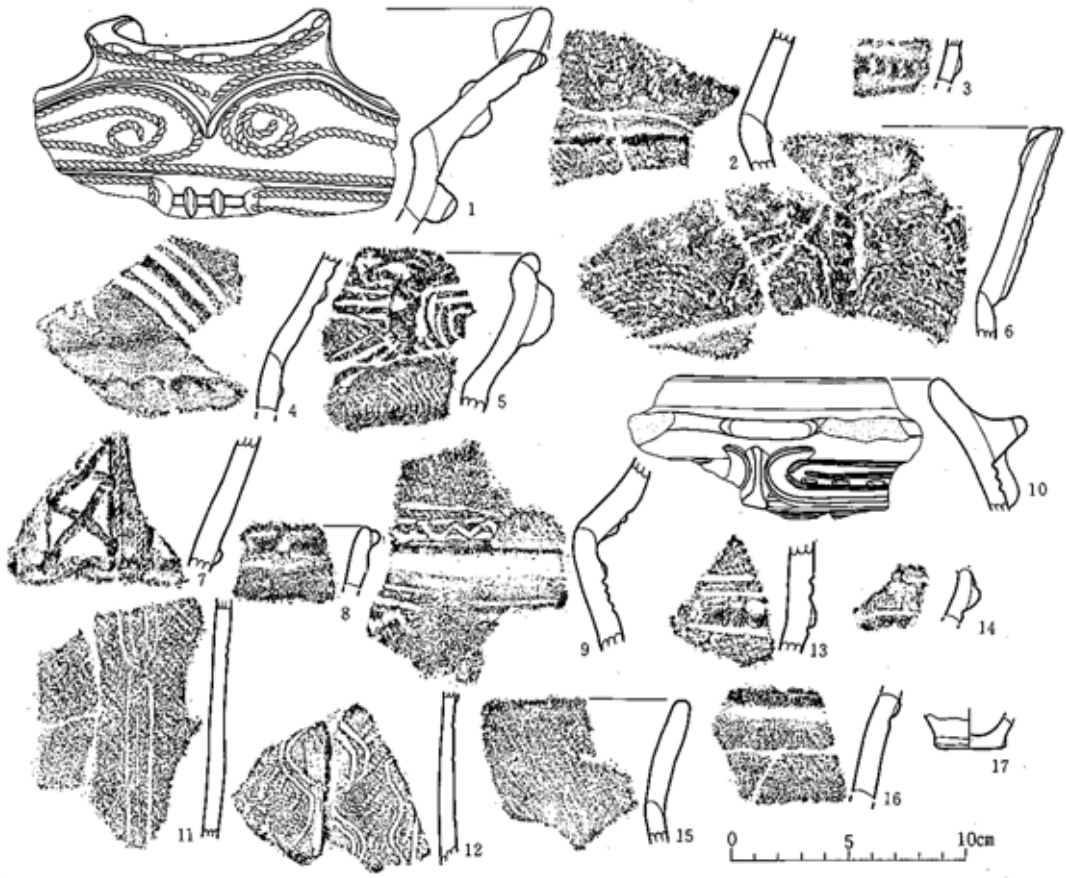
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM87区・西ベルト2層	深鉢・S6b	口縁部：平縁，「ﾊ」字状貼付文	243
2	CM87区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	243
3	CM87区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)5a(?)	口縁部：突起のつく平縁，「∩」字状貼付文（波頂部），弧状押圧縄文（LR）	243
4	CM87区・西ベルト2層	深鉢・O1or2	胴部：連弧状押圧縄文（LR），横位隆線文，縦位押圧縄文（LR）（隆線上），縄文（LR）結節文（片結び一重）	243
5	CM87区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)6c	胴部：区画隆線文，縦位押圧縄文（Lr）（隆線上），隆線に沿う沈線文，波状沈線文	243

第134図　東側遺物包含層出土土器（CM87区・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM87区・1層	深鉢・—	胴部：半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	243
2	CM87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)6b	口縁部：波状縁，縦位刻目文（波頂部），口縁に沿う押引き文，横位押引き文，三角形の彫去（内外面），胎土：金雲母を多く含む	243
3	CM87区・1層	深鉢・D(Ⅱ(?))—	胴部：横位押引き文，三叉状押引き文，胴部：横位隆帯，胎土：金雲母を多く含む	243
4	CM87区・1層	深鉢・D(ⅡC2)1a(?)	口縁部：波状縁，区画沈線文	243
5	CM87区・1層	深鉢・D(ⅡC2)1a(?)	口縁部：区画沈線文	243
6	CM87区・1層	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，三叉状沈線文，縄文（RL）結節文（片結び一重）	243
7	CM87区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)3a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	243
8	CM87区・1層	深鉢・D(ⅡC2)4c	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（LR）	243
9	CM87区・北ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	243
10	CM87区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，縦位刻目文（突起上）横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文(RL)結節文(向結び一重)	244
11	CM87区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，指頭状圧痕（上端），横位平行押圧縄文（Lr），連弧状押圧縄文(Lr)，胴部：横位隆帯，縦位押圧縄文（Lr）	244
12	CM87区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，連弧状押圧縄文（LR）	244
13	CM87区・1層	深鉢・D—	胴部：横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯上），縄文（LR）	244
14	CM87区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：連弧状押圧縄文（Lr），胴部：指頭によるナデツケ，縄文（LR）	244
15	CM87区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅱb)3	口縁部：波状縁，「S」字状貼付文（波頂部），「∩」字状貼付文（波頂部），横状把手，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	52－5
16	CM87区・1層	深鉢・D—	口縁部：波状縁，渦巻状貼付文，横位押圧縄文（LR），縄文（LR）	244
17	CM87区・1層	深鉢・D(Ⅱ—)—	口縁部：小突起のつく波状縁，縦位押圧縄文（LR）	244

第135図　東側遺物包含層出土土器（CM87区・1層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM87区・1層	深鉢・一	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），指頭状圧痕（上端），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），渦巻状押圧縄文（Lr），頸部：横位隆帯，楕円形貼付文，縦位刻目文，横位押圧縄文（Lr）	244
2	CM87区・1層	深鉢・E2a	口縁部：縦位押圧縄文（RL），頸部：横位隆帯，胴部：縄文（LR）	244
3	CM87区・北ベルト1層	深鉢・一	頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文（LR）〔隆帯上〕	244
4	CM87区・1層	深鉢・D(I)4c	口縁部：弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，頸部：横位隆帯，指頭状圧痕〔隆帯上〕	244
5	CM87区・北ベルト1層	深鉢・D(I)6c	口縁部：平縁，連弧状貼付文，区画沈線文，縄文（Lr），頸部：縦位押圧縄文（Lr）	244
6	CM87区・1層	深鉢・D(IIC2)1c	口縁部：波状縁，縦位隆線文，連弧状貼付文，区画押圧縄文（LR）	244
7	CM87区・1層	深鉢・D−	口縁部：区画隆線文，串子目状貼付文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	244
8	CM87区・北ベルト1層	深鉢・W−	口縁部：平縁，横位隆線文，指頭状圧痕〔隆線上〕，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	244
9	CM87区・北ベルト1層	深鉢・E(I)4f	口縁部：横位平行沈線文，縦羽状沈線文，縄文(Lr)，頸部：横位隆帯，胴部：横位平行沈線文，縦羽状沈線文，縄文（Lr）	
10	CM87区・1層	深鉢・O2	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，指頭状圧痕，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，横位貼付文，胎土：金雲母を多く含む	245
11	CM87区・1層	深鉢・V4	胴部：半截竹管による弧状縦位沈線文，縄文（LR）	245
12	CM87区・1層	深鉢・V4	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，波状沈線文，縄文（RL）	245
13	CM87区・1層	深鉢・一	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	245
14	CM87区・1層	深鉢・一	胴部：横位隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），沈線文	245
15	CM87区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	245
16	CM87区・1層	深鉢・一	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	245
17	CM87区・1層	深鉢・一	胴部：無文（ナデ），底部：平行沈線文	

第136図　東側遺物包含層出土土器（CM87区・1層(2)）

よる文様が構成されている。3 にも押引き文が施されている。4～6 は、隆線文や沈線文が施されている土器である。第 136 図 11～12 は胴部破片で半截竹管による波状あるいは相対する弧状の平行沈線文が描かれている。

第 135 図 7～17，第 136 図 1～3，5～8：押圧縄文が施されている土器である。第 135 図 15 は四波状縁で、対面する波頂部に「S」字状貼付文、「の」字状貼付文が施され、「S」字状貼付文下には 1 対の橋状把手が設けられている。口縁部は区画隆線文と押圧縄文によって構成されている。他は文様構成が明らかではない。

C N87 区

第Ⅴc層（第 5 層）：第 137 図

第 137 図 1：胴部から口縁部にかけてほぼ直立する器形である。口縁部上端には刻目文が施されている。口縁部は無文で、ミガキ調整が施されている。頸部隆帯には斜位刻目文が加えられている。胴部には、粗い縄文が施されている。

第Ⅲ´層（第 4 層）：第 138 図～第 140 図

第 138 図 1：口縁部破片である。横位平行沈線文・押圧縄文間に交互刺突文が施されている。

第 138 図 2：頸部が鍵形に屈曲し、口縁部が内弯気味に直立する器形である。上面観の三角状の突起が、口縁部上端 4 か所に貼付されている。突起下には垂下する「Y」字状懸垂隆線文が施され、その間を弧状隆線文が連結している。隆線に沿う沈線文・交互刺突文が施され、さらに楕円形貼付文、三叉状押引き文が加えられている。胴部には懸垂文が配されている。

第 138 図 3～8：口縁部～胴部破片である。3 は半截竹管による連続刺突文と押圧縄文、4 は押圧縄文が施されている。5 は波状縁をなすものと思われ、懸垂・弧状の区画隆線文が施されている。6～8 は弧状の区画隆線文と、押圧縄文によって文様が構成されている。

第 138 図 9～10：浅鉢形土器である。9 は口縁部に半截竹管によって文様が構成されている。

第 139 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。山形状の四波状を呈し、波頂部下には円形貼付文、縦位沈線文が施され、その間に連弧状沈線文が配されている。口縁下部には半截竹管による横位平行沈線文・連続刺突文が施されている。

第 139 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴上部には、相対する弧状区画隆線文・渦巻状隆線文か流され、さらに隆線に沿って押圧縄文が加えられている。

第 139 図 3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部がゆるやかに膨む器形である。頸部には横位押圧縄文が配されている。

第 140 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。突起をひとつもち、内外面に「の」字状の貼付文が付されている。胴部は結束羽状縄文が施されている。

第 140 図 2～3：浅鉢形土器である。2 の口縁部には 6 単位の「𝑥」字状貼付文が付され、その間には横位平行押圧縄文が施されている。胴部には、半截竹管による平行沈線文によって連弧状文、円形文が描かれている。3 は突起のつく波状縁を呈するものと思われる。

第III´層上面（第 4 層上面）：第 141 図～第 142 図

第 141 図 1：頸部でゆるやかに外反し、口縁が内弯する、キャリパー状の器形である。口縁上部には、6 単位の「𝑥」字状貼付文が付され、その間に横位平行押圧縄文が施されている。口縁下部には、7 単位の弧状隆線文が配され、さらに押圧縄文が施されている。胴部には 5 単位の「Y」字状懸垂隆線文、隆線に沿う沈線文、懸垂沈線文が施されている。

第 142 図 1～2：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。1 は隆線文・沈線文が施されている。2 は頸部から垂下する渦巻状隆線文が施されさらに、半截竹管による平行沈線文が加えられている。

第 142 図 3：浅鉢形土器である。口縁部には「𝑥」字状区面隆線文が配され、下位の隆線上には縦位押圧縄文が連続して施されている。

第II´層（第 3 層）：第 143 図～第 146 図

第 143 図 1～8：口縁部～胴部破片で隆線文あるいは沈線文の施される土器である。文様構成は明らかではない。

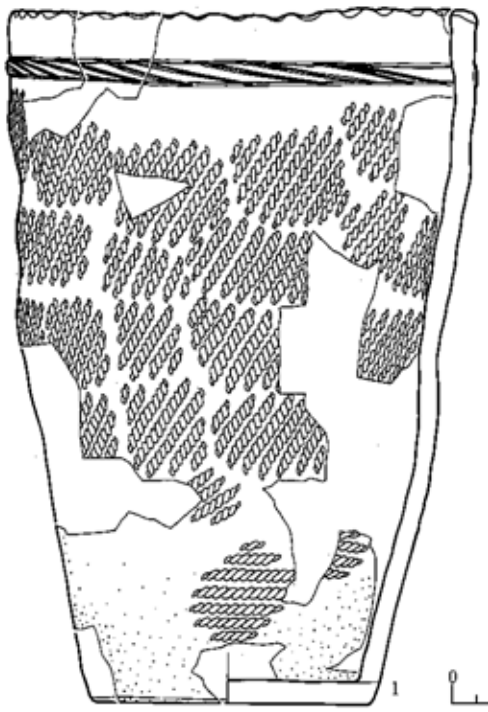
第 143 図 9～12：口縁部破片で押圧縄文が施されている土器である。9 は弧状の区画隆線文と渦巻状押圧縄文、10～12 は横位平行押圧縄文か施されている。

第 144 図 1：頸部がゆるくくびれ、口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

第 144 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形である。四波状を呈し、波頂部には刻目文が施され、叉状を呈している。弧状の隆線文によって区画され、区画内には沈線文が施されている。

第 144 図 3：口縁部は内弯気味に外傾している。波頂部下には縦位貼付文が付され、口縁および貼付文に沿って押圧縄文が施されている。

第 144 図 4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN87区・5層、CN86区・6層	深鉢・S9c	口縁部：平縁、縦位刻目文（上端）、頸部：隆帯、斜位刻目文、胴部：縄文（LR）、底面：無文（ミガキ）	62－4

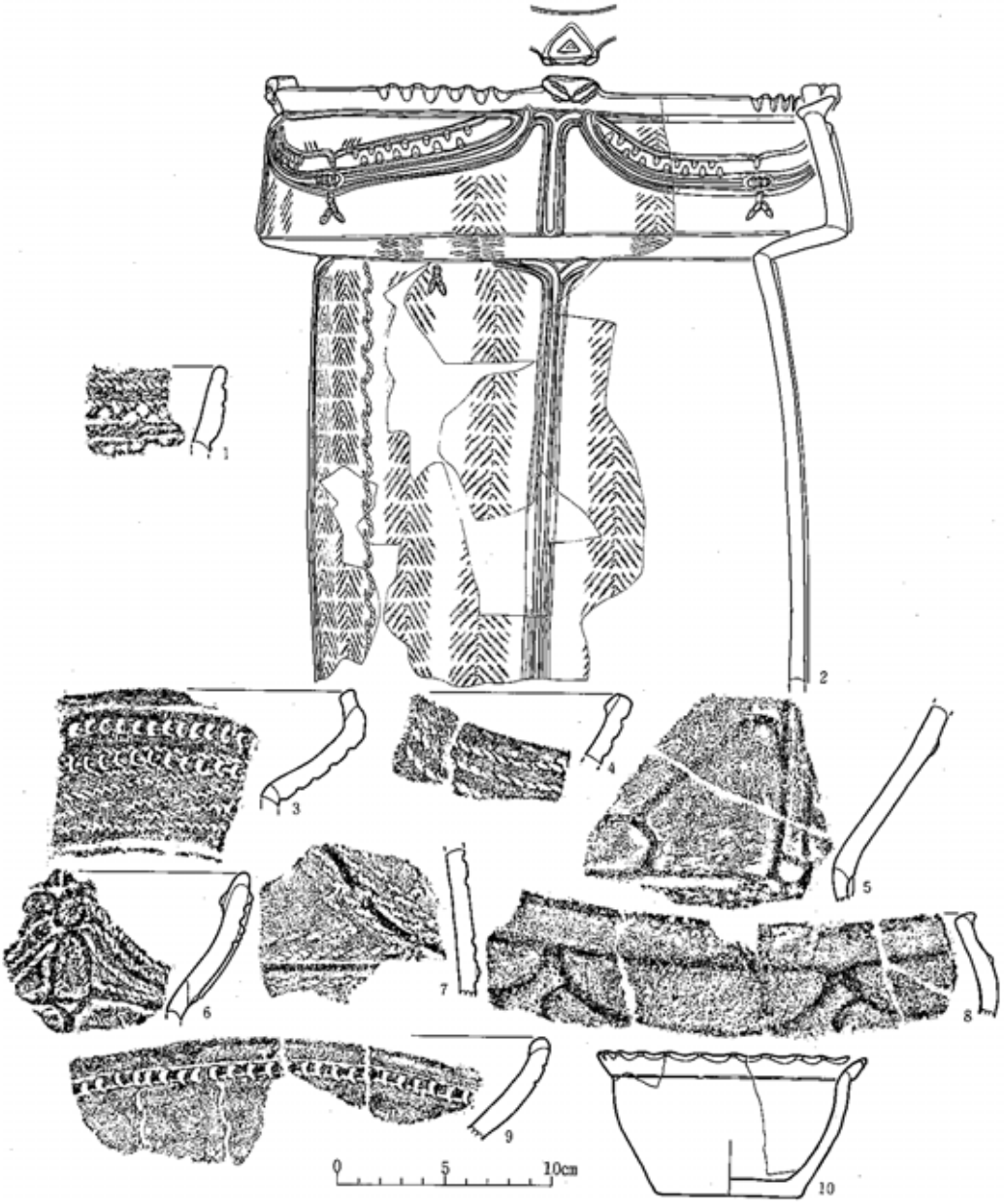
第137図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・5層）

部には突起が付され、突起外面には「S」字状貼付文、突起内面には「の」字状貼付文が施されている。頸部隆帯には指頭状圧痕が連続して施されている。胴部は、4 単位の馬蹄形状を呈する隆線文によって区画され、さらに「Y」字状懸垂隆線文・連弧状隆線文・「𝒙」字状貼付文が加えられている。これらの文様に沿って押圧縄文が施され、漏斗状の区画内には渦巻状押圧縄文が施されている。

第 144 図 5〜6：浅鉢形土器である。口縁部には「𝒙」字状区画隆線文と横位平行押圧縄文が施されている。

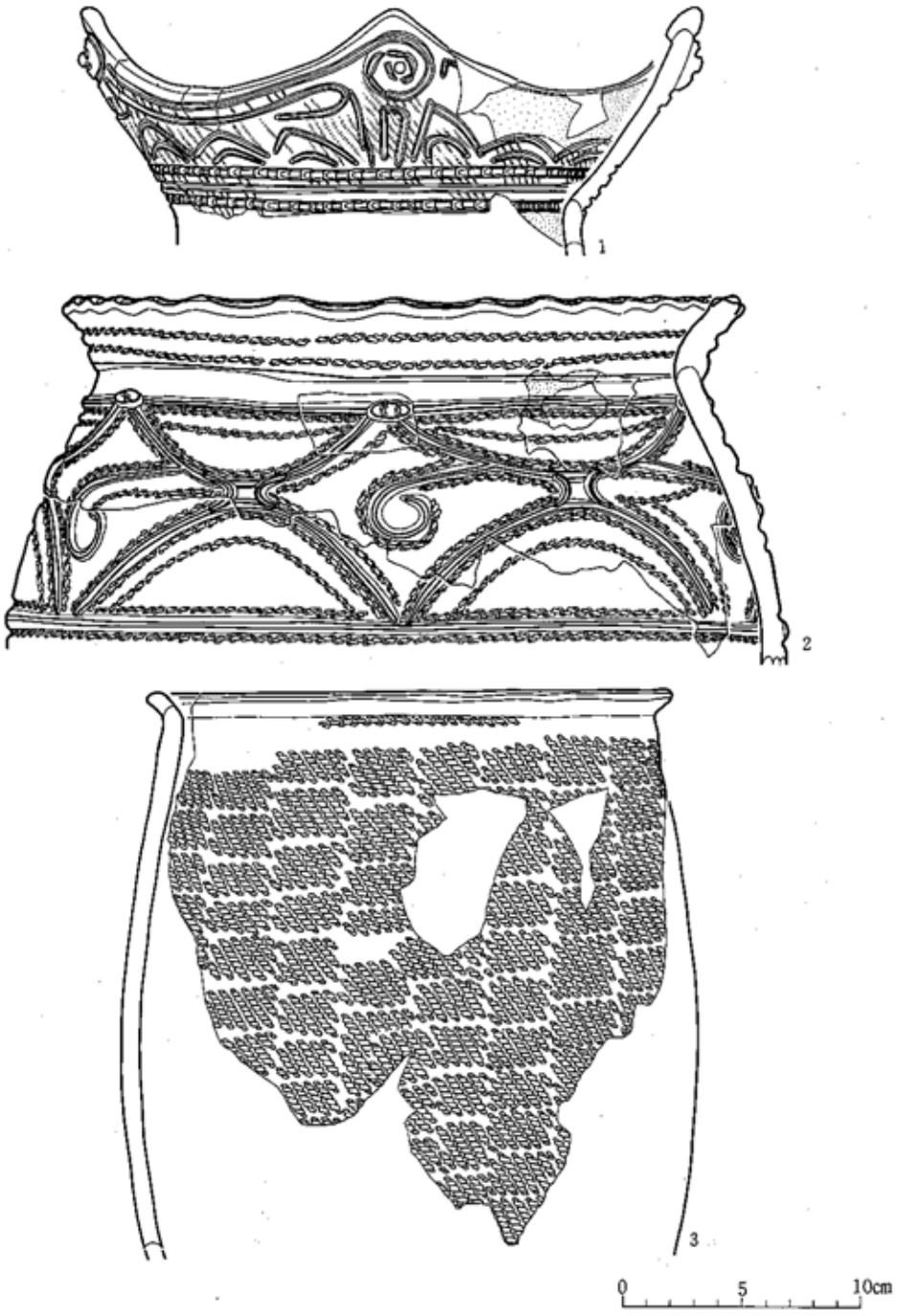
第 145 図 1：頸部が「く」字状にくびれ口縁部が外傾する器形である。対面する突起の形状は異なり「∩」字状および縦位に貼付され、ともに指頭状圧痕が加えられている。口縁上部には連弧状貼付文・連弧状押圧縄文が施され、口縁下部には連弧状押圧縄文・横位押圧縄文が施されている。

第 145 図 2〜12：口縁部〜胴部の破片資料である。2〜9 は隆線文、押圧縄文、刺突文が施されている。この中で、5 は口縁上部に連続して指頭状圧痕が施され、連弧状を呈し、その下に横位平行沈線文、円形竹管による連続刺突文が施されている。他の文様構成は明らかではない。



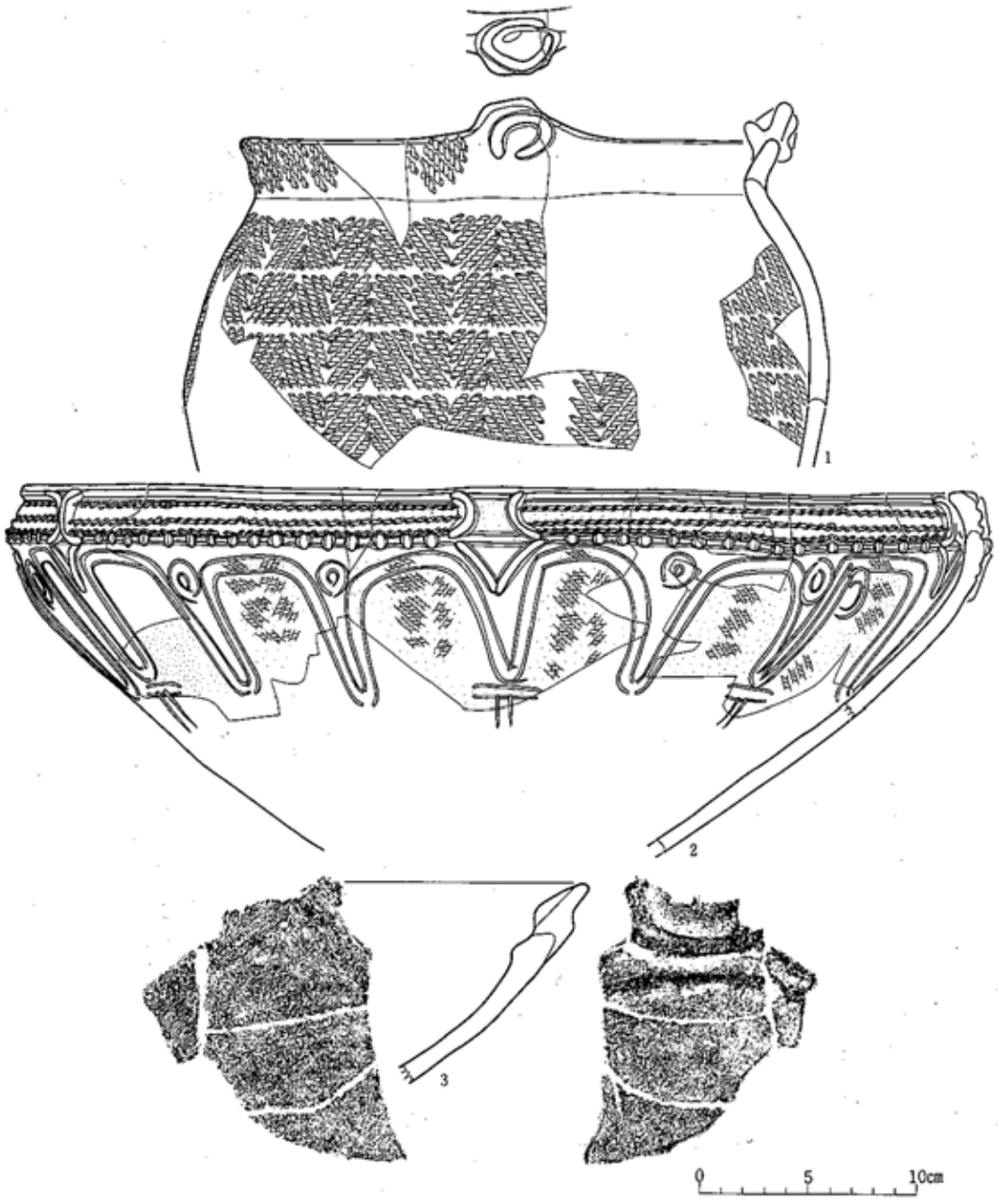
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図 版
1	CN87区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1d	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），横位平行沈線文，交互刺突文	245
2	CN87区・4層	深鉢・K4	口縁部：突起のつく平縁，押引き文（横転），刻目文（上端），「V」字状無節縄縄文，弧状縄縄文，交互刺突文，楕円形貼付文，横位刻目文（貼付上），胴部（第1種）羽状縄文（RとLr），胴部：「Y」字状無節縄縄文，縄横に施う沈線文，三叉状沈線文，胴部（第1種）羽状縄文（RとrとLr）胴部文（片結び一段）	52－3
3	CN87区・4層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：平縁，横位縄縄文，半截竹管による連続刺突文，区画押圧縄文（LR）	245
4	CN87区・4層	深鉢・D(Ⅱb(?))1	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（LR）	245
5	CN87区・4層	深鉢・D7	口縁部：区画縄縄文，胴部：「∧」字状貼付文	245
6	CN87区・4層，CN87区・拡一Cr・2層	深鉢・D(Ⅱa)4b	口縁部：波状縁，区画縄縄文，横帯状縄縄文，縄横に沿う押圧縄文（Lr），胴部：「Y」字状縄縄文，縄文（Lr）	245
7	CN87区・4層	深鉢・N5b	胴部：区画縄縄文，縄横に沿う押圧縄文（RL）	245
8	CN87区・4層	深鉢・N6b	口縁部：平縁，弧状区画縄縄文，縄横に沿う押圧縄文（Lr）（摩滅）	245
9	CN87区・4層	浅鉢・A4c	口縁部：平縁，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による連続刺突文，胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一段）	245
10	CN87区・4層，CN87区・2層	浅鉢・A8a	口縁部：小波状縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）底部：	52－1

第138図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・4層(1)）



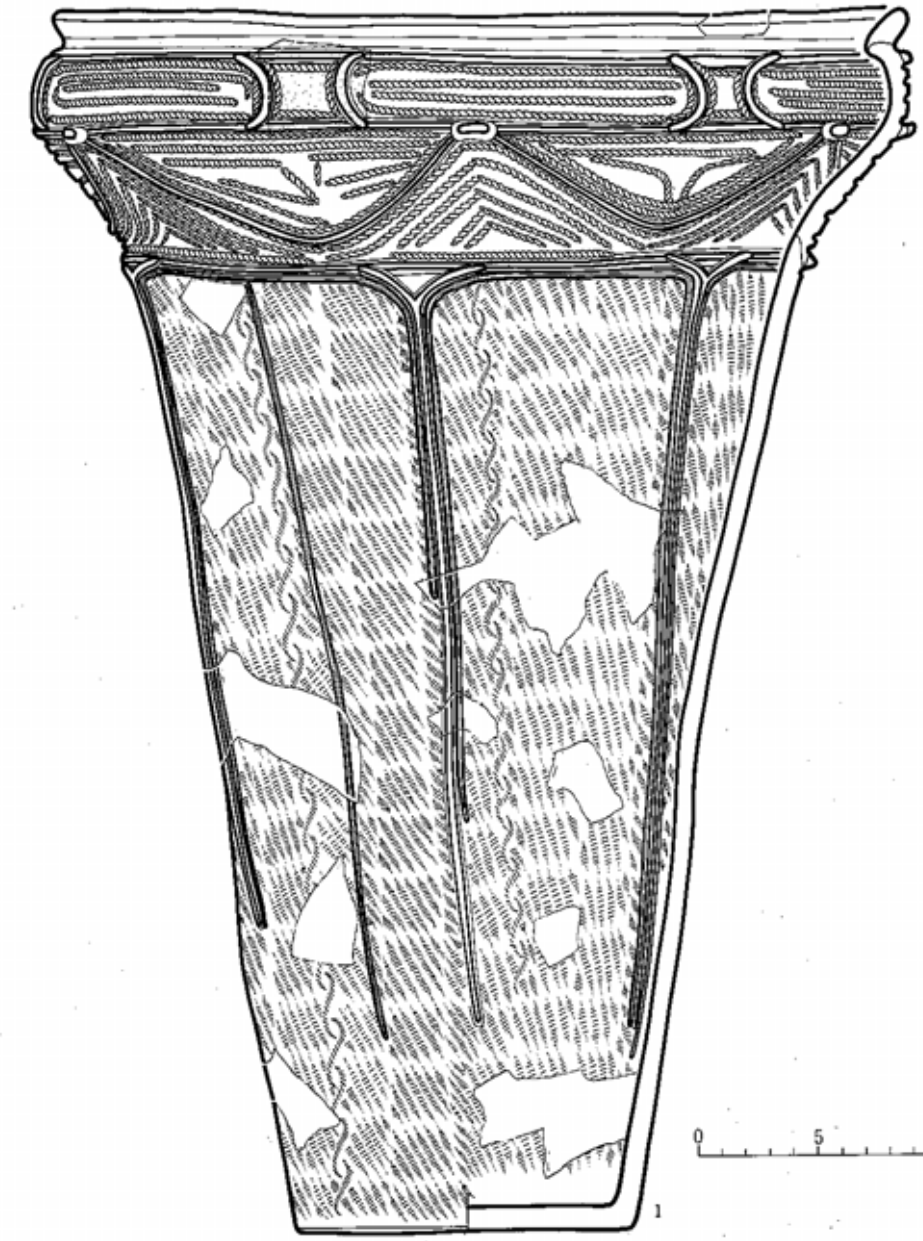
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN87区・4層, CN87区・3層, CN87区・4層上面	深鉢・D(IIa)5	口縁部：波状縁，円形貼付文，縄物状沈線文，斜位沈線文，連弧状沈線文，半截竹管による横位平行沈線文 半截竹管による連続刺突文，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	53－1
2	CN87区・4層, CN87区・4層上面	深鉢・N5b	口縁部：小波状縁，横位平行押圧縄文(RL)，頸部：無文（ナデ），胴部：相対する弧状区画施縄文，縄物状 施縄文，「ぇ」字状貼付文，隆沈貼付文，横位押圧縄文（RL）（貼付上），隆線に沿う押圧縄文（RL）	53－2
3	CN87区・4層	深鉢・W2b	口縁部：平縁，無文（ナデ），頸部：横位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	53－3

第139図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・4層(2)）



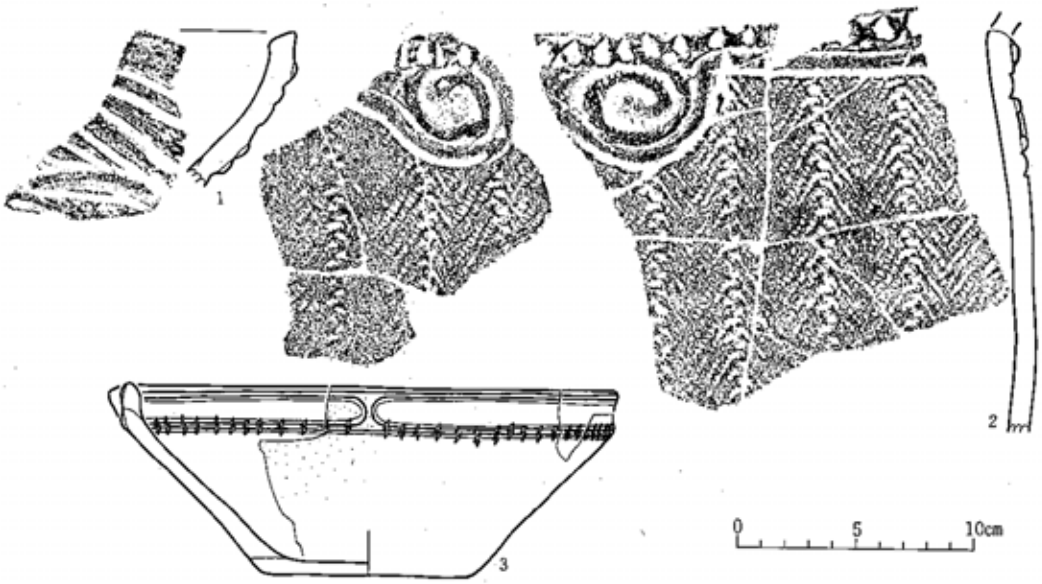
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN87区・4層、CN87区・4層上部、CN87区・3層	深鉢・N11	口縁部：突起のつく平縁、「の」字状貼付文（内外面）、縄文（RL）、胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	54－2
2	CN87区・4層、CN87区・4層上部、CN87区・東ベルト1層	浅鉢・A3C	口縁部：平縁、「ノ」字状貼付文、横位平行押圧縄文（RL×LR）、頸部：横位隆帯、隆帯状部成（隆帯上）、胴部：「Y」字状結節隆線文、半截竹管による連弧状平行沈線文、半截竹管による円形沈線文、結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	56－3
3	CN87区・4層	浅鉢・A8－	口縁部：突起のつく波状縁、無文（ミガキ）、胴部：無文（ミガキ）	246

第140図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・4層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CN87区・4層上面	深鉢・L6	口縁部：平縁、区画強縄文、楕円形刺突文、強縄に沿う押圧縄文（Lr）、胴部：「Y」字状整形強縄文、強縄に沿う改縄文、縄文（Lr）縦割文（片結び一原）、底部：無文（ナデ）（口縁上約文様帯一6単位、口縁下約文様帯一7単位、胴部：一5単位）	55－1

第141図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・4層上面(1)）

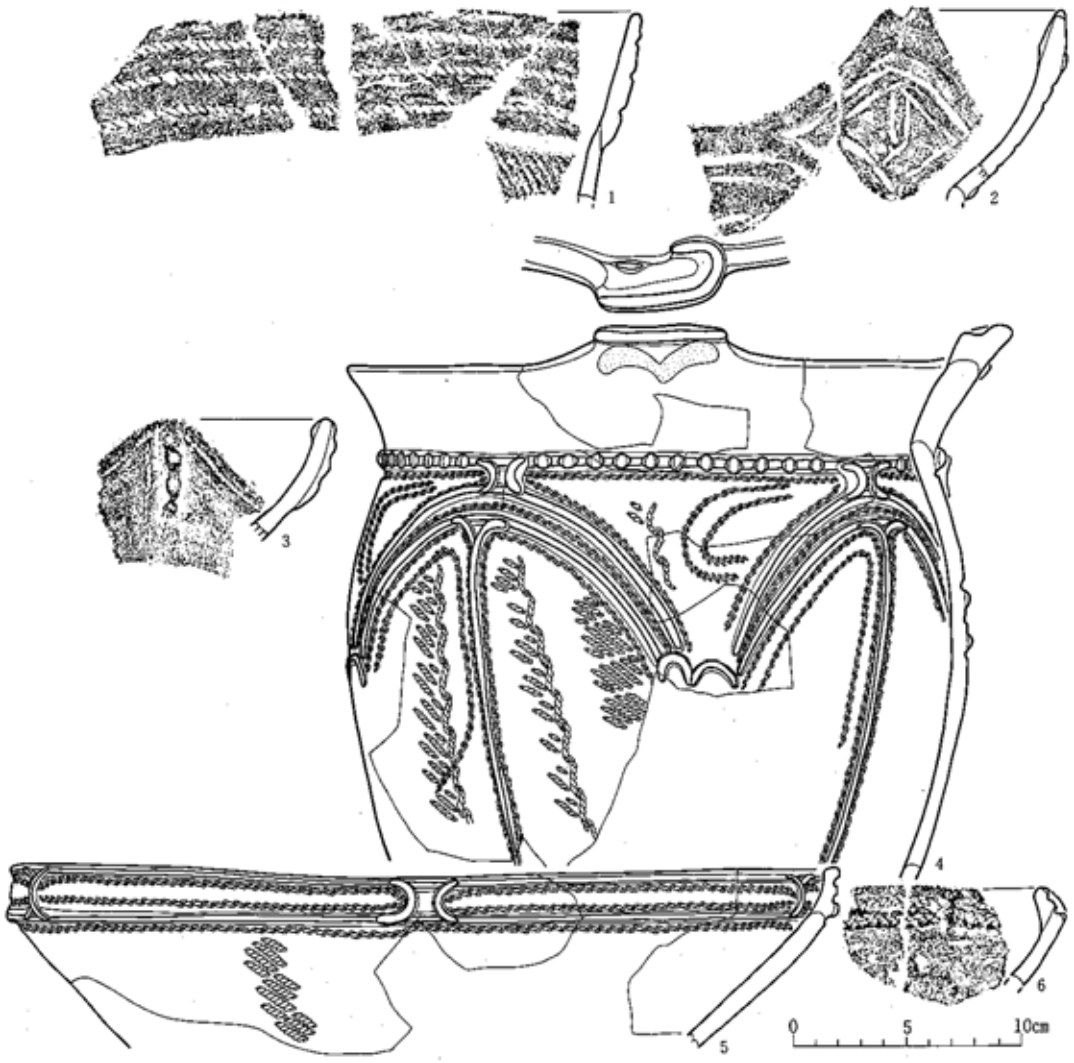


番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN87区・4層上面	深鉢・D(IIC2(?))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	246
2	CN87区・4層上面，G5-6区・上層	深鉢・E(I)5	頸部：横位隆帯，半截竹管による連続刺突文（隆帯上），胴部：渦巻状隆線文，隆線に沿う半截竹管による平行沈線文，結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	246
3	CN87区・4層上面	浅鉢・A3d	口縁部：平縁，「ム」字状区画隆線文，横位押圧縄文（LR），胴部：無文（ミガキ）底部：（摩滅）	57－2

第142図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・4層上面(2)）

番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN87区・3層	深鉢・H4	胴部：横位隆線文，斜位刻目文（隆線上），横位連続刺突文	246
2	CN87区・3層	深鉢・W2a(?)	口縁部：平縁，無文（ナデ），頸部：横位沈線文	246
3	CN87区・3層	深鉢・E(I)4c	口縁部：平縁，口縁に沿う沈線文，斜位沈線文，弧状沈線文（沈線間）	246
4	CN87区・3層	深鉢・K3b	口縁部：半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	246
5	CN87区・3層	深鉢・D(I)1a(?)	口縁部：突起わずかで平縁，IV字状結束文（突起外側），IV字状結束文（突起内側），横位沈線文，縁虫：金属製品転写か？	246
6	CN87区・西ベルト3層	深鉢・D(IIC2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	246
7	CN87区・3層	深鉢・D(IIC2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	246
8	CN87区・3層	深鉢・N7a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	246
9	CN87区・3層	深鉢・E(II－)－	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）渦巻状押圧縄文（LR）	246
10	CN87区・3層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），斜位押圧縄文（Lr）	246
11	CN87区・3層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，口縁に沿う押圧縄文（LR），弧状押圧縄文（LR）	246
12	CN87区・3層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	246

第143図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・3層(1)）

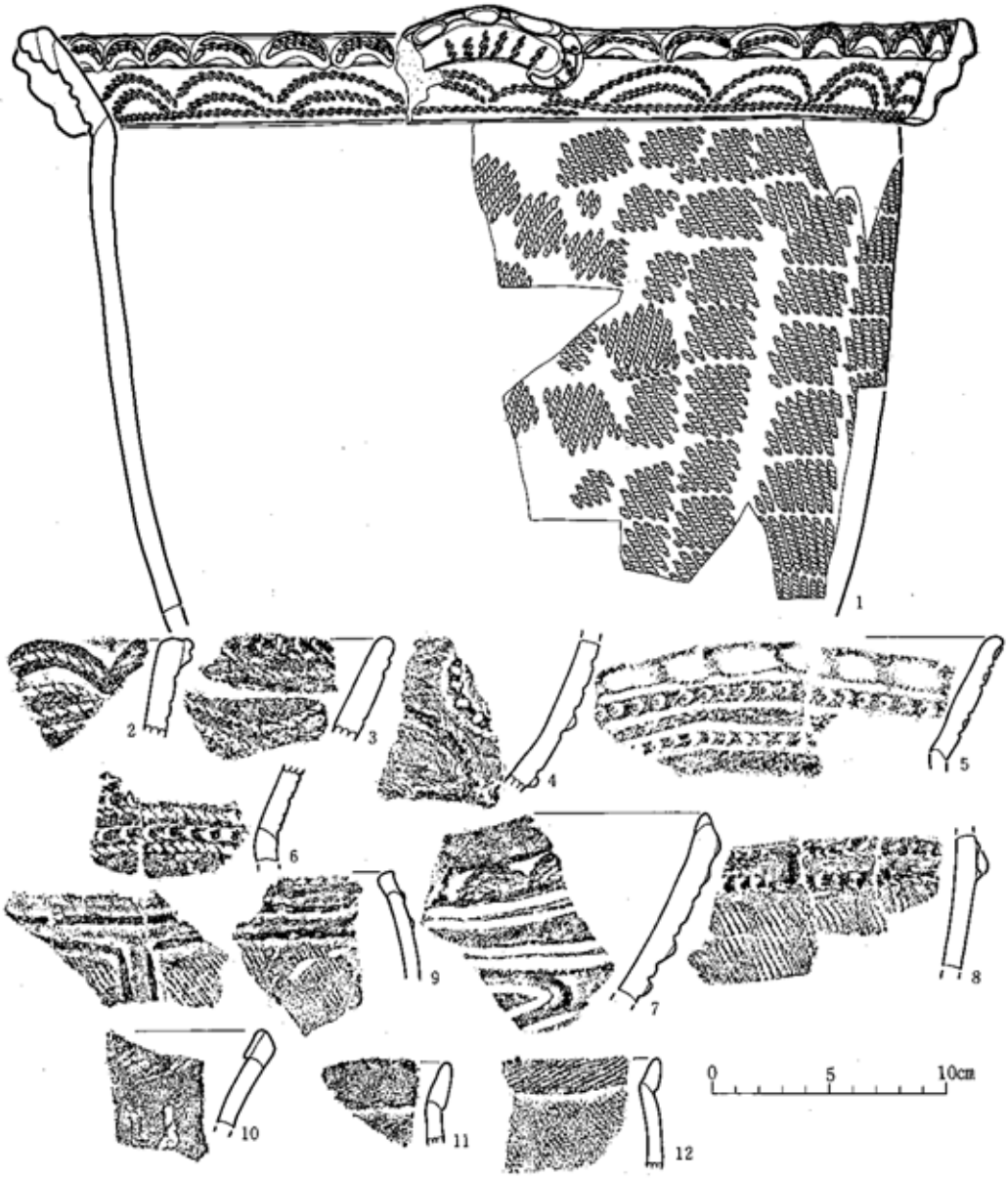


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN87区・3層、CN87区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（LR→結節部つき）、胴部：縄文（LR）	247
2	CN87区・3層	深鉢・D(Ⅱa)−	口縁部：波状縁、弧状区画隆線文、隆線に沿う平行沈線文	247
3	CN87区・3層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁、縦位貼付文、指頭状圧痕（貼付上）、口縁に沿う押圧縄文（Lr）縦位押圧縄文（Lr）	247
4	CN87区・3層、CN87区・西ベルト2層	深鉢・N7b	口縁部：突起のつく平縁、「S」字状貼付文（突起外側）、「の」字状貼付文（突起内面）、頸部：横位隆帯指頭状圧痕（隆帯上）、長楕形状区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、縄帯状押圧縄文（LR）、縄文（LR）結節文（片結び一種）	56−1
5	CN87区・3層、CN87区・2−3層	浅鉢・A3C	口縁部：平縁、「ㅈ」字状区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	
6	CN87区・3層	浅鉢・A3C	口縁部：平縁、「ㅈ」字状区画隆線文、横位平行沈線文（LR）、胴部：縄文（LR）	247

第144図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・3層(2)）

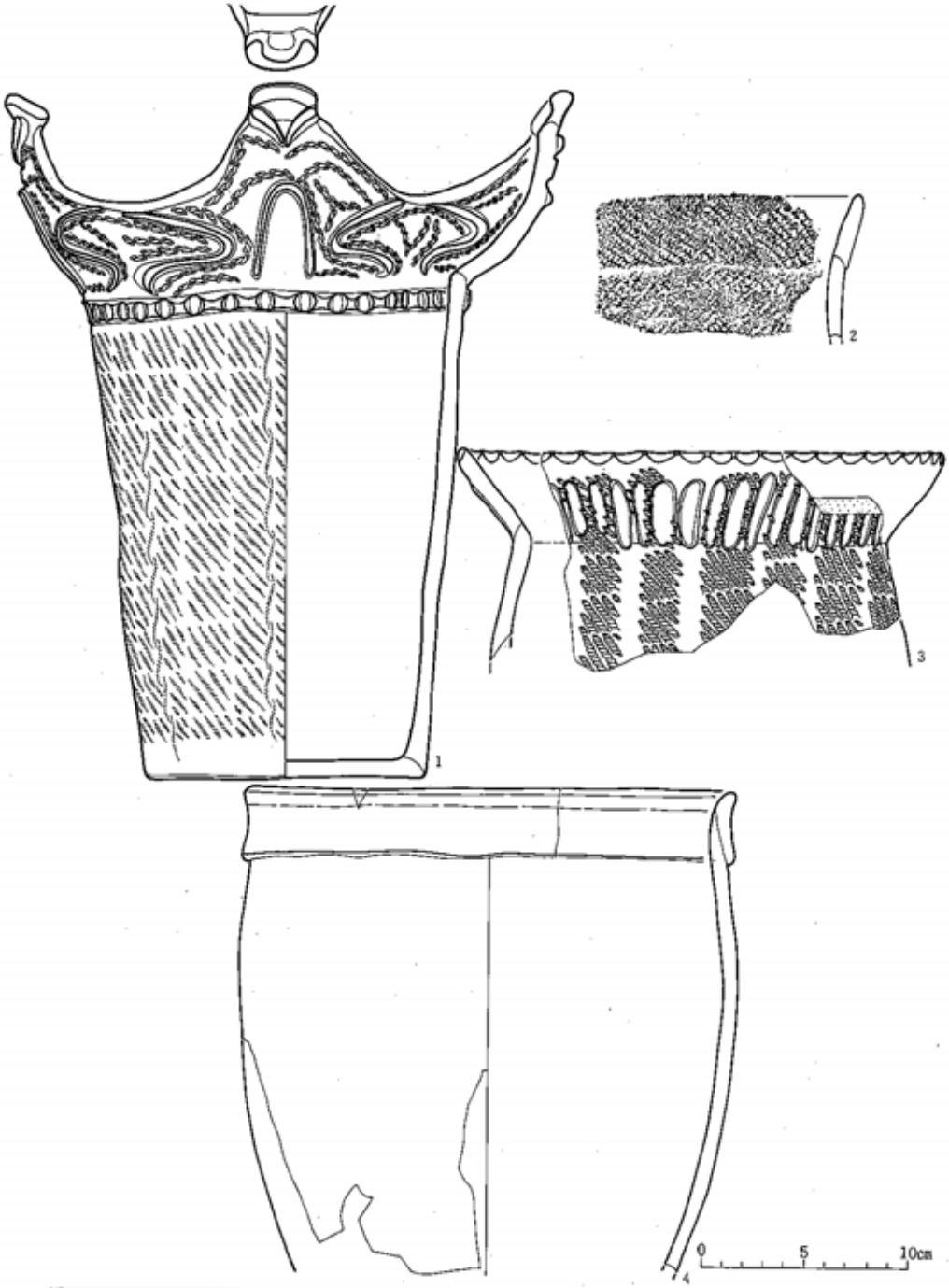
10〜12は、文様意匠が施されていない。

第146図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾し、胴部が円筒状を呈する器形である。口縁部は四波状を呈し、波頂部には「∩」字状貼付文が付されている。口縁部



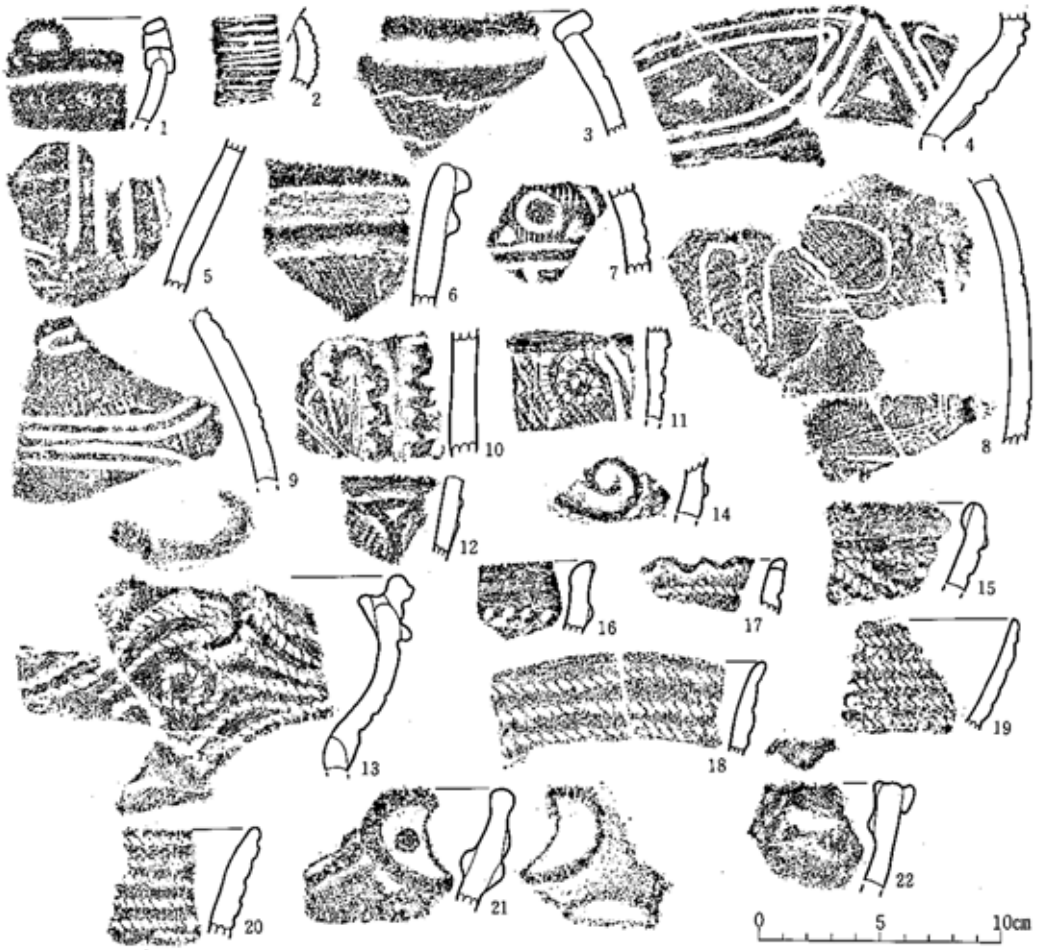
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN87区・3層 CN81区・東ベルト上1層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：隆起のつく平縁，「U」字状貼付文，縦位貼付文，連弧状貼付文，連弧状押圧縄文（LR），横位押縄文（LR），胴部：縄文（LR）	247
2	CN87区・3層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，連弧状貼付文，連弧状押圧縄文（Lr），横位押圧縄文（Lr）	248
3	CN87区・3層	深鉢・D(Ⅰ)5b(?)	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（Lr）〔上端〕，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	248
4	CN87区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10C	口縁部：区画隆線文，刺突文（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（Lr）	248
5	CN87区・3層	深鉢・S5e	口縁部：平縁，指頭状圧痕（上端），横位平行沈線文，円形竹管による連続刺突文	248
6	CN87区・3層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による刺突文，横位平行押圧縄文（Lr）	248
7	CN87区・3層	深鉢・E(Ⅱc)3	口縁部：波状縁，区画隆線文，連弧状貼付文，重弧状押圧縄文（LR）〔貼付上〕，隆線に沿う沈線文	248
8	CN87区・3層	深鉢・E(Ⅱb)1	胴部：横位平行隆線文，縦位貼付文，半截竹管による刺突文，縄文（LR）	248
9	CN87区・3層	深鉢・－	口縁部：平縁，横位隆線文，胴部：区画隆線文，縄文（Lr）結節文（片結び一段）	248
10	CN87区・3層	深鉢・D(ⅡC2)5(?)	口縁部：波状縁，縄文（RL）結節文（両結び一段）	248
11	CN87区・3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文	248
12	CN87区・3層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR）胴部：縄文（LR）	248

第145図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・3層(3)）



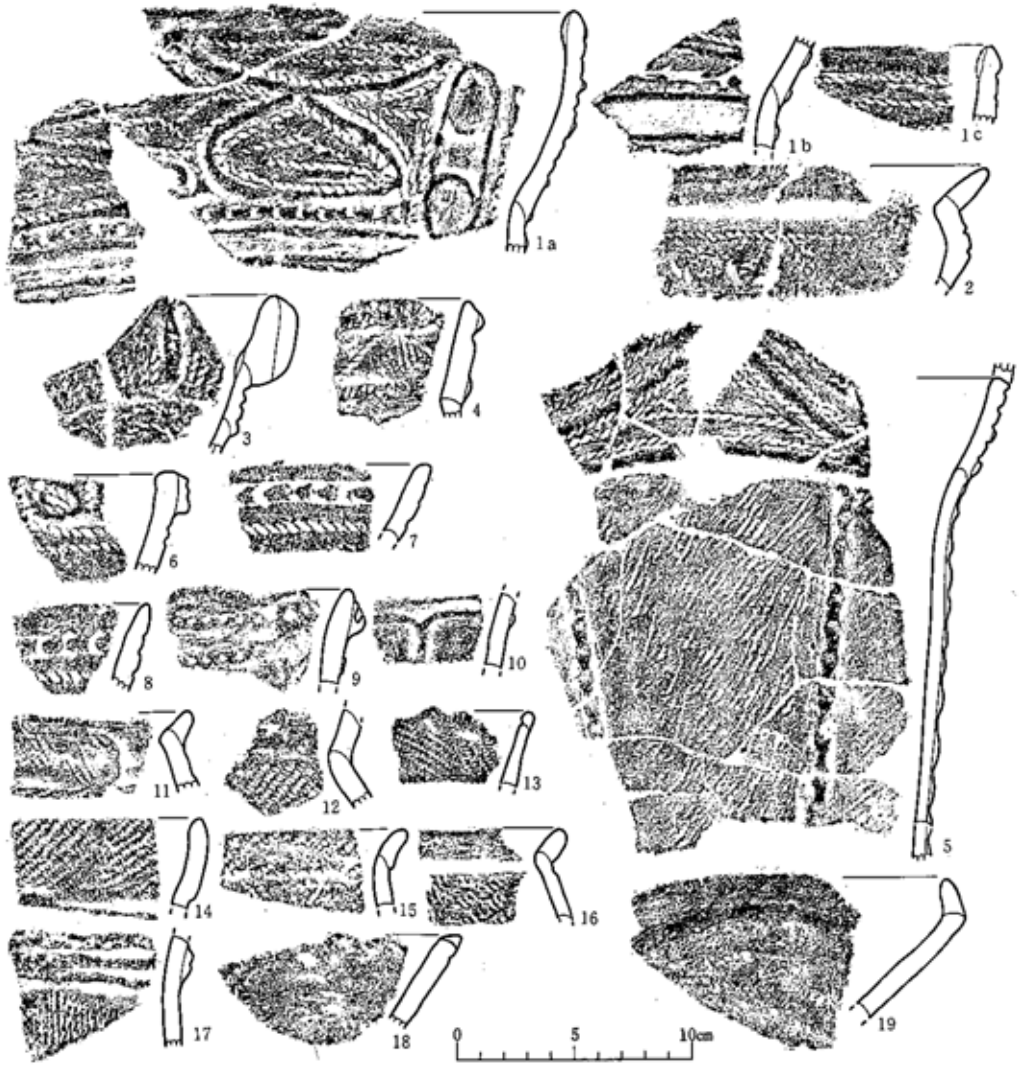
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN87区・3層, CN87区・ボルト2層, CN87区・2層	深鉢・D(IIb)2	口縁部：波状縁，「ロ」形状粘土文（貼瘤帯），区画縄文帯，縄縄に沿う押圧縄文(LR)，胴部：横位縄帯，深鉢状底面（縄巻上），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一連），底部：網代底(一)→ナデ	54－1
2	CN87区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	248
3	CN87区・3層, CN87区・黒ボルト1層	深鉢・E(I)2b	口縁部：小波状縁，深鉢状底面（上端），指頭によるナデツケ，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	248
4	CN87区・3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文（ナデ）胴部：無文（ナメリ）	248

第146図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・3層(4)）



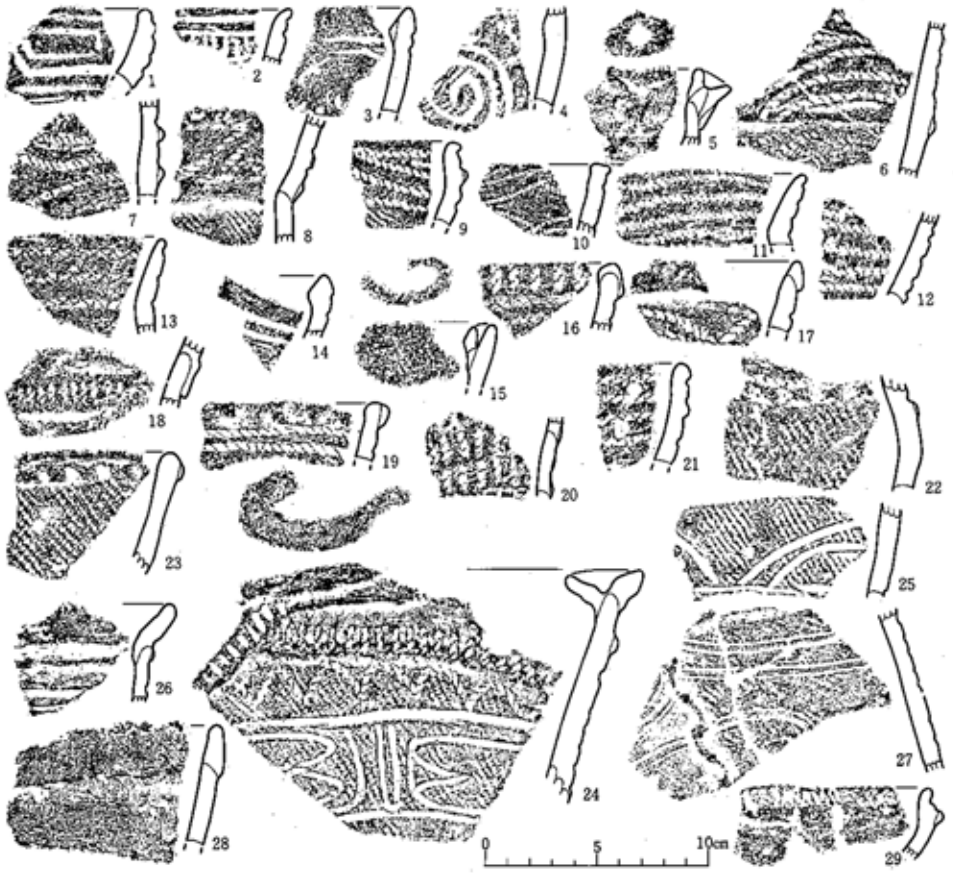
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN87区・北ベルト2層	深鉢・H2b	口縁部：突起のつく平縁，円環状突起，横位刺首文（突起上），横位沈線文，（上端）平載竹管による連続刺突文	249
2	CN87区・北ベルト2層	深鉢・H2b	橋状把手：横位短沈線文（把手上）	249
3	CN87区・2層	深鉢・V3	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	249
4	CN87区・2層	深鉢・E(I)5	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，三叉状沈線文	249
5	CN87区・2層	深鉢・D(IIC2)1a	口縁部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	249
6	CN87区・2層	深鉢・D−	口縁部：平縁，横位平行隆線文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	249
7	CN87区・西ベルト2層	深鉢・N5a	胴部：横位平行沈線文，弧状沈線文，円形沈線文，三角形の彫虫，横位結条線文	249
8	CN87区・2層	深鉢・N9a	胴部：隆線文，弧状押引き文，縄文（LR）胎土：金雲母を多く含む	249
9	CN87区・2層	深鉢・F(I(?))1	胴部：区画沈線文，縄文（Lr）	249
10	CN87区・2層	深鉢・S4b(?)	胴部：横位隆線文，三角形の彫虫（交互），半載竹管による平行沈線文，縄文	249
11	CN87区・2層	深鉢・S6	胴部：横位隆帯，弧状沈線文，渦巻状押引き文，縄文（LR）	249
12	CN87区・北ベルト2層	深鉢・N9a	頸胴部：横位隆線文，「Y」字状隆線文，縄文（RL）	249
13	CN87区・2層	深鉢・E(I)8	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），弧状区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），渦巻状押圧縄文（Lr）	249
14	CN87区・2層	深鉢・E(I)8	胴部：渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL）	249
15	CN87区・2層	深鉢・D(I)8c	口縁部：平縁区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	249
16	CN87区・2層	深鉢・−	口縁部：平縁，横位隆線文，半載竹管による刺突文（隆線上）	249
17	CN87区・2層	深鉢・E(I)1a	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（上端），横位押圧縄文（LR）	249
18	CN87区・2層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	249
19	CN87区・2層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	249
20	CN87区・2層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	249
21	CN87区・2層	深鉢・D(IId(?))2	口縁部：突起のつく波状縁，連弧状隆付文	249
22	CN87区・西ベルト2層	深鉢・D(IIC2(?))1	口縁部：波状縁，横位貼付文（波状部）	249

第147図　東側遺物包含2層出土土器（CN87区・2層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,bc	CN87区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），楕円形貼付文，半截竹管による連続刺突文，頸部：無文	250
2	CN87区・北ベルト2層	深鉢・L5	口縁部：平縁，無文（ナデ）（上縁），区画押圧縄文（Lr），渦巻状押圧縄文（Lr）（下部）	250
3	CN87区・2層	深鉢・D(Ⅱa)7	口縁部：波状縁，縦位貼付文，横位押圧縄文（LR）（貼付上），縦位押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR）	250
4	CN87区・2層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（LR），横位平行隆線文，弧状押圧縄文（LR），縄文（LR）	250
5	CN87区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅱa)−	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（R r），頸部：「Y」字状懸垂隆線文，横位状区画（隆線上），縄文（R r）	250
6	CN87区・北ベルト2層	深鉢・E(Ⅰ)1b	口縁部：波状縁，楕円形貼付文，押圧縄文（LR）（貼付上），縦位押圧縄文（LR），弓状に沿う押圧縄文（LR）	250
7	CN87区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)1c	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による連続刺突文，横位平行押圧縄文（LR）	250
8	CN87区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による連続刺突文，横位押圧縄文（Lr）	250
9	CN87区・2層	深鉢・S5e	口縁部：平縁，区画隆線文，押圧縄文（RL）（隆線上），楕円形貼付文，盲孔（貼付上）	250
10	CN87区・2層	深鉢・S−	胴部：「Y」字状懸垂隆線文	250
11	CN87区・2層	深鉢・V3	口縁部：平縁，横位隆線文，縄文（LR）（隆線上），「r」字状貼付文，縄文（LR）	250
12	CN87区・2層	深鉢・V2	口縁部：無文，胴部：縄文（RL）	250
13	CN87区・北ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：小波状縁，縄文（RL）	250
14	CN87区・北ベルト2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	250
15	CN87区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	250
16	CN87区・2層	深鉢・W2b	口縁部：平縁，無文，頸部：横位沈線文，胴部：縄文（Lr）	250
17	CN87区・2層	深鉢・−	口縁部：無文，頸部：横位隆帯，横位沈線文，胴部：撚糸（L）	250
18	CN87区・西ベルト2層	浅鉢・A8e	口縁部：波状縁，指頭状圧痕（波頂部），無文	250
19	CN87区・2層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	250

第148図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・2層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN87区・1層	深鉢・H2a	ロ縁部：平縁，区画沈線文	251
2	CN87区・1層	深鉢・S3a	ロ縁部：平縁，横位平行沈線文，横位縄文（Lr）	251
3	CN87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)4a(?)	ロ縁部：平縁，区画沈線文，刺突文，三角形の剥去	251
4	CN87区・1層	深鉢・D(ⅡC2(?))4a	胴部：渦巻状沈線文，縄文（LR）	251
5	CN87区・1層	深鉢・一	ロ縁部：突起のつく平縁，「ヌ」字状貼付文	251
6	CN87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)10a	ロ縁部：相対する弧状押圧縄文（LR），頸部：横位隆帯，胴部：縄文（LR）	251
7	CN87区・東ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)10a	ロ縁部：相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	251
8	CN87区・東ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	ロ縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），弧状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	251
9	CN87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	ロ縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	251
10	CN87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)10a	ロ縁部：平縁，区画押圧縄文（Lr）	251
11	CN87区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	ロ縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	251
12	CN87区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	ロ縁部：横位平行押圧縄文（LR）	251
13	CN87区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	ロ縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	251
14	CN87区・1層	深鉢・E(Ha)4b(?)	ロ縁部：波状縁，ロ縁に沿う沈線文，縄文（LR）	251
15	CN87区・東ベルト1層	深鉢・N−	ロ縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部）	251
16	CN87区・東ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1b	ロ縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），区画押圧縄文（LR）	251
17	CN87区・東ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)5b	ロ縁部：平縁，連弧状押圧縄文（LR）	251
18	CN87区・東ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)6b	ロ縁部：区画隆線文，横位押圧縄文（LR）	251
19	CN87区・東ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1b	ロ縁部：平縁，指頭状圧痕，横位平行押圧縄文（LR）	251
20	CN87区・1層	深鉢・E(Ⅰ)2a	ロ縁部：横位押圧縄文（Lr）	251
21	CN87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)1e	ロ縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL），指頭状圧痕	251
22	CN87区・東ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)1e	ロ縁部：横位押圧縄文（LR），頸部：横位隆帯，指頭状圧痕，胴部：縄文（LR）結節文（周結び一環）	251
23	CN87区・東ベルト1層	深鉢・S10b	ロ縁部：平縁，横位隆線文，指頭状圧痕，胴部：縄文（LR）	251
24	CN87区・東ベルト1層	深鉢・D(ⅡC2)1c	ロ縁部：波状縁，「S」字状貼付文（波頂部），横位刺突文（上端）横位隆線文，横位押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR），区画沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	251
25	CN87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)5c	ロ縁部：弧状区画沈線文，縄文（Lr）	251
26	CN87区・1層	深鉢・S−	ロ縁部：波状縁，横位隆線文，横位沈線文	251
27	CN87区・1層	深鉢・F−	胴部：斜位隆線文，指頭状圧痕，半截竹管による弧状平行沈線文，縄文（LR）	251
28	CN87区・1層	深鉢・S11a	ロ縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	251
29	CN87区・1層	浅鉢・A3c	ロ縁部：平縁，区画隆線文，横位押圧縄文（LR），胴部：無文（ナデ）	251

第149図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・1層）

は弧状の隆線文・押圧縄文によって文様が構成されている。頸部隆帯には連続して指頭状圧痕が施されている。

第 146 図 2：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第 146 図 3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。口縁部上端には指頭状圧痕が連続して施されている。口縁部は、指頭による縦位のナデツケが施されてから縄文が施文されている。

第 146 図 4：口縁部は複合口縁状を呈し、胴部がゆるく膨む器形である。無文である。

第Ⅰb層（第2層）：第 147 図～第 148 図

第 147 図 1～12：口縁部～胴部破片で押圧縄文以外の文様が施される土器である。文様構成は明らかではない。

第 147 図 13～20, 第 148 図 1～9：口縁部～胴部破片で押圧縄文が施されている土器である。13 は相対する弧状・渦巻状の隆線文と押圧縄文が施されている。17～20 は横位平行押圧縄文と思われる。第 148 図 1 は、縦位楕円形状の隆線文の間に、弧状隆線文・押圧縄文が施されている。口縁部下部には半截竹管による連続刺突文が加えられている。

第 147 図 21～22, 第 148 図 11：口縁部破片である。21 は、三日月状を呈する突起が付されている。

第 148 図 10：胴部破片である。「Y」字状懸垂隆線文が施されている。

第 148 図 12～16：文様が施されない土器である。口縁部が複合口縁状から頸部がゆるい「く」字状を呈する器形である。

第 148 図 17：頸胴部破片である。頸部には隆帯が設けられている。胴部地文は撚糸文である。

第 148 図 18～19：浅鉢形土器である。無文。

第Ⅰa層（第1層）：第 149 図

第 149 図 1～9：口縁部～胴部の破片資料である。いずれも文様構成は明らかではない。沈線文降線文・押圧縄文・刺突文が施されている。

CO87 区

第Ⅴ層（第8層）：第 150 図

第 150 図 1～2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。1 の口縁部には、弧状および、横位の区画沈線文か施されている。頸胴部には、半截竹管による平行沈線文が配されている。

第Ⅴ層上面（第８層上面）：第 151 図

第 151 図 1：口縁部破片である。細い粘土紐の貼付によって文様が構成されている。

第 151 図 2～5：押圧縄文の施される土器である。2 は頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部が内弯するキャリパー状の器形である。弧状の区画隆線文・渦巻状隆線文・押圧縄文が口縁部に施されている。5 は胴中位がゆるやかに膨む器形である。長方形状の区画押圧縄文・弧状押圧縄文、渦巻状押圧縄文が配されている。

第 151 図 6：口縁部破片である。弧状の貼付文と沈線文が施されている。

第 151 図 7：口縁部破片である。波状縁を呈し、波頂部には螺旋状を呈する隆線が貼付されている。渦巻状隆線文、連弧状貼付文、連弧状押圧縄文、区画隆線文、円形竹管文が施されている。

第 151 図 8：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第Ⅱｆ層（第７層）：第 152 図

第 152 図 1～2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部下端には指頭状圧痕が連続して施されている。2 の胴部上半には半截竹管による平行沈線文が描かれている。

第 152 図 3：口頸部破片である。細い粘土紐の貼付によって文様が施されている。

第 152 図 4～8：口縁部～胴部破片で、沈線文あるいは押引き文によって文様が構成される土器である。4 は横位平行沈線間に交互刺突が施されている。6 は弧状、渦巻状の押引き文が施されている。

第 152 図 9～10，12：口縁部に押圧縄文が施される土器である。12 は胴部上半がゆるやかに外反し、口縁部は複合口縁状を呈して外傾する器形である。口縁部上端には横位波状隆線文が貼付されている。

第 152 図 11, 13：文様意匠が施されない土器である。11 の口縁部は複合口縁状を呈している。

第 152 図 14～15：浅鉢形土器である。14 には、横位平行押圧縄文が、施されている。

第Ⅱｆ層上面（第７層上面）：第 153 図～第 154 図

第 153 図 1～4：胴部破片で区画隆線文・沈線文が施されている土器である。

第 153 図 5～6，第 154 図 1：文様に押圧縄文が用いられている土器である。6 は頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯する器形である。楕円形状の区画内に押圧縄文が施されている。第 154 図 1 は胴中位が最も膨む器形である。胴上部に 6 単位の長方形状区画が設けられ、各々、相対する弧状文が隆線文によって施されている。隆線間には、押圧縄文が施されている。

第Ⅱe層（第6層）：第155図

第155図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。弁状を呈する波状縁で、弧状区画隆線文と沈線文から文様が構成されている。

第155図2：胴部から口縁部にかけて内弯する器形と思われる。胴部には横位平行隆線文が施されている。

第155図3，5：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠が施されない土器である。

第155図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形である。押圧縄文による弧状文・渦巻文・三叉状文が口縁部に施されている。

第155図5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。横位平行押圧縄文、半截竹管による平行沈線文・連続刺突文が口縁部に施されている。

第Ⅱb層（第5層）：第156図～第157図

第156図1～5，12：口縁部～胴部破片で、文様構成に沈線文が用いられる土器である。1は横位平行沈線文、2は「𝑥」字状区画隆線文・沈線文が口縁部に施されている。3は弁状を呈する波状縁と思われる。4～5には弧状沈線文が施されている。

第156図6：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。突起は「の」字状を呈する渦巻文である。

第156図7～11：口縁部～胴部破片で、文様構成に押圧縄文が用いられている土器である。7～9は頸部が「く」字状にくびれ口縁部が内弯気味に外傾する器形である。7は相対する弧状隆線文、押圧縄文が施されている。

第156図13～14：文様意匠が施されない土器である。口縁部は複合口縁状を呈している。

第156図15：浅鉢形土器である。口縁部には中央に円形文をはさむ、「𝑥」字状区画隆線文が施され、区画内にはさらに、交互刺突帯が設けられている。

第157図1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様が描かれ、縦位弧状あるいは縦位連弧状の文様が配されている。

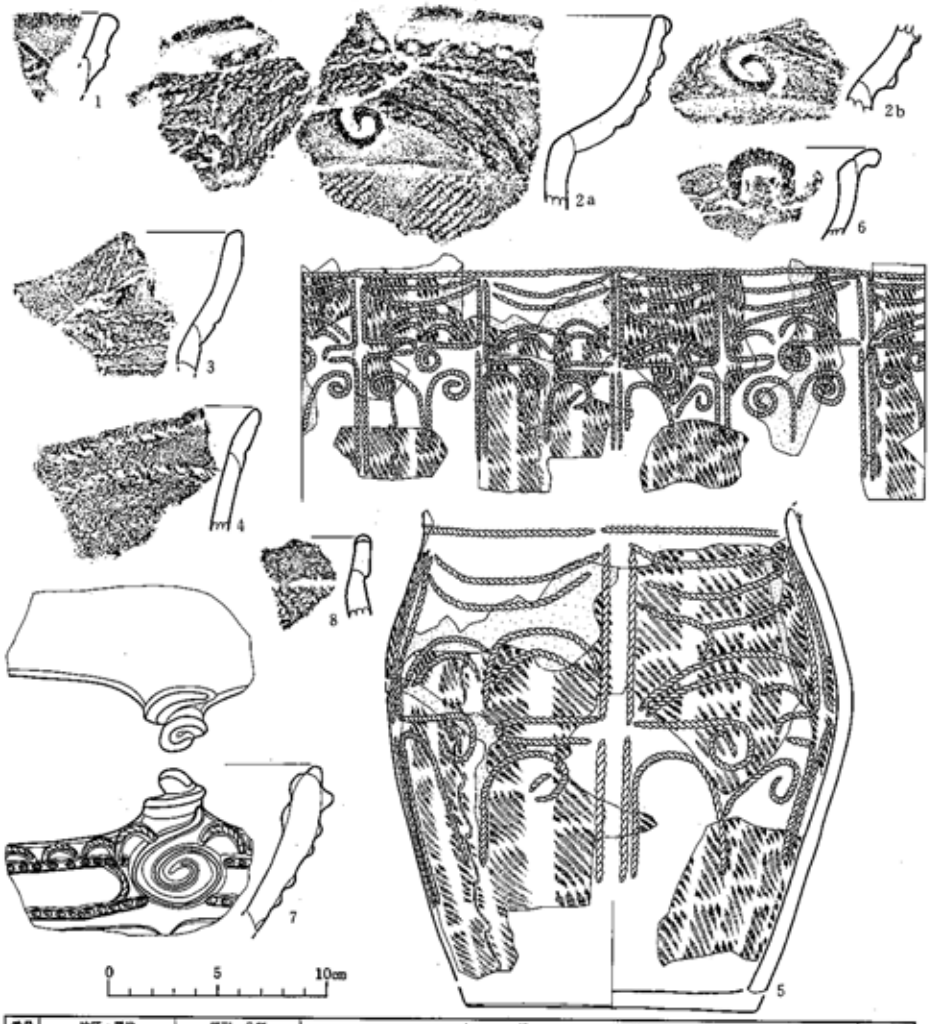
第Ⅱb層上面（第5層上面）：第158図

第158図1：口縁部がゆるく外反する器形である。横位平行押圧縄文が口縁部に施されている。

第158図2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。無文。

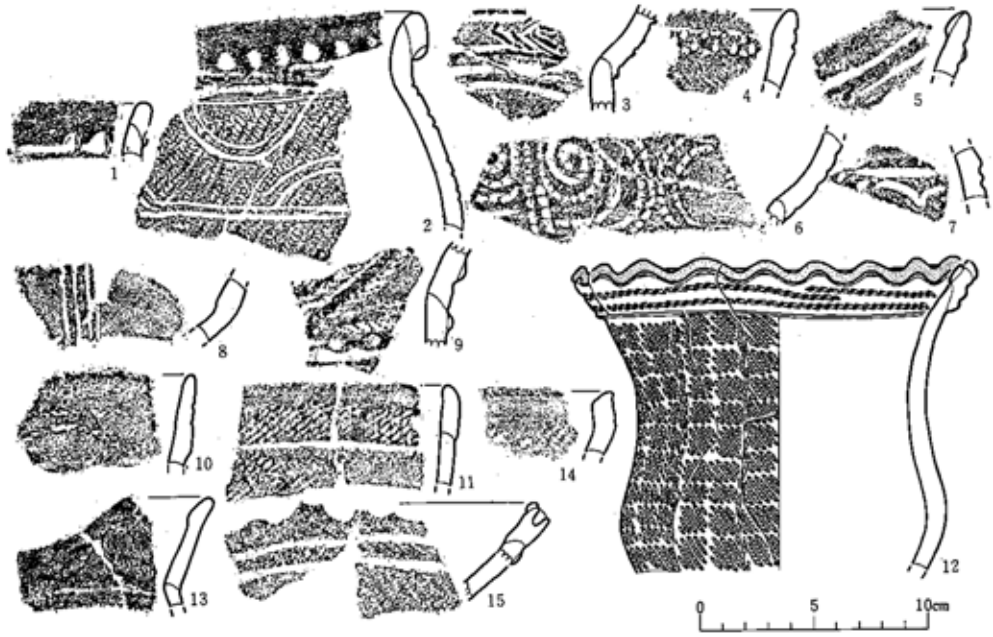
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO87区・8層	深鉢・A(II)3	口縁部：小突起のつく平縁，区画沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	252
2	CO87区・8層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，（摩滅）	252

第150図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・8層）



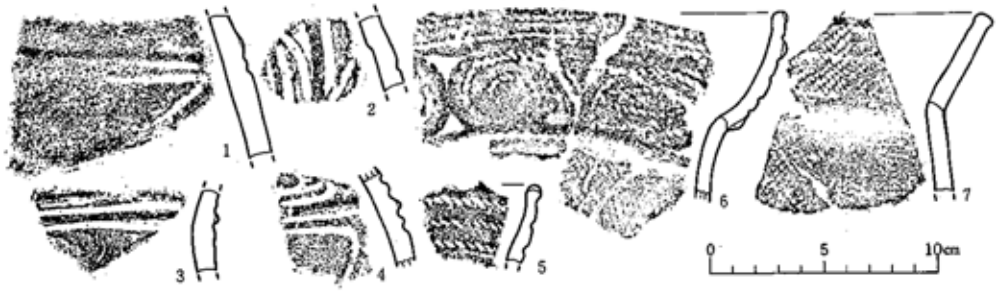
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO87区・8層上面	深鉢・S1	口縁部：平縁，貼土隆帯付文	252
2a,b	CO87区・8層上面	深鉢・D(I)8c	口縁部：平縁，口縁に沿う隆線文，指頭状圧痕（隆線上），連弧状区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）	252
3	CO87区・8層上面	深鉢・D(II)C2)4c(?)	口縁部：波状縁，区画押圧縄文（R $\ddagger$，Lr）	252
4	CO87区・8層上面	深鉢・D(II)b)1	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（Lr），胴部：（摩滅）	252
5	CO87区・8層上面，CN87区・4層，CN87区・4層上面，CN87区・第ベルト1層，CM87区・北ベルト1層	深鉢・N9b	胴部：区画押圧縄文（Lr），弧状押圧縄文（Lr），渦巻状押圧縄文（Lr），縄文（Lr）	57−3
6	CM87区・8層上面	深鉢・D(I)5b(?)	口縁部：突起のつく平縁，「U」字状貼付文，接合沈線文，胎土：金雲母を多く含む	252
7	CM87区・8層上面	深鉢・D(II)6b	口縁部：波状縁，横隆状貼付文（隆帯側），連弧状貼付文，押圧縄文(Lr)（貼付上），渦巻状隆線文，区画隆線文，円形竹管文	252
8	CM87区・8層上面	深鉢・D(I)−	口縁部：小波状部をもつ平縁，指頭状圧痕（上端），胴部：縄文（LR）	252

第151図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・8層上面）



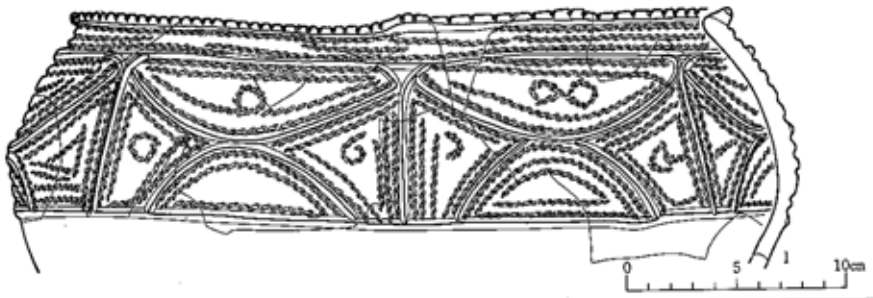
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・北ベルト7層	深鉢・V1	口縁部：平縁，指頭による圧痕	252
2	CO87区・7層	深鉢・N−	口縁部：波状縁，指頭状圧痕（下端），胴部：半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による弧状沈線文，縄文（LR）	252
3	CO87区・7層	深鉢・H5b	口縁部：粘土紐貼付文，貼付に沿う沈線文	252
4	CO87区・7層	深鉢・D(I)1d	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	252
5	CO87区・7層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文	252
6	CO87区・7層	深鉢・D(IIa)4b(?)	口縁部：区画押引き文，渦巻状押引き文	252
7	CO87区・7層	深鉢・N9a	胴部：横位隆帯，胴部：連弧状沈線文，縄文（LR）	252
8	CO87区・7層	深鉢・D(IIa)1b	口縁部：横位平行沈線文	252
9	CO87区・7層	深鉢・D(I)10a	口縁部：区画隆線文，指頭状圧痕（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（LR）	252
10	CO87区・7層	深鉢・W5	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL，LR），連弧状押圧縄文（RL,LR）	252
11	CO87区・7層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	252
12	CO87区・7層	深鉢・T2	口縁部：平縁，波状隆線文，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一単）	57−1
13	CO87区・北ベルト7層	深鉢・V4	口縁部：波状縁，無文（ナデ）	252
14	CO87区・7層	浅鉢・A4b	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	252
15	CO87区・7層	浅鉢・A4	口縁部：突起のつく平縁，横位隆線文，縄文（RL），胴部：縄文（RL），波状貼付文（内面）	252

第152図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・7層）



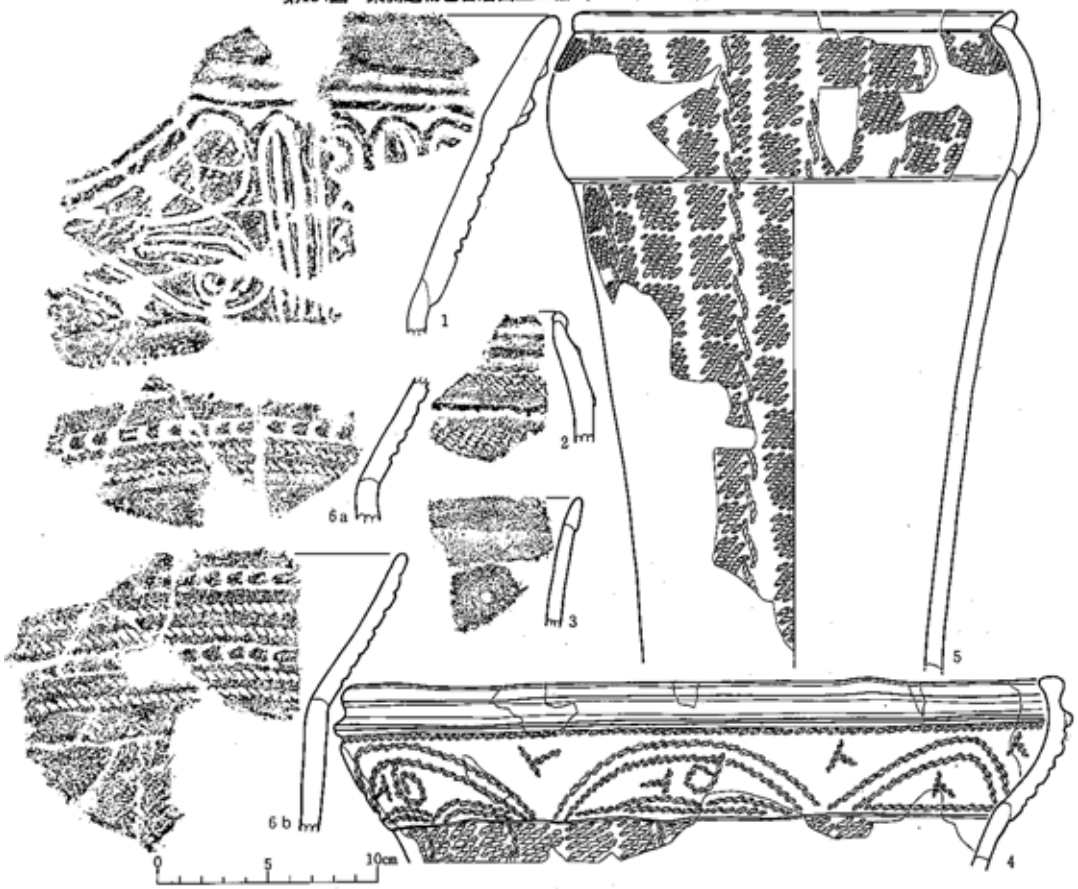
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・7層上面	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（単節）	253
2	CO87区・7層上面	深鉢・N9a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	253
3	CO87区・7層上面	深鉢・D−	胴部：横位隆帯，横位沈線文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一単）	253
4	CO87区・7層上面	深鉢・F(I)1	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文	253
5	CO87区・7層上面	深鉢・F(I)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（LR）	253
6	CO87区・7層上面	深鉢・D(I)6a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），区状区画隆線文，渦巻状押圧縄文（LR），同心円状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結束文（片結び一単）	253
7	CO87区・7層上面	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	253

第153図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・7層上面(1)）



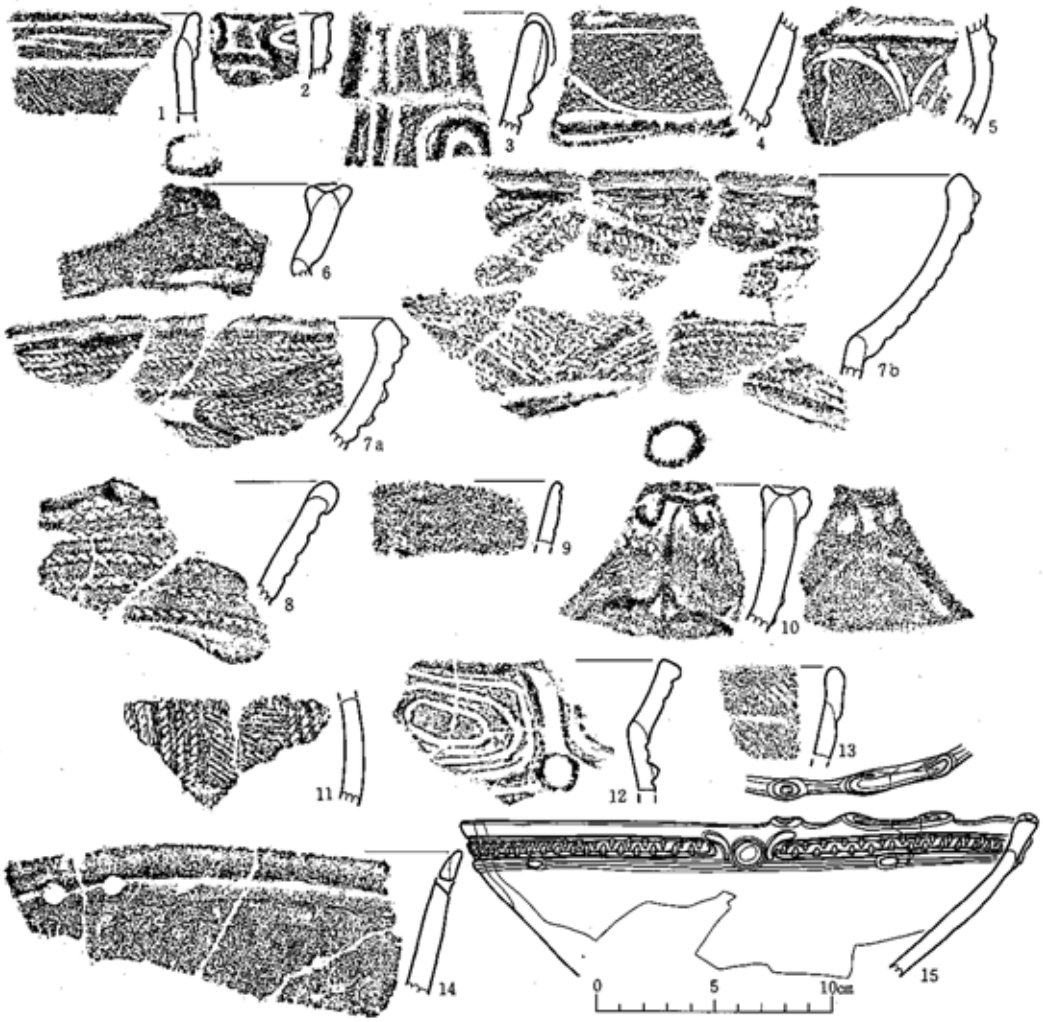
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・7層上面, CO86区・5層上面, CV86区・4層上面, CN78区・4層上面, CL86区・2層	深鉢・N6b	口縁部：平縁、「の」字状刺突文（上端）、横位押圧縄文（RL）（上端）、相対する弧状区画施文、隆線に沿う押圧縄文（RL）、胴部：無文	56−2

第154図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・7層上面(2)）



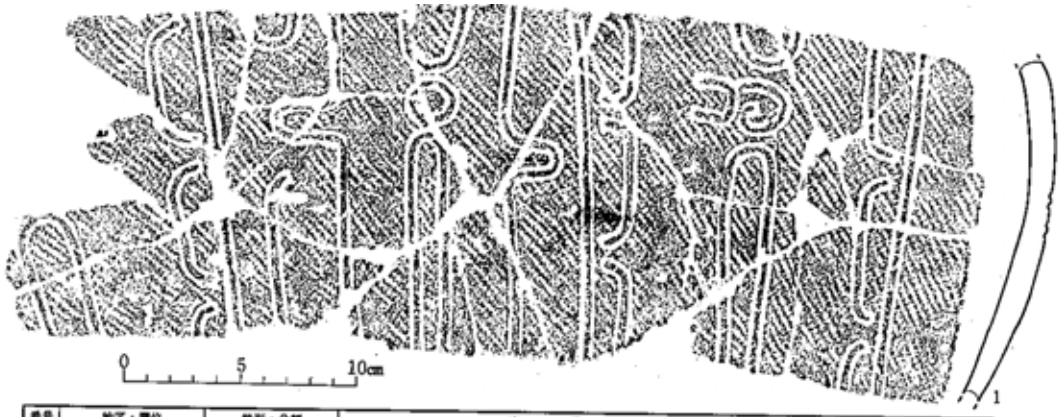
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・6層	深鉢・D(II c2)1a	口縁部：波状縁、区画施縄文、隆線に沿う沈線文、渦巻状沈線文、波状沈線文、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	253
2	CO87区・6層	深鉢・D(1)6a	口縁部：小波状縁、突瘤状三孔（上端）、胴部：横位平行沈線文、縄文（LR）	253
3	CO87区・6層	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文（ナデ）、胴部：無文（ナデ）	253
4	CO87区・6層, CP84区・3層, CP87区・3層, CP87区・2層	深鉢・D(1)8c	口縁部：平縁、波状区画押圧縄文（RL）、渦巻状押圧縄文（RL）、地文状押圧縄文（RL）、胴部：縄文（RL）結節文（同植び一段）	58−2
5	CO87区・6層, CO88区・4層上面	深鉢・L10	口縁部：平縁、無文（上面）、縄文（RL）結節文（片結び一段）、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一段）	58−3
6a,b	CO87区・6層	深鉢・D(1)3e	口縁部：平縁、平縁内管による横位平行沈線文、平縁内管による連続刺突文、横位平行押圧縄文（LR）、胴部：縄文（RL）結節文（同植び一段）	253

第155図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・6層）



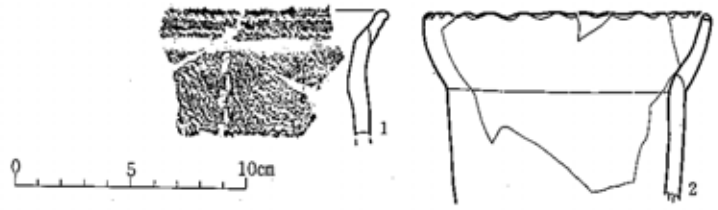
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・5層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，胴部：縄文（Lr）	253
2	CO87区・北ベルト5層	深鉢・D(Ⅰ)4a(?)	口縁部：平縁，「ﾒ」字状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，連弧状沈線文	253
3	CO87区・5層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文	253
4	CO87区・5層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，弧状沈線文，縄文（RL）	253
5	CO87区・北ベルト5層	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，連弧状沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一段）	253
6	CO87区・5層	深鉢・N4a	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起）	254
7a,b	CO87区・5層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），胴部：無文（ナデ），胴部：縄文（LR）	254
8	CO87区・5層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起），横位平行押圧縄文（LR）	254
9	CO87区・5層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	254
10	CO87区・北ベルト5層	深鉢・D(Ⅱc2)1b	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），「ﾒ」字状貼付文（内側）	254
11	CO87区・5層	深鉢・N7b	胴部：鳥瞰形状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），縄文（Lr）	254
12	CO87区・5層	深鉢・F(Ⅰ)4	口縁部：波状縁，区画隆線文，円形貼付文，座頭状把手（貼付上），隆線に沿う沈線文	254
13	CO87区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	254
14	CO87区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ），補修孔有り	254
15	CO87区・5層，CF68区・1層	浅鉢・A3a	口縁部：小波状部をもつ平縁，区画隆線文，楕円形貼付文，横位平行沈線文，交互刺突文，胴部：無文	58－1

第156図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・5層(1)）



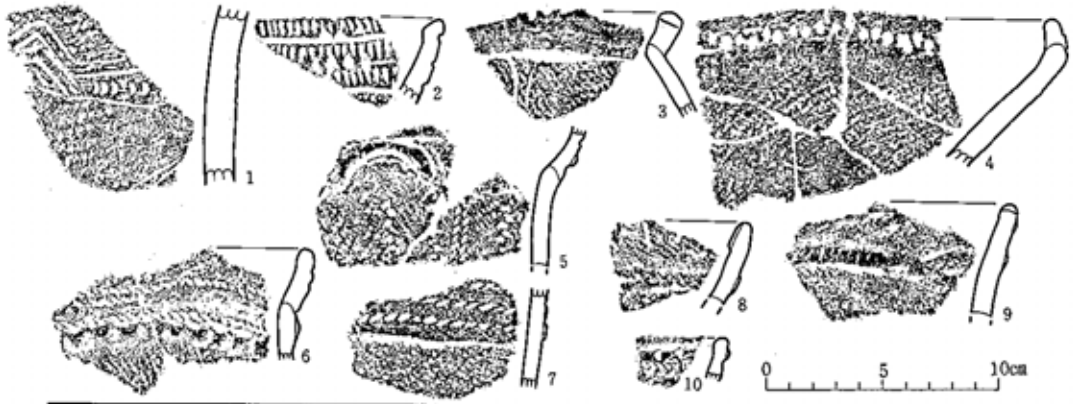
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・3層、 CO87区・3層上面、 CO87区・4層、 CO87区・3層上面	深鉢・T1	胴部：半截竹管による縦位弧状平行沈線文，縄文（LR）	254

第157図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・5層(2)）



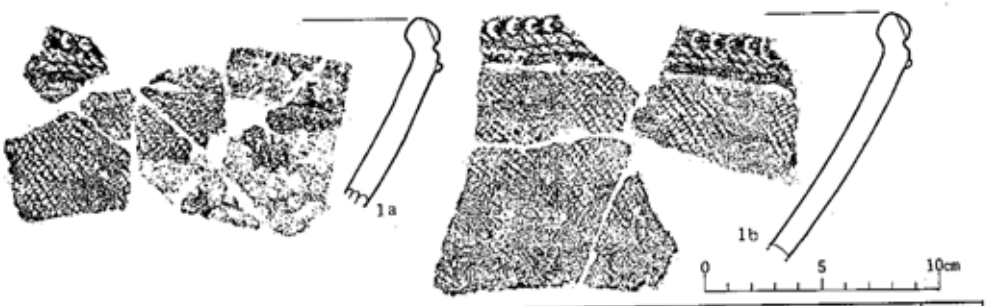
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・5層上面	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一段）	255
2	CO87区・5層上面 CO87区・4層	深鉢・W5	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（上端），無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	59－4

第158図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・5層上面）



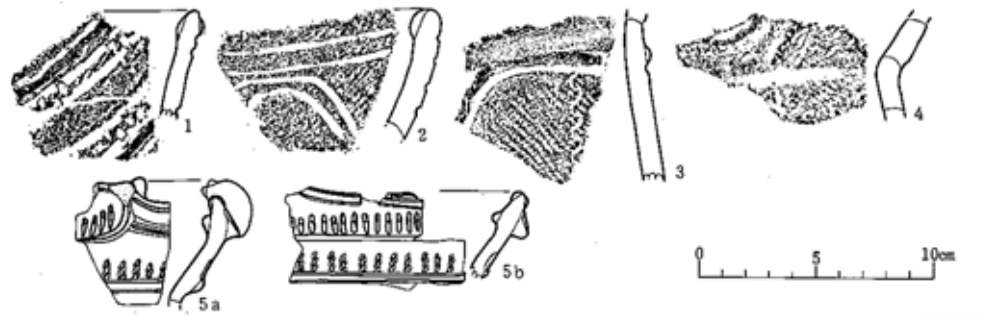
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・北ベルト4層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文，半截竹管による連続刺突文，縄文（LR）	255
2	CO87区・4層	深鉢・C1	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縦位開沈線文，三角形の彫去	255
3	CO87区・4層	深鉢・N9a	口縁部：突起のつく平縁，縦位刺目文（突起），胴部：縦位沈線文，縄文（Lr）	255
4	CO87区・北ベルト4層	浅鉢・A3a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	255
5	CO87区・4層	深鉢・D(I)8c	口縁部：弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR），縦位押圧縄文（LR）	255
6	CO87区・4層	深鉢・E(I)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文(LR)，横位平行押圧縄文(LR)，胴部：横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯上），胴部：縄文（LR）	255
7	CO87区・4層	深鉢・S5a	口縁部：横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）	255
8	CO87区・北ベルト4層	深鉢・－	口縁部：波状縁，区画隆線文，縄文（RL）	255
9	CO87区・4層	深鉢・－	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），頸部：横位隆帯，斜位刺目文，胴部：縄文（RL）	255
10	CO87区・4層	深鉢・－	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，半截竹管による刺突文（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（LR）	255

第159図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・4層(1)）



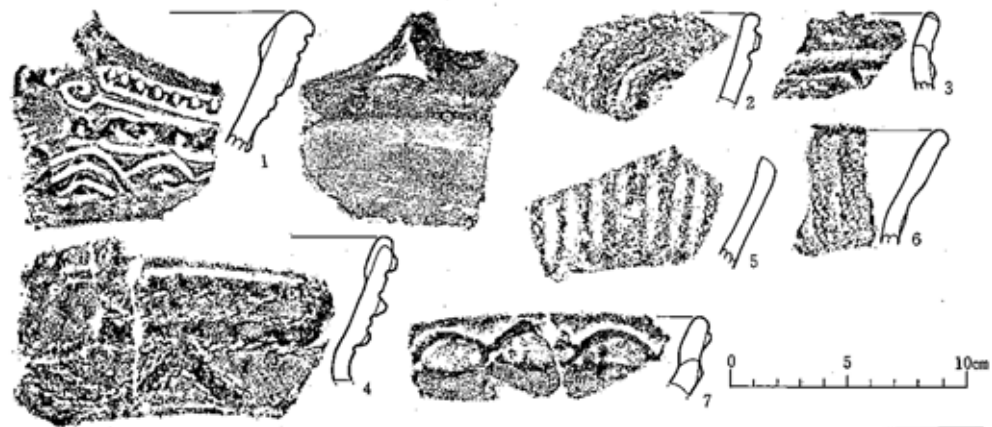
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CO87区・4層・CO88区・1層	深鉢・A4c	口縁部：平縁，横位隆線文，半截竹管による刺突文，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	255

第160図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・4層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・3層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：弧状線，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	255
2	CO87区・3層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：弧状線，口縁に沿う沈線文，弧状沈線文，縄文（Lr）	255
3	CO87区・3層	深鉢・N9a	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）結節文（先細び一原）	255
4	CO87区・3層	深鉢・D(I)10a	口縁部：弧状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（両細び一原）	255
5a,b	CO87区・3層	深鉢・D(I)−	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状隆線文，横位平行隆線文，横位刺目文，横位押圧縄文（LR），口縁に沿う粘土紐貼付文（白抜）	255

第161図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO87区・1層	深鉢・N5a	口縁部：横走線，「の」字状貼付文（脱漏部），口縁に沿う平行沈線文，交互刺突文，綱巻状押引き文，横位隆線文，連弧状沈線文	256
2	CO87区・2層	深鉢・D(I)10a	口縁部：波巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	256
3	CO87区・2層	深鉢・N4b	口縁部：小突起のつく平縁，横位押圧縄文（RL）（突起），胴部：区画隆線文，弧状押圧縄文（RL）	256
4	CO87区・2層	深鉢・D(I)5a	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文，区画隆線文，指頭状圧痕（隆線上），隆線に沿う押圧縄文(RL)	256
5	CO87区・2層	深鉢・E(I)2b	口縁部：ヘラ状工具によるナデツケ，縄文（LR）	256
6	CO87区・2層	深鉢・E(I)2b	口縁部：平縁，ヘラ状工具によるナデツケ，縄文（LR）	256
7	CO87区・2層	浅鉢・A6	口縁部：平縁，連弧状貼付文，脇部：横位隆帯，胴部：無文	256

第162図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・2層・1層）

第Ⅱa層（第4層）：第159図～第160図

第159図1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文・連続刺突文が施されている。

第159図2：口縁部破片である。横位平行沈線文、縦位短沈線文、三角形の彫去が施されている。

第159図3：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部は短く外傾している。文様は胴部に施されている。

第159図4：交互刺突帯を持つ浅鉢形土器である。

第159図5～10：口縁部～胴部破片で文様構成に押圧縄文が用いられている土器である。文構成は明らかではない。

第160図1：浅鉢形土器である。口縁部には半截竹管による連続刺突文・横位平行押圧縄文が施されている。

第Ⅰb層（第3層）：第161図

第161図1～2：弁状を呈する波状縁の口縁部破片と思われる。文様構成は明らかではない。

第161図3：胴部破片である。「Y」字状懸垂隆線文、沈線文が施されている。

第161図4：口縁部～胴部破片である。隆線文・押圧縄文が施されている。

第161図5：口縁部破片である。隆線文、刻目文、押圧縄文が施されている。

第Ⅰa層（第2層・第1層）：第162図

第162図1～7：口縁部～胴部破片である。隆線文・沈線文・押圧縄文・刺突文が施されている。文様構成は明らかではない。

ＣP87区

第Ⅴ層（第7層）：第163図

第163図1～7：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部に1～2は鋸歯状文、3～4は長方形状の区画文が設けられている。また、6～7は縦位刻目文が連続して施されている。頸部には横位平行沈線文が施されている。

第163図8～12：頸部と胴下部にくびれ部をもつ器形と思われる。8は胴上部に山形文と弧状文が沈線文によって施されている。9～12の施文工具には半截竹管が用いられている。

第163図13～15：文様意匠が施されない土器である。いずれも地文に縄文が施されている。

第Ⅴ～Ⅲb層（第7～6層）：第164図

第164図1：口縁部は肥厚している。連弧状押圧縄文が施されている。

第164図2：文様意匠が施されない土器である。縄文が施されている。

第Ⅲb層（第6層）：第165図～第167図

第165図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部は四波状を呈し、波頂部は曲玉状を呈している。口縁部・胴部ともに波頂部から垂下する懸垂隆線文で大きく区画され、さらに弧状区画隆線文によって分割されている。区画文は隆線文・沈線文・交互刺突文によって構成されている。胴部の区画内には菱形状、三叉状、弧状の文様が押引き文によって施されている。

第166図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁上端には粘土紐によって、4 単位小波状部がつくられている。頸部には「𝑥」字状貼付文、胴部には「Y」字状懸垂隆線文が付され、これらの4単位の区画内に隆線に沿う弧状沈線文が配されている。

第166図2：胴部から口縁部にむかってほぼ直線的に外傾する器形である。口縁部はわずかに膨んでいる。口縁上端には粘土紐によって4単位の小波状部がつくられている。口縁部には横位沈線文・山形状沈線文が施されている。頸部には4単位の円形貼付文と隆帯が設けられている。胴部には2本1組の懸垂沈線文が配されている。

第166図3：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形である。口縁部は弁状を呈する四波状縁で、波頂部には刻目文が施されている。口縁部は波頂部・波底部から垂下する懸垂沈線文によって8単位の区画に分割され、区画内には弧状あるいは連弧状の沈線文が施されている。区画沈線文には連続刺突文が加えられている。地文は、結束羽状縄文である。

第167図1：口縁部破片である。半截竹管による連続刺突文が施されている。

第167図2～4：口縁部～胴部破片である。横位平行沈線間に連続刺突文あるいは三角形の彫去が施されている土器である。2 は頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形である。口縁部には縦位の橋状把手が付され、その間に横位平行沈線文・半截竹管による連続刺突文が施されている。頸部隆帯には弧状押引き文・三角形の彫去が加えられている。

第167図5～6：文様が沈線文によって施されている土器である。6は弁状を呈する四波状縁の口縁部破片と思われる。

第167図7：口縁部が弁状を呈する土器である。波頂部に刻目文が施されている。

第167図8～9：口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠の施されない土器である。

第167図10：無文の浅鉢形土器である。

第IIIb～a層（第6～5層）：第168図

第168図1～5：口縁部～胴部破片である。文様構成は明らかではない。隆線文や沈線文、刺突文が施されている。

第168図6：口縁部破片で文様意匠の施されない土器である。

第168図7：無文の浅鉢形土器である。

第IIIa層（第5層）：第169図～第171図

第169図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾し、胴部が膨む器形である。口縁上端には山形状の小突起が付されている。口縁上部と下部には、横位平行沈線文が施され、上部はさらに交互刺突文が加えられている。横位平行沈線文間の口縁中央部には波状・渦巻状の押引き文が施されている。胴部は「Y」字状懸垂隆線文によって4単位に区画され、区画内には弧状隆線文によって分割されている。中央には渦巻状隆線文が配されている。これらの隆線文に沿って沈線文が施され、頸部には交互刺突文が加えられている。

第169図2：胴部から口縁部にむかってほぼ直線的に外傾する器形である。口縁上端には4単位の小波状部が配られている。口縁部は4単位の楕円形状隆線文が施され、区画内部には沈線文が施されている。胴部は4単位の懸垂沈線文が施されている。

第169図3～5，第170図1～2：文様意匠の施されない土器である。1～3は口縁部が複合口縁状あるいは、頸部がゆるい「く」字状を呈する器形である。いずれも縄文結節文が地文として施されている。5の頸部には4単位の円形貼付文が付されている。第170図1～2は頸部が「く」字状にくびれる器形である。2の胴部中央にはゆるいくびれ部が設けられている。無文。

第170図3～10：口縁部～胴部破片で、主として沈線文、半截竹管文の施される土器である。文様構成は明らかではない。

第170図11～16・第171図1～8：口縁部～胴部破片で、沈線文単独あるいは区画隆線文・沈線文が施される土器である。第170図11は胴部から口縁部にむかって直線的に外傾する器形である。胴部に長方形状の区画隆線文・沈線文が施され、さらに三角形の彫去が交互に加えられている。12は胴上部に鋸歯状の沈線文が施されている。13は、頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。口縁部・胴部に縦位隆線文が貼付されている。14～16，第171図1～4は口縁部が弁状の波状縁を呈する器形と思われる。隆線文のみによって文様が構成されるもの、隆線文・沈線文が施されるもの、沈線文のみで構成されるものがある。第171図8は胴部から口縁部にむかって直線的に外傾する器形である。口縁部には「 」字状貼付文が付されている。胴部は、縦位の沈線文が施され、胴部中央に位置すると思われる円形文で、弧状に折り返している。第171図7～8は区画隆線文・沈線文が施されている。

第 171 図 9～16：文様意匠の施されない土器である。器形としては口縁部が複合口縁状をなすものから、頸部がゆるい「く」字状にくびれるものまでが認められる。

第 171 図 17：浅鉢形土器である。頸部には横位隆帯が施されている。

第IIIa層上面（第5層上面）：第 172 図～第 173 図

第 172 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に直立する器形である。口縁上端には 4 単位の小波状部が設けられている。口縁部は小波状部下に「冂」状の沈線文が施され、その間にほぼ正方形状を呈する 2 つの区画が沈線文によって施されている。区画内には弧状沈線文が施されている。

第 172 図 2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。口縁部は 2 個 1 対の山形状突起が 4 単位施され、各々貫通孔が配されている。

第 172 図 3：浅鉢形土器である。口縁上端には突起が 1 つ付され、内面に「の」字状貼付文が加えられている。口縁部は「𝓍」字状区画隆線文が配されている。

第 172 図 4～7：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。弧状の区画沈線文が施されている。5～6 は弁状の波状縁を呈するものと思われる。

第 172 図 8～10・第 173 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し胴部が膨む器形と思われる。主文様帯は胴部に構成され、弧状の区画文が構成されている。

第 173 図 2～8：文様意匠が施されない土器である。器形としては口縁部が複合口縁状あるいは頸部が「く」字状にくびれるものが認められる。

第IIIa～IIe層（第5～4層）：第 174 図

第 174 図 1～2：口縁部破片である。1 は横位平行沈線文、横位隆帯、刻目文が施されている。

第 174 図 3：浅鉢形土器である。口縁部には円環状の貼付文、横位平行押圧縄文が施されている。

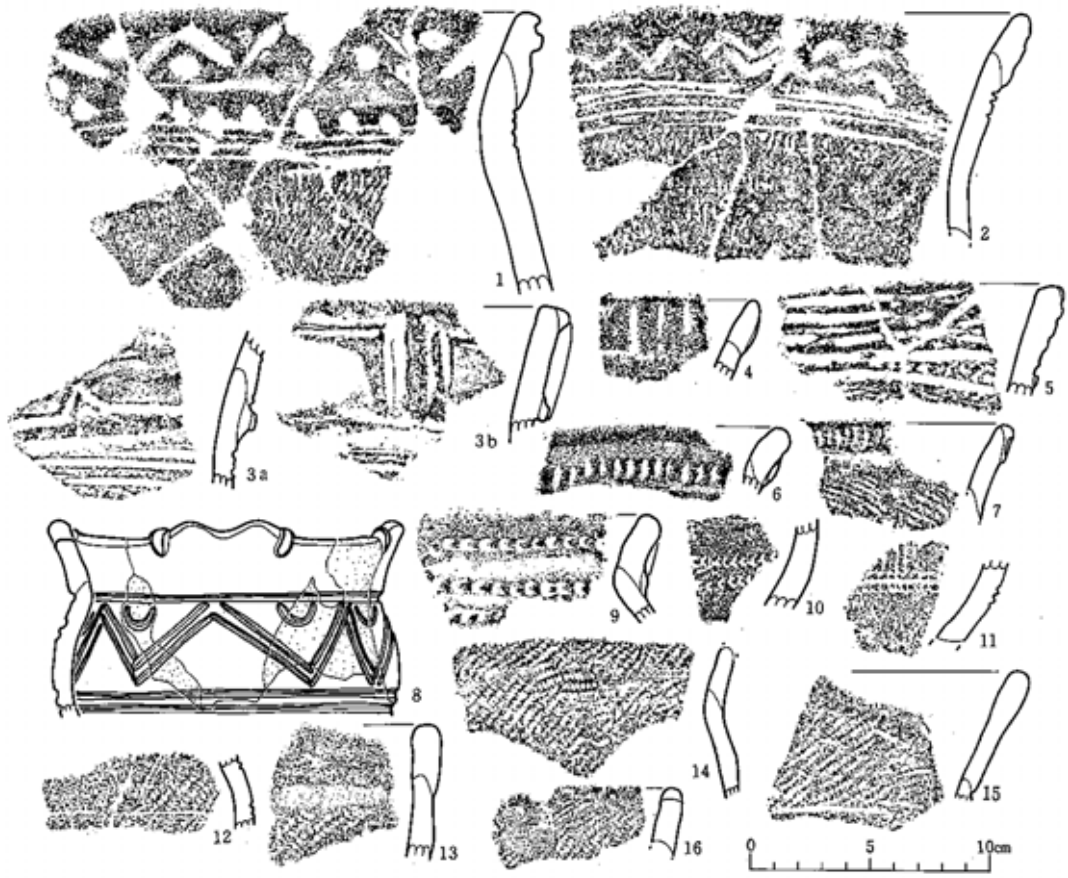
第IIe層（第4層）：第 175 図～第 176 図

第 175 図 1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 175 図 2～3：口縁部破片である。2 は横位沈線文・斜位短沈線文、3 は半截竹管による横位平行沈線文・連続刺突文が施されている。

第 176 図 1：口頸部破片である。口縁部には横位隆線文、横位平行押圧縄文、頸部には円形竹管文が施されている。

第 176 図 2～6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する

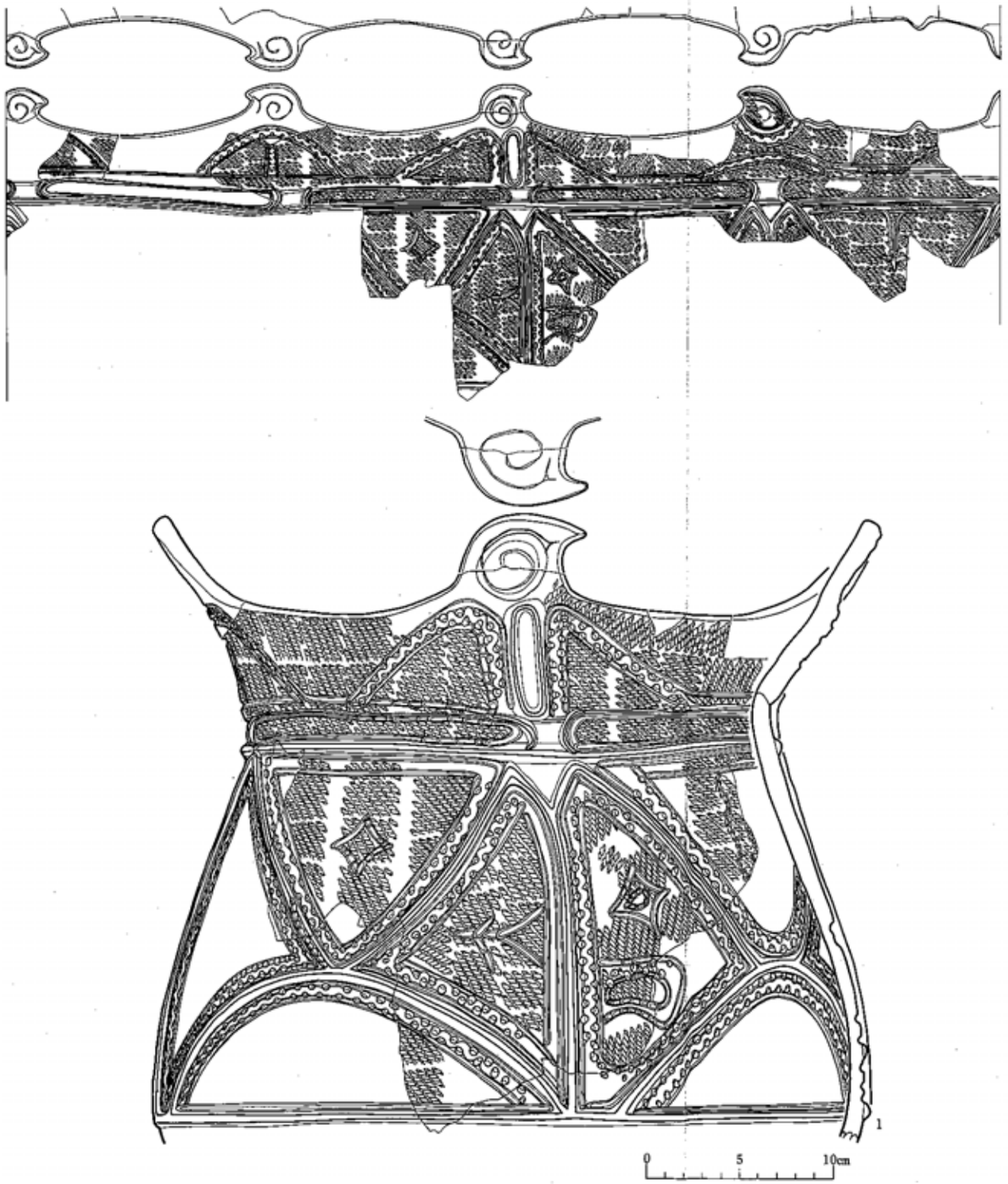


番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CP87区・7層	深鉢・A(I)2	口縁部：平縁，鋸歯状沈線文，内部の縄孔．頸部：横位隆帯，三角形の刺突，胴部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）	256
2	CP87区・7層，CP86区・6層	深鉢・A(I)3	口縁部：平縁，鋸歯状沈線文，胴部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文（LR）　※CP86区・6層に同一個体あり	256
3a,b	CP87区・7層，CP87区・7層上面	深鉢・E(I)4a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，鋸歯状沈線文；頸部：横位平行沈線文，縄文（LR）	256
4	CP87区・7層	深鉢・A(I)1	口縁部：平縁，横位沈線文，胴部：無文	256
5	CP87区・7層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，横位沈線文，縄文（LR），頸部：横位隆帯	256
6	CP87区・7層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，横位隆帯，横位刻目文（隆帯上）	256
7	CP87区・7層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，刺突文，胴部：縄文（RL）	256
8	CP87区・7層，CP87区・7層上面	深鉢・H2a	口縁部：突起のつく平縁，横位結節文（上端），無文（ナデ），胴部：横位平行沈線文，山形状平行沈線文，単円形状沈線文	59－2
9	CP87区・7層	深鉢・H5	口縁部：平縁，区画隆線文，半截竹管による刺突文，頸部：半截竹管による刺突文	256
10	CP87区・7層	深鉢・H－	胴部：半截竹管による刺突文	256
11	CP87区・7層	深鉢・N－	胴部：半截竹管による区画押引き文，縄文（LR）	256
12	CP87区・7層	深鉢・H2a	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	256
13	CP87区・7層	深鉢・S10b	口縁部：波状縁，無文（ナデ），胴部：縄文（LR）	256
14	CP87区・7層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	256
15	CP87区・7層	深鉢・V3	口縁部：突起のつく平縁，縄文（LR），頸部：横位沈線文，胴部：縄文（LR）	256
16	CP87区・7層	深鉢・V3	口縁部：小波状部をもつ平縁，指頭状圧痕（上端），縄文（LR）	256

第163図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・7層）

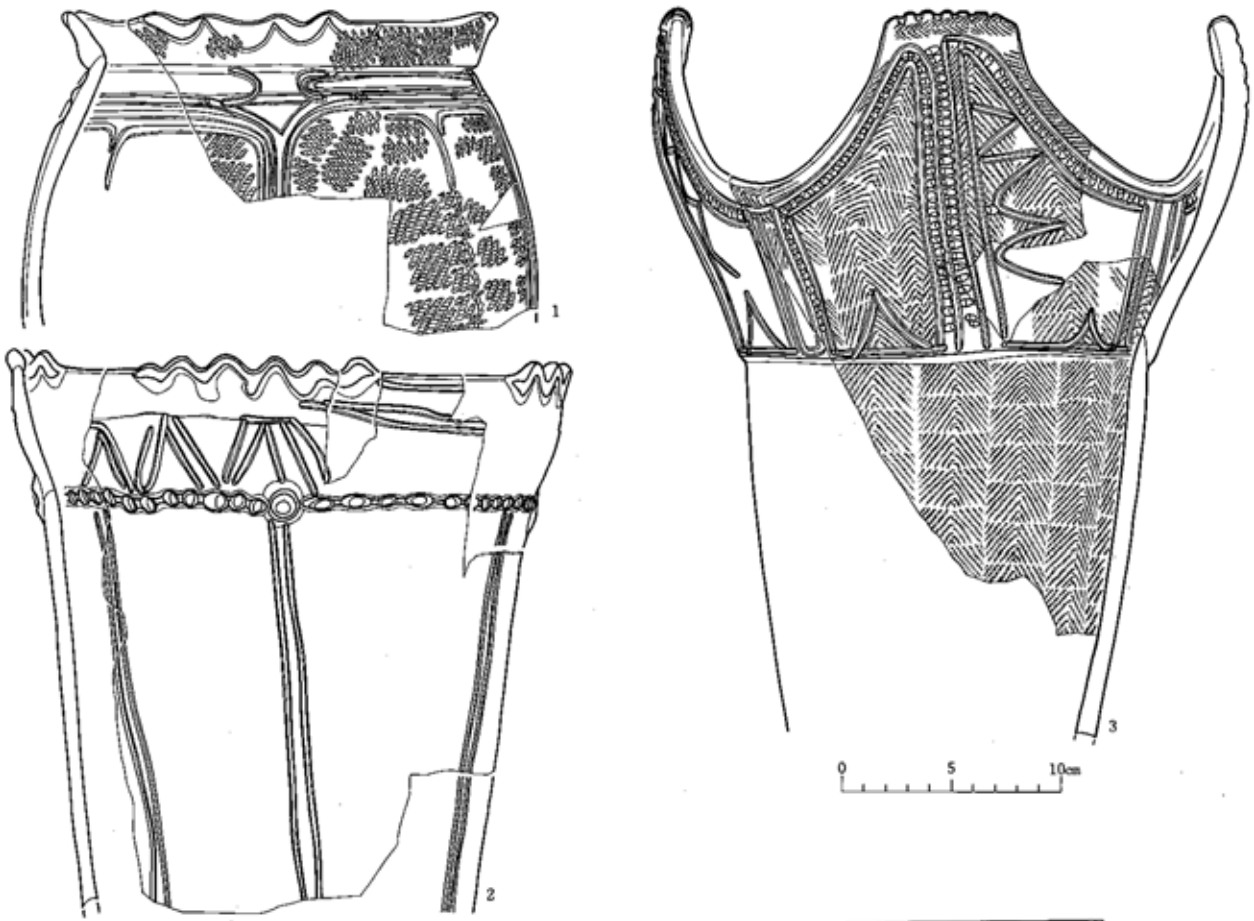
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CP87区・6～7層	深鉢・H－	口縁部：平縁，連弧状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	257
2	CP87区・6～7層	深鉢・V3	口縁部：突起のつく平縁，縄文（LR）	257

第164図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・6～7層）



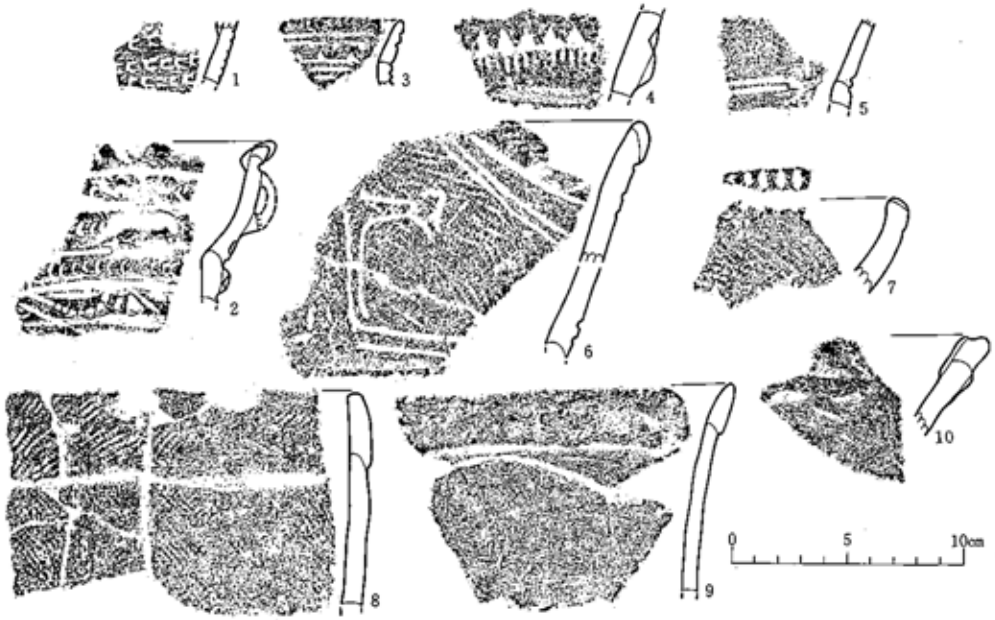
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・5層、CP88区・西ベルト5層、CP88区・4層	深鉢・F(II)1	口縁部：突起のつく波状縁、金属状突起（貝殻刺）、縦位区画隆線文、刻目区画沈線文、交互刺突文、縄文（LR）、胴部：「メ」字状貼付文、押引き文、縄文（LR）、胴部：区画隆線文、隆線に沿う平行沈線文、交互刺突文弧状沈線文、縄文（LR）結節文（向結び一段）	57−4

第165図　東側遺物包含層出土土器（CP87・6層(1)）



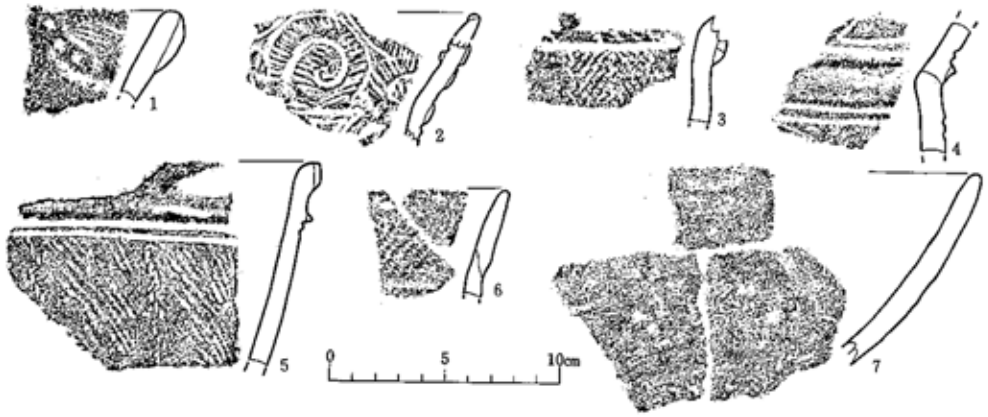
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・6層、CP88区・1b～2a層	深鉢・N9a	口縁部：小波状形をもつ平縁、波状貼付文（上端）、縄文（LR）、無節：「〆」字状貼付文、沈線文、胴部：区画沈線文、施線が3～5沈線文、縄文（RL）結節文（片結び一種）	257-1
2	CP87区・6層、CP87区・5層、CP88区・4層、CP86区・西ベルト4層、CP86区・3層	深鉢・D(I)2b	口縁部：小波状形をもつ平縁、波状貼付文（上端）、横位沈線文、山形状沈線文、無節：横位隆帯、円形貼付文、施線状沈線、胴部：懸垂沈線文	59-1
3	CP87区・6層、CP87区・5層、CP72区・3層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁、波状貼付文（連続刺）区画沈線文、刺突文、波状沈線文、結束（第1種）羽状縄文（RとLの）、胴部：結束（第1種）羽状縄文（RとLの）	60-1

第166図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・5層(2)）



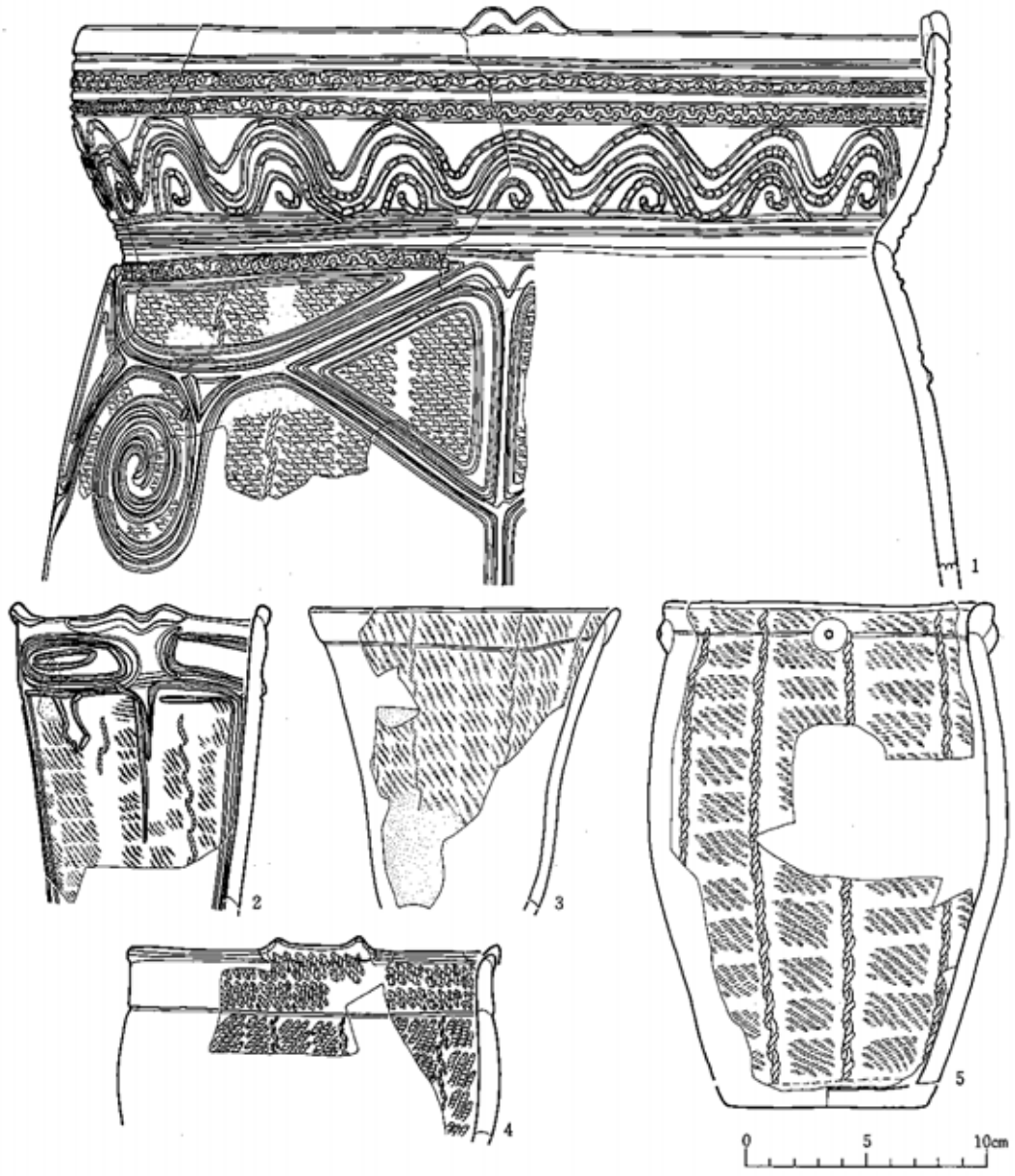
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・6層	深鉢・H2a	口縁部：半截竹管による横位連続刺突文	257
2	CP87区・6層	深鉢・H2b	口縁部：小突起のつく平縁，横状把手（斜降），横位平行沈線文，半截竹管による連続刺突文，胴部：横位隆帯，弧状押引き文（隆帯上），三角形の彫去（隆帯上）	257
3	CP87区・6層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，縦位羽状縄文，横位平行沈線文，三角形の彫去（交互）	257
4	CP87区・6層	深鉢・S3a	口縁部：三角形の彫去，胴部：横位隆帯，縦位刻目文	257
5	CP87区・6層	深鉢・D(IIc2)1a(?)	胴部：横位沈線文	257
6	CP87区・6層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	257
7	CP87区・6層	深鉢・D(IIc2)5	口縁部：波状縁，縦位刻目文（波頂部），縄文（RL）	257
8	CP87区・6層	深鉢・S2Gb	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）（摩滅）	257
9	CP87区・6層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	257
10	CP87区・6層，CP87区・4～5層	浅鉢・A8e	口縁部：突起のつく波状縁，横位隆線文，波状肥土組貼付文（内面上部），胴部：無文	257

第167図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・6層(3)）



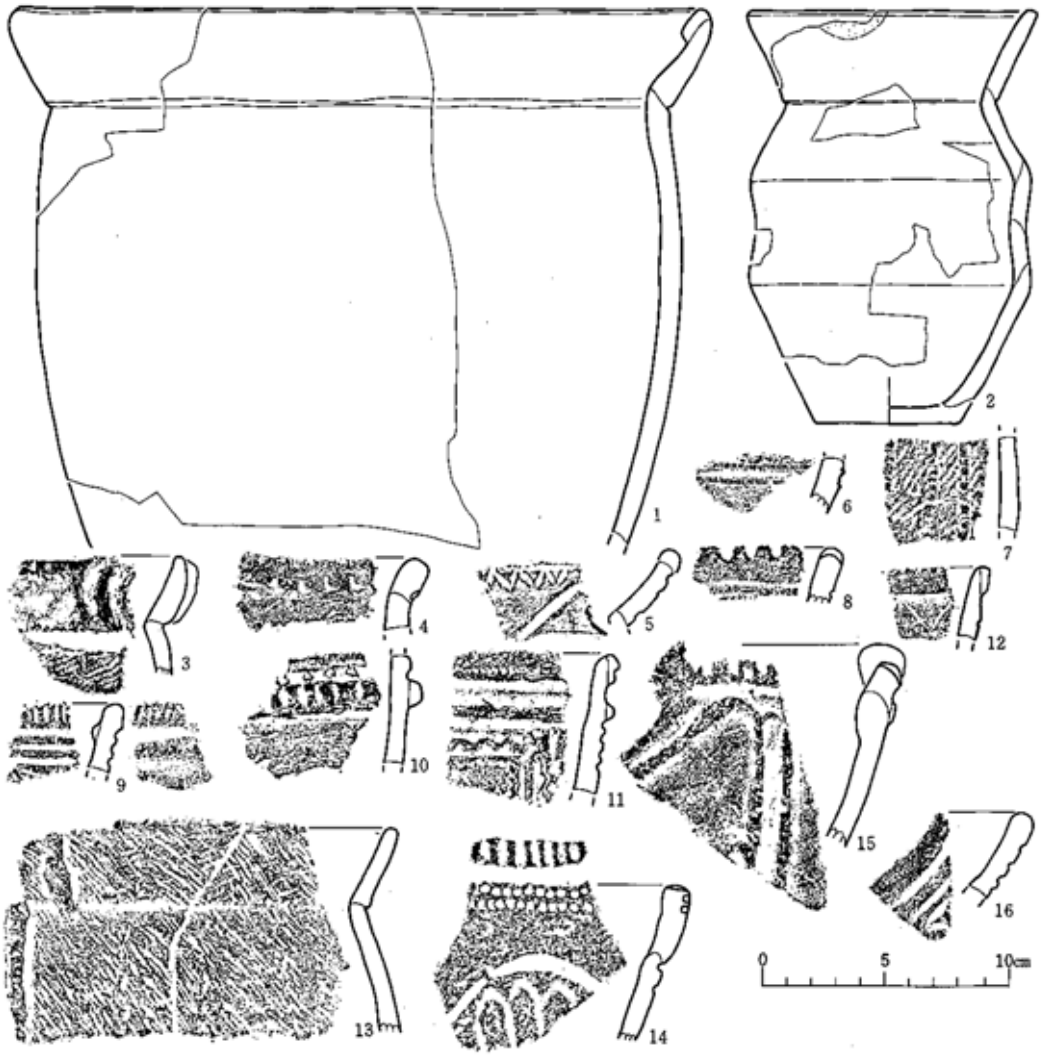
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・6～5層	深鉢・A(I)−	口縁部：平縁，縦位貼付文，弧状隆線文，半截竹管による刺突文（隆線上），半截竹管による平行沈線文（摩滅）	258
2	CP87区・6～5層	深鉢・C1	口縁部：波状縁，縦位刻目文，横楕状隆線文，短沈線文（貼付上），隆線に沿う沈線文，胴部：隆線文，隆線に沿う沈線文，胎土：金雲母を多く含む	258
3	CP87区・6～5層	深鉢・D−	口縁部：横位隆帯，斜位押圧縄文（RL）（隆線上），肥土組貼付文，胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一類）	258
4	CP87区・6～5層	深鉢・J1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，類部：無文，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（摩滅）	258
5	CP87区・6～5層	深鉢・N5a	口縁部：平縁，無文，類部：横位隆帯，胴部：縄文（LR）結節文（同結び一類），胎土：金雲母を多く含む	258
6	CP87区・6～5層	深鉢・W2b	口縁部：平縁，縄文（LR）	258
7	CP87区・6～5層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文，胴部：無文（摩滅）	258

第168図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・6～5層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・5層, CO86区・西ベルト6層, CO86区・西ベルト5層, CP87区・4層	深鉢・P(I)1	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行沈線文，交互刺突文，鏡餅状押引き文，波状押引き文，頸部：横位平行沈線文，胴部：区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）結節文（片結び一段）	60－2
2	CP87区・4層, CP87区・4層上面	深鉢・R(I)2	口縁部：小波状形のつく平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：区画沈線文，弧状沈線文，縄文（Lr）結節文（両結び一段）	59－5
3	CP87区・南ベルト5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr）結節文（片結び一段），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一段）	59－7
4	CP87区・南ベルト5層	深鉢・S10b	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（両結び一段）	59－3
5	CP87区・北ベルト5層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（Lr）結節文（片結び一段），頸部：円形貼付文，胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一段）	61－2

第169図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・5層(1)）

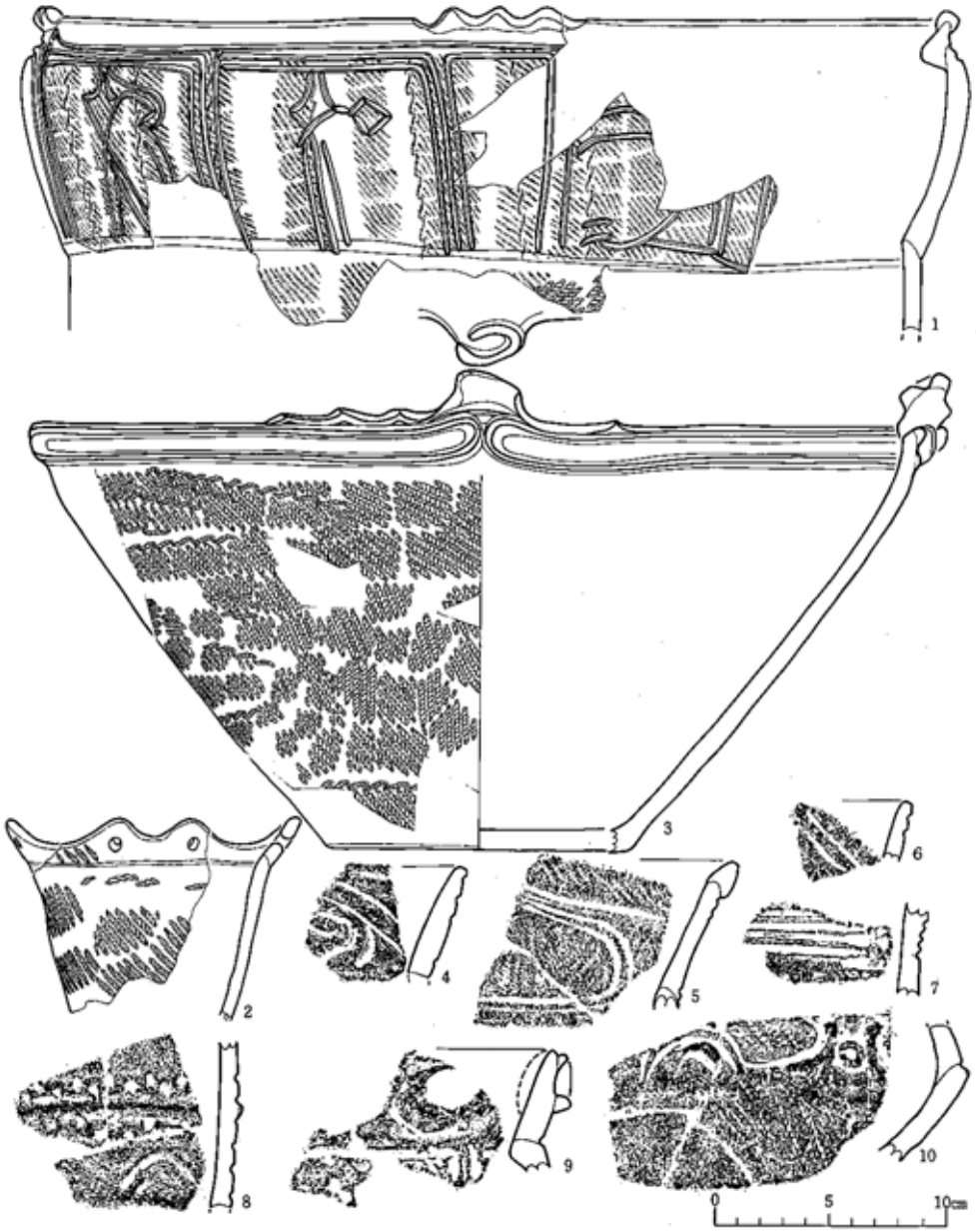


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・5層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	61－1
2	CP87区・5層，CP87区・4層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ），底部：網代底→ナデ調整	59－6
3	CP87区・5層	深鉢・A(1)2	口縁部：平縁，弧状隆線文，胴部：縄文（LR）結節文（(片結び一逆）	258
4	CP87区・北ベルト5層	深鉢・S9a	口縁部：波状縁，半截竹管による刺突文	258
5	CP87区・5層	深鉢・H2b(?)	口縁部：横位平行沈線文，山形状区画沈線文，鋸歯状沈線文，円形粘土組貼付文，円形沈線文	258
6	CP87区・5層	深鉢・H2a	胴部：横位粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（貼付上）	258
7	CP87区・5層	深鉢・H4	胴部：縦位粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（貼付上），縄文（RL），胎土：金雲母を多く含む	258
8	CP87区・5層	深鉢・Q1	口縁部：平縁，縦位刻目文（上端），半截竹管による横位平行沈線文	258
9	CP87区・5層	深鉢・H2b	口縁部：波状縁，縦位刻目文（内外面），横位平行沈線文，口縁に沿う沈線文（内面）	258
10	CP87区・5層	深鉢・N－	口縁部：横位平行沈線文，刺突文，胴部：横位磨消，縦位刻目文，胴部：無文	258
11	CP87区・5層	深鉢・S4a	口縁部：平縁，横位沈線文，連続刺突文（沈線内），縄文（LR）胴部：無文，胴部：横位隆線文，隅円形貼付文，区画沈線文，三角形の磨去（交互）連続刺突文（沈線内），縄文（LR）	258
12	CP87区・北ベルト5層	深鉢・S－	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：鋸歯状沈線文	258
13	CP87区・南ベルト5層	深鉢・E(1)4d	口縁部：突起のつく平縁，突起（斜角），縦位隆線文，縄文（LL），胴部：縦位隆線文，縄文（LL）結節文（(片結び一逆）	258
14	CP87区・南ベルト5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位刻目文（波頂部），円形刺突文，区画沈線文，「Y」字状沈線文，縄文（LR）	258
15	CP87区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位刻目文（波頂部），区画隆線文，縄文（LR）	258
16	CP87区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文	258

第170図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・5層(2)）

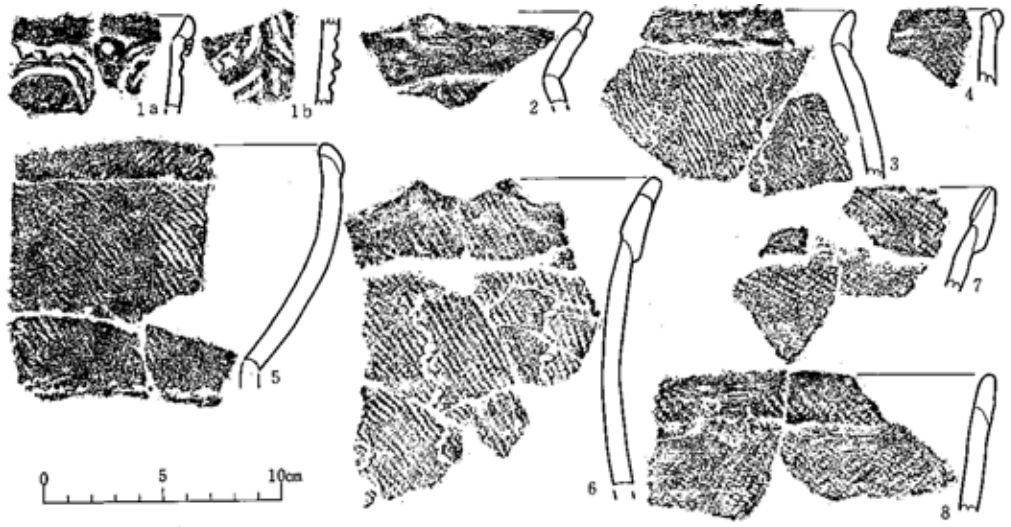
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	258
2	CP87区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画沈線文，連弧状沈線文，頸部：横位隆帯，胴部：横位沈線文，縄文（LR）	258
3	CP87区・5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：区画沈線文，鎖state沈線文	258
4	CP87区・南ベルト5層	深鉢・J1a	胴部：区画沈線文，渦巻状沈線文，縄文（LL）結節文（片結び一類）	258
5	CP87区・5層	深鉢・K3a	胴部：横位沈線文，連弧状沈線文，縄文（LR）	258
6a,b	CP87区・5層	深鉢・S4b	口縁部：平縁，無文（ナデ），頸部：「ハ」字状貼付文，胴部：区画沈線文，弧状沈線文，胎土：金雲母を多く含む	258
7	CP87区・5層	深鉢・N7a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	258
8	CP87区・5層	深鉢・N9a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	258
9	CP87区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）	258
10	CP87区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胎土：金雲母を多く含む	258
11	CP87区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（同結び一類）	258
12	CP87区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（同結び一逆）	258
13	CP87区・5層	深鉢・S10b	口縁部：突起のつく平縁，横位刺目文（突起上），縄文（LR），胴部：縄文（LR）	258
14	CP87区・5層	深鉢・W5	口縁部：平縁，縄文（Lr）	258
15	CP87区・5層	深鉢・S11a	口縁部：小波状縁，波状貼付文，無文，胴部：無文	258
16	CP87区・5層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	258
17	CP87区・5層	浅鉢・A3e	口縁部：平縁，縄文（LR），頸部：横位隆帯，胴部：縄文（LR）	258

第171図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・5層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・5層上面	深鉢・D(I)4a	口縁部：小波状部のつく平縁，波状貼付文（上端），区画沈線文，波状沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一段）　胴部：縄文（LR，RL）	259
2	CP87区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，貫通孔，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一連）	
3	CP87区・5層上面，CN84区・北ベルト4層，CN85区・4層上面，CM84区・3層	浅鉢・A3c	口縁部：波起のつく平縁，「の」字状貼付文，波状貼付文（上端），「ハ」字状区画隆線文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一段）	61－3
4	CP87区・5層上面	深鉢・D(I)－	口縁部：平縁，区画沈線文，渦巻状沈線文	259
5	CP87区・5層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画沈線文，縄文（RL）	259
6	CP87区・5層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文	259
7	CP87区・5層上面	深鉢・S4－	胴部：横位平行沈線文，蛇位沈線文	259
8	CP87区・5層上面	深鉢・F(II)1	胴部：横位隆線文，隆線に沿う平行沈線文，交互刺突文，連弧状沈線文	259
9	CP87区・5層上面	深鉢・N4a	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（内外面～内面剥落），区画沈線文，縄文（LR）	259
10	CP87区・5層上面	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，円形貼付文，円形刺突文，縄文（LR）	259

第172図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・5層上面(1)）

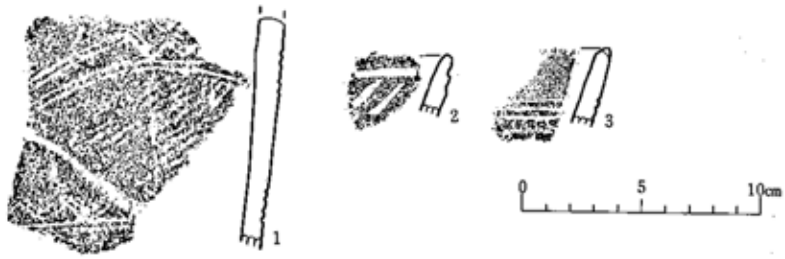


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CP87区・5層上面	深鉢・S6	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：区画縄線文，円形貼付文，刺突文（貼付上），縄線に沿う沈線文，突瘤状突文	259
2	CP87区・5層上面	深鉢・V2	口縁部：突起のつく平縁，円形の窪み（突起内外面），無文（ナデ）胴部：縄文（LR）結節文（片結び一段）	259
3	CP87区・5層上面	深鉢・V2	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一段）	259
4	CP87区・5層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ），粘土：金雲母を多く含む	259
5	CP87区・5層上面	深鉢・R(I)11	口縁部：平縁，縄文（Lr）	259
6	CP87区・5層上面	深鉢・S10b	口縁部：突起をもつ平縁，縄文（LR） 胴部：縄文（LR）結節文	259
7	CP87区・5層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL） 胴部：縄文（RL）結節文（両結び一段）	259
8	CP87区・5層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL） 胴部：縄文（RL）	259

第173図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・5層上面(2)）

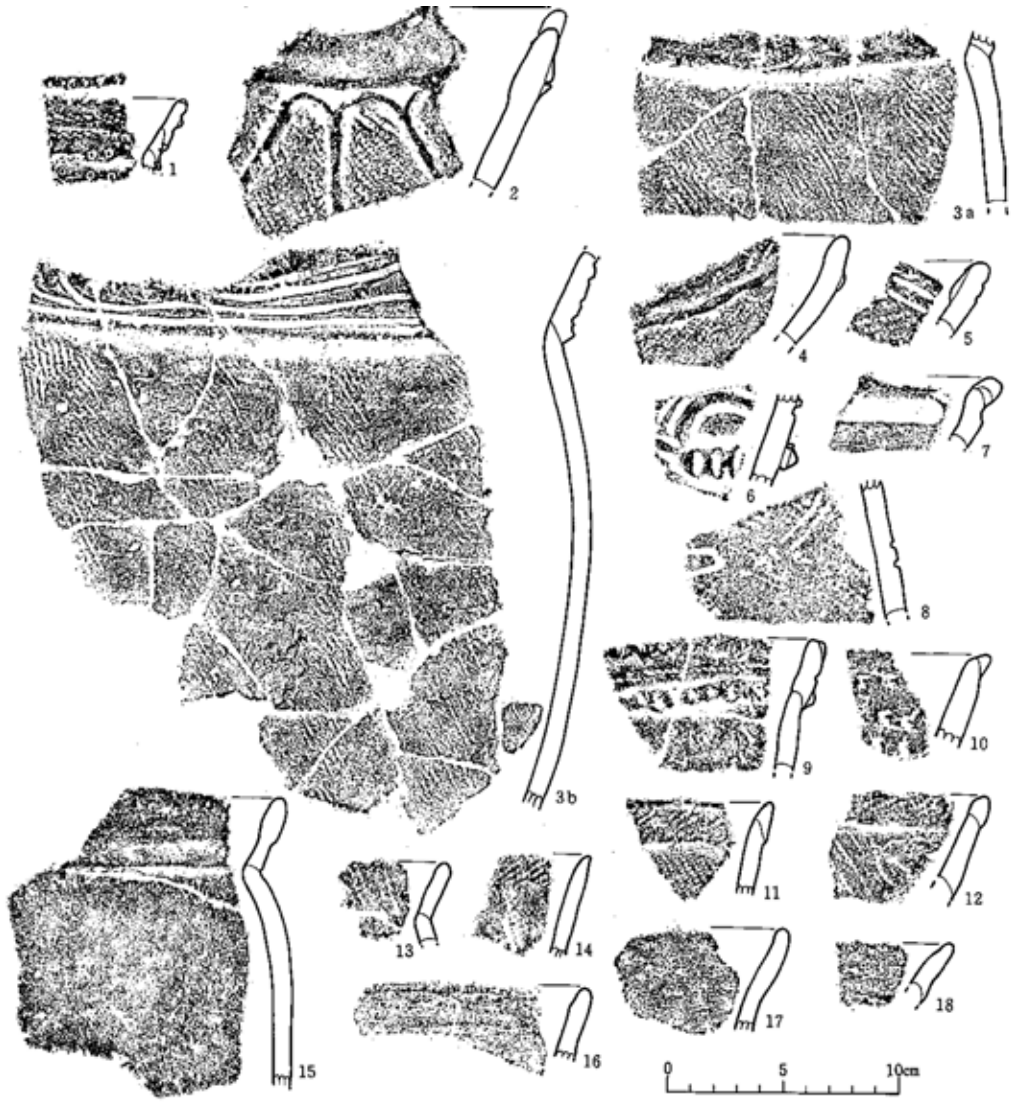
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・5～4層	深鉢・S−	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（RL），胴部：横位区画，縦位刻目文	260
2	CP87区・5～4層	深鉢・WS	口縁部：平縁，無文	260
3	CP87区・5～4層	浅鉢・A4b	口縁部：平縁，円形状貼付文，横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（LRr）	260

第174図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・5～4層）



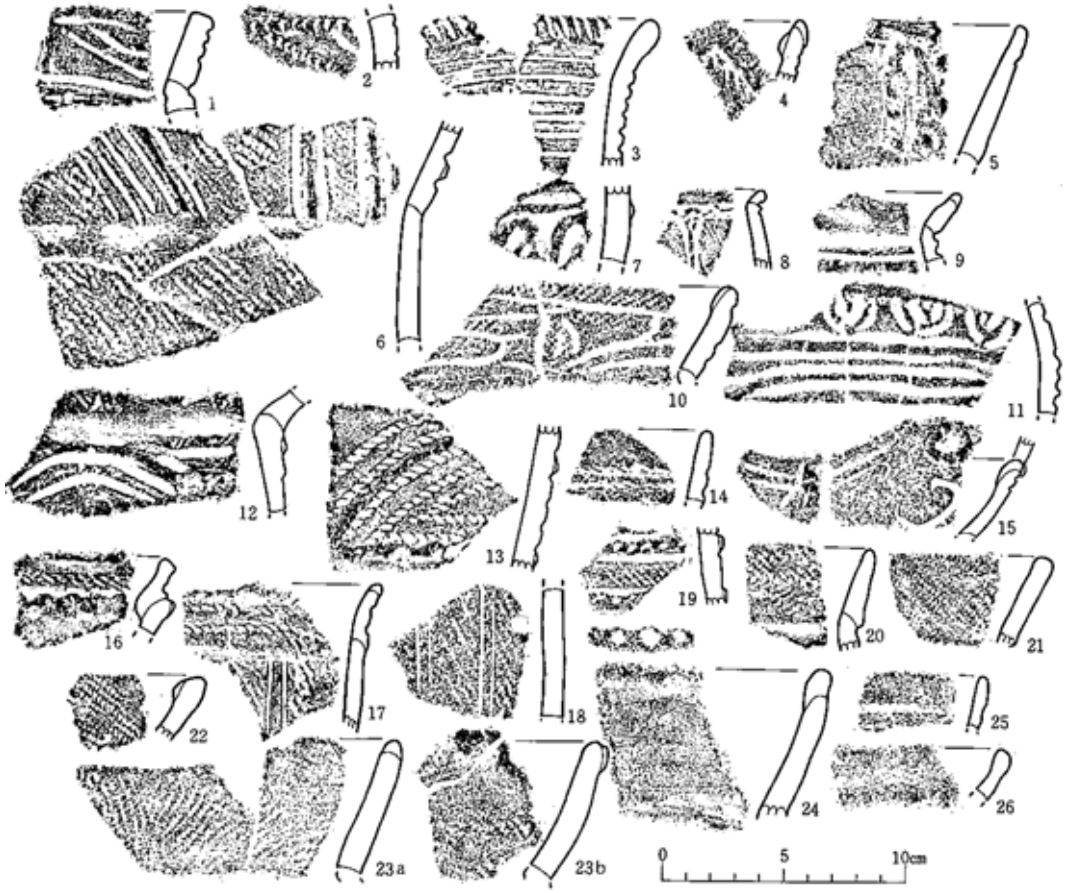
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・4層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	260
2	CP87区・4層	深鉢・H2b(?)	口縁部：平縁，横位沈線文，斜位短沈線文	260
3	CP87区・4層	深鉢・D−(?)	口縁部：平縁，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	260

第175図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・4層(1)）



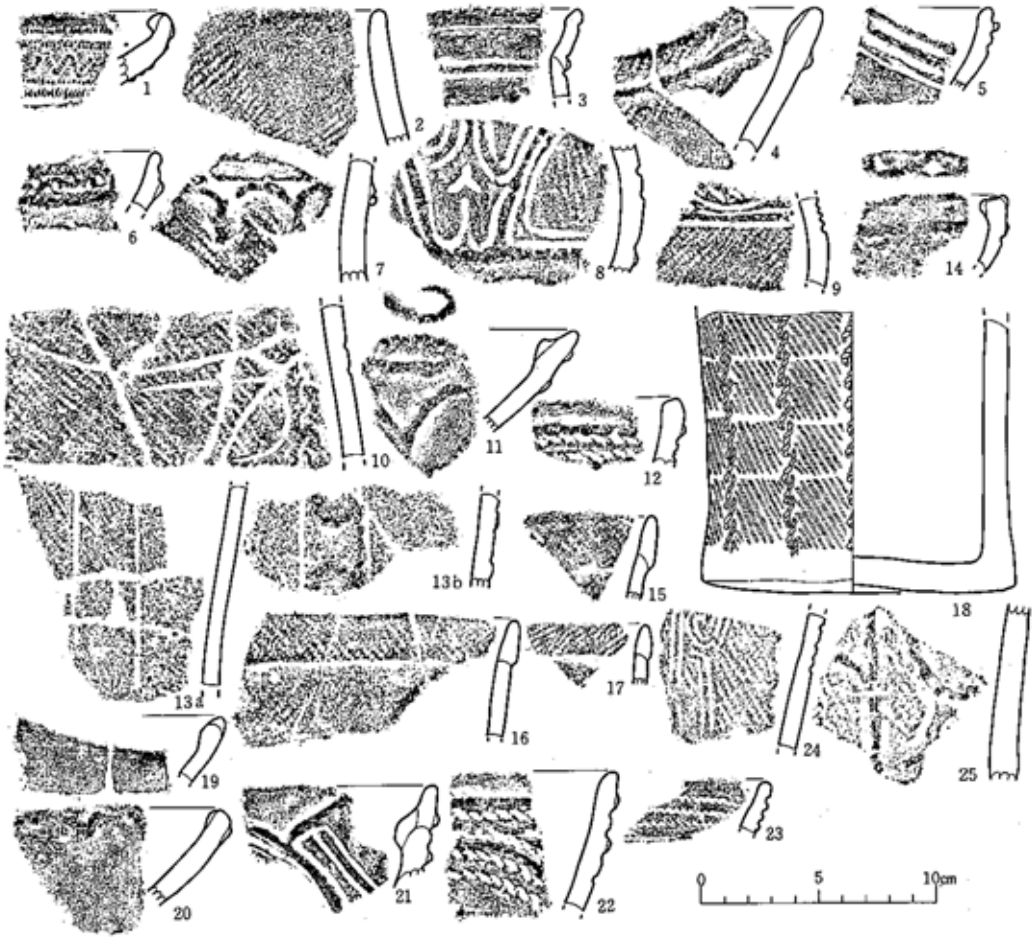
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・4層 CP87区・3層	深鉢・D(Ⅰ)1d	口縁部：平縁，刷位押圧縄文（LR）（上端），横位隆線文，横位平行押圧縄文（LR），頸部：円形竹管文	260
2	CP87区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，縄文（LR）	260
3a,b	CP87区・4層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（Lr）	260
4	CP87区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，縄文（LR）	260
5	CP87区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，縄文（LR）	260
6	CP87区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：区画隆線文，楕円形貼付文，刷位刺目文（貼付上），隆線に沿う沈線文，頸部：無文	260
7	CP87区・4層	浅鉢・D−	口縁部：突起のつく平縁，刷位刺目文（突起上），胴部：結節文（片結び一段）	260
8	CP87区・4層	深鉢・J1a	胴部：弧状沈線文，縄文（LR）	260
9	CP87区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，刷位押圧縄文（LR）（上端），横位押圧縄文（Lr），刷位押圧縄文（LR）（下端），頸部：縄文（LR）結節文（片結び一段）	260
10	CP87区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1f	口縁部：平縁，竹管状工具による連続刺突文	260
11	CP87区・4層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	260
12	CP87区・4層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR），頸部：横位沈線文，胴部：縄文（LR）	260
13	CP87区・4層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR）	260
14	CP87区・4層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（RL）結節文（片結び一段）	260
15	CP87区・4層	深鉢・V4	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	260
16	CP87区・4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文，胎土：金雲母を多く含む	261
17	CP87区・4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	261
18	CP87区・4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	261

第176図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・4層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP87区・3層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，斜位沈線文，胎土：燃糸を含む	261
2	CP87区・3層	深鉢・H2a	胴部：区画沈線文，弧状沈線文，半截竹管による刺突文	261
3	CP87区・3層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，斜位刺目文，横位平行沈線文	261
4	CP87区・3層	深鉢・D(II)−(?)	口縁部：波状縁，縦位刺目文（上端），半截竹管による縦位平行沈線文	261
5	CP87区・3層	深鉢・S−(?)	口縁部：平縁，縦位隆線文，指頭状圧痕，横位平行沈線文，刺突文，縄文結節文	261
6	CP87区・3層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	261
7	CP87区・3層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	261
8	CP87区・3層	深鉢・S6	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文，胴部：縦位沈線文，縄文（Lr）	261
9	CP87区・3層	深鉢・N9a	口縁部：小突起のつく平縁，無文，頸部：横位平行沈線文	261
10	CP87区・3層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，渦巻状押引き文，縄文（LR）	261
11	CP87区・3層	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，連弧状沈線文	261
12	CP87区・3層	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	261
13	CP87区・3層	深鉢・D(I)5c	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），頸部：横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯）	261
14	CP87区・3層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	261
15	CP87区・3層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁，渦巻状隆線文，区画沈線文，渦巻状沈線文，縦位楕円形貼付文	261
16	CP87区・3層	浅鉢・A3c	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），頸部：横位隆帯，指頭状圧痕，胴部：無文	261
17	CP87区・3層	深鉢・W4	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縦位沈線文，縄文（Lr）	261
18	CP87区・3層	深鉢・W4	胴部：半截竹管による縦位平行沈線文，縄文（LR）	261
19	CP87区・3層	深鉢・−	頸部：横位隆線文，円形竹管文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	261
20	CP87区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，結束（第1種）羽状縄文（RL×Lr）	261
21	CP87区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL）	261
22	CP87区・3層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縄文（RL）	261
23a,b	CP87区・3層	深鉢・V3	口縁部：波状縁，指頭状圧痕（波頂部），縄文（LR）	261
24	CP87区・3層	深鉢・E(I)11	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（波頂部），無文（ナデ）	261
25	CP87区・3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文（ナデ）	262
26	CP87区・3層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，（磨滅）	262

第177図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CP87区・2層	深鉢・H6a	口縁部：平縁，粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（貼付上）	262
2	CP87区・2層	深鉢・U−	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	262
3	CP87区・2層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位隆線文，横位沈線文，頸部：横位隆帯，横位沈線文	262
4	CP87区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，縄文（LR）	262
5	CP87区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文	262
6	CP87区・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，横位平行沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	262
7	CP87区・2層	深鉢・D(Ⅱc2(?))1a	頸部：横位隆帯，胴部：連弧状隆線文，縄文（LR）	262
8	CP87区・2層	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，三叉状沈線文，縄文（LR）	262
9	CP87区・2層	深鉢・N4a	胴部：横位沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	262
10	CP87区・2層	深鉢・E−	胴部：弧状沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一順）	262
11	CP87区・2層	浅鉢・A−	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），横位隆線文，連弧状隆線文，胴部：無文	262
12	CP87区・2層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	262
13a,b	CP87区・2層	深鉢・W4	胴部：区画隆線文，円環状貼付文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	262
14	CP87区・2層	深鉢・−	口縁部：平縁，連弧状隆線文（内外面），胴部：無文	262
15	CP87区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL）	262
16	CP87区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	262
17	CP87区・2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr），頸部：横位沈線文	262
18	CP87区・北ベルト2層	深鉢・−	胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一順），底部：重底（スダレ状圧痕）	
19	CP87区・2層	浅鉢・S−(?)	口縁部：波状縁，無文（ミガキ）	262
20	CP87区・2層	浅鉢・A6	口縁部：平縁，連弧状貼付文（内外面）	262
21	CP87区・1層	深鉢・D(Ⅱc−)−	口縁部：波状縁，「の」字状隆線文，隆線に沿う沈線文	262
22	CP87区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	262
23	CP87区・1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），頸部：横位沈線文	262
24	CP87区・1層	深鉢・W4	胴部：半截竹管による弧状平行沈線文，縄文（LR）	262
25	CP87区・1層	深鉢・S−	胴部：区画隆線文，弧状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），縄文（LR）	262

第178図　東側遺物包含層出土土器（CP87区・2層・1層）

器形と思われる。文様帯が口縁部に構成され、隆線文や沈線文が施されている。

第 176 図 8：胴部破片である。弧状の沈線文が施されている。

第 176 図 9～10：口縁部破片である。9 は横位押圧縄文の上下に縦位押圧縄文が連続して施されている。10 は半截竹管による連続刺突が施されている。

第 176 図 11～18：文様意匠が施されない土器である。器形としては、口縁部が複合口縁状を呈するものから頸部がゆるい「く」字状にくびれるものまでが認められる。

第 176 図 7：浅鉢形土器である。

第Ⅱb層（第3層）：第 177 図

第 177 図 1～12，15，19：口縁部～胴部破片で隆線文や沈線文、刺突文によって文様が施されている土器である。文様構成は明らかではない。

第 177 図 13～14，16～18：口縁部～胴部破片で押圧縄文が施されているものである。文様構成は明らかではない。

第 177 図 19～26：文様意匠の施されない土器である。

第Ⅱa層（第2層）：第 178 図 1～20

第 178 図 1～20：口縁部～胴部破片である。文様構成はいずれも明らかではない。隆線文、沈線文、押圧縄文、刺突文などが認められる。

第Ⅰa層（第1層）：第 178 図 21～25

第 178 図 21～25：口縁部～胴部破片である。文様構成はいずれも明らかではない。隆線文、沈線文、押圧縄文が施されている。

CQ87 区

第Va層（第6層）：第 179 図 2～8

第 179 図 2～6：頸部がゆるやかに外反し、口縁が肥厚して外傾する器形である。2 は口縁部に弧状沈線文が施されている。4 は半截竹管による平行沈線文によって山形文が描かれている。3，5～6 は胴部破片で、半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 179 図 7～8：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部は無文である。

第Ⅴa層上面（第6層上面）：第179図1・第180図1

第179図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部は四波状を呈し、渦巻文・波状文が描かれている。頸部には半截竹管による横位平行沈線文が施されている。

第180図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部には半截竹管による横位平行押引き文が施されている。頸部隆帯には三角形の彫去が連続して加えられ、胴上部には半截竹管による押引き文によって山形文、渦巻文、鋸歯状文が配されている。

第Ⅲc層（第5層）：第181図

第181図1～3：口縁部破片である。1は口縁部下端に三角形の彫去が連続して施されている。2は口縁部に横位平行沈線文が施され、頸部には隆帯が設けられている。3は無文である。

第Ⅲb層（第4層）：第182図～第183図

第182図1：口縁部破片である。平行沈線文間に半截竹管による連続刺突文が施されている。

第182図2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には橋状把手の剥落痕がみられる。

第182図3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く内弯気味に外傾している。口縁部には「𝓍」字状区画隆線文、胴部には「Y」字状区画隆線文が施され、隆線に沿って沈線文が配されている。

第182図4～5，第183図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。口縁部は弁状を呈する四波状縁と思われる。

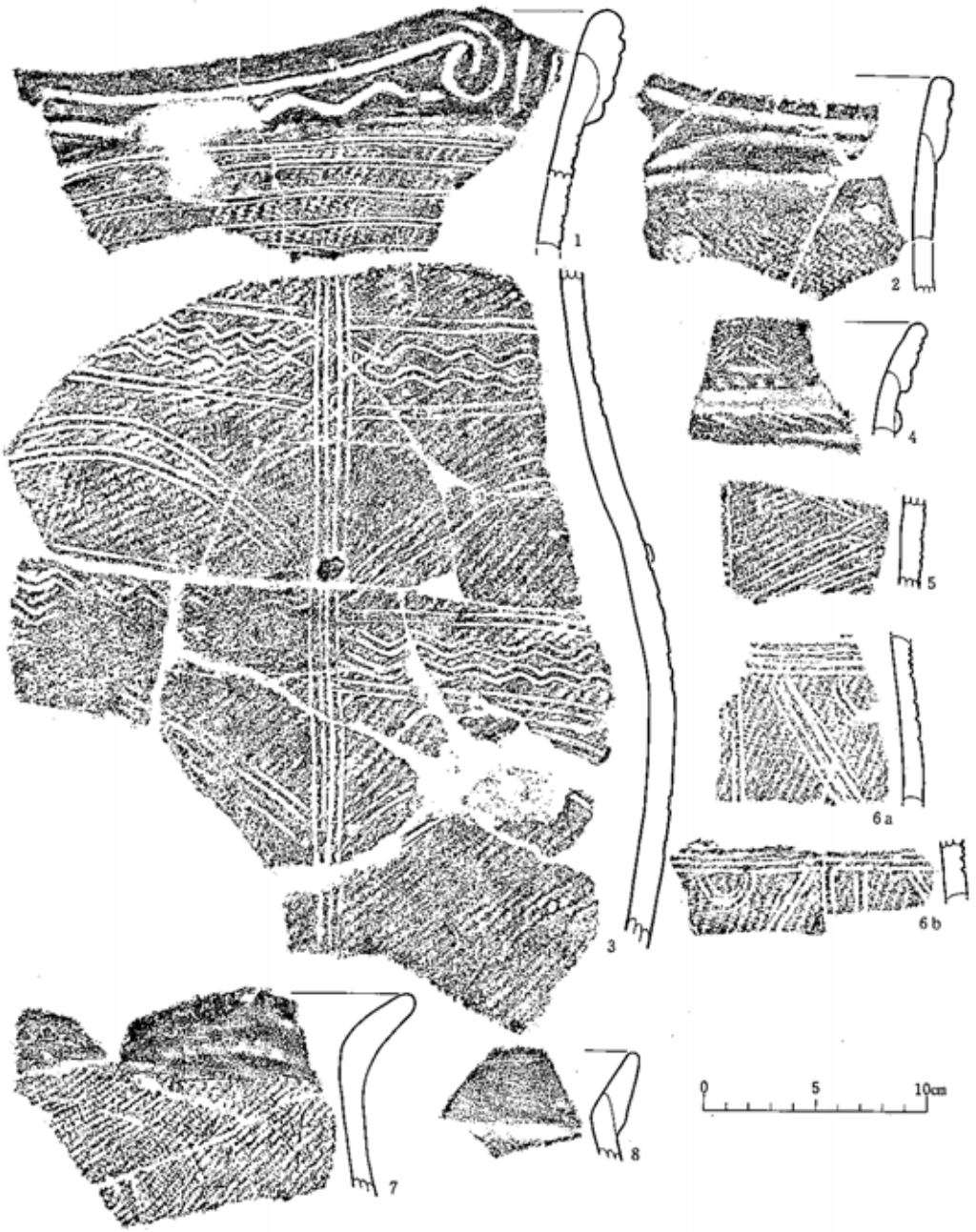
第183図2～7：文様意匠が施されない土器である。器形としては口縁部が複合口縁状をなすものから頸部がゆるい「く」字状をなすものまでが認められる。口縁上端には小波状部あるいは突起が貼付されたものもみられる。

第Ⅲa層（第3層）：第184図

第184図1～2：口縁部破片である。1は山形状の沈線文と円形竹管文が施されている。

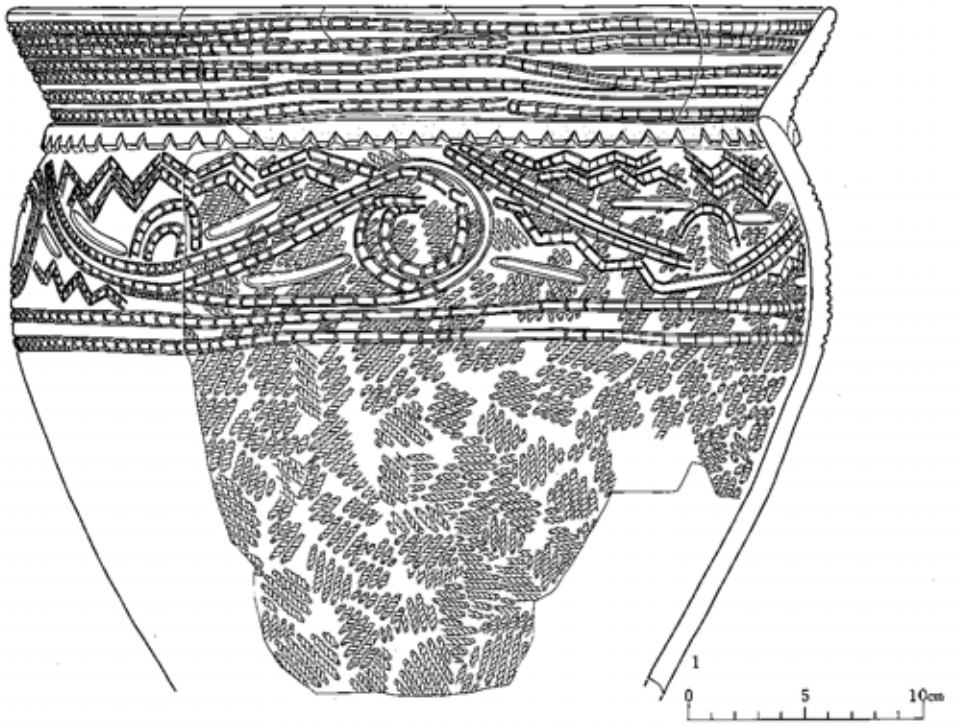
第Ⅱb層（第1層）：第185図

第185図1～6：口縁部～胴部破片である。1は口縁部に隆線文、山形状沈線文が施されている。6は隆線文、押圧縄文が施されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CQ87区・6層上面	深鉢・A(II)1	口縁部：波状線，綱巻状沈線文，波状沈線文，縦位沈線文，頸部：半截竹管による横位平行沈線文，縄文(LR)	263
2	CQ87区・6層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状線，弧状沈線文，胴部：縄文（LR）	263
3	CQ87区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，円形貼付文，縄文（LR）	263
4	CQ87区・6層	深鉢・R(I)1	口縁部：平縁，半截竹管による山形状平行沈線文，頸部：横位連帯，半截竹管による連続刺突文，半截竹管による横位鋸歯文	263
5	CQ87区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	263
6a,b	CQ87区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	263
7	CQ87区・6層	深鉢・W2a	口縁部：波状線，無文（ナデ），胴部：縄文（LR）	263
8	CQ87区・6層	深鉢・V3	口縁部：平縁，無文（ミガキ）胴部：縄文（RL）結節文	263

第179図　東側遺物包含層出土土器（CQ87区・6層上面・6層）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1a	CQ87区・6層上面、CL74区・6層、CK89区・4層（CM70区・4層一円錐状土製品）	深鉢・N2	口縁部：平縁、半截竹管による横位平行押引き文、頸部：横位隆帯、三角形の刻去（隆帯上）、胴部：半截竹管による山形状区画押引き文、半截竹管による両巻状押引き文：半截竹管による斜条状押引き文、沈線文、縄文（RL）	62－1

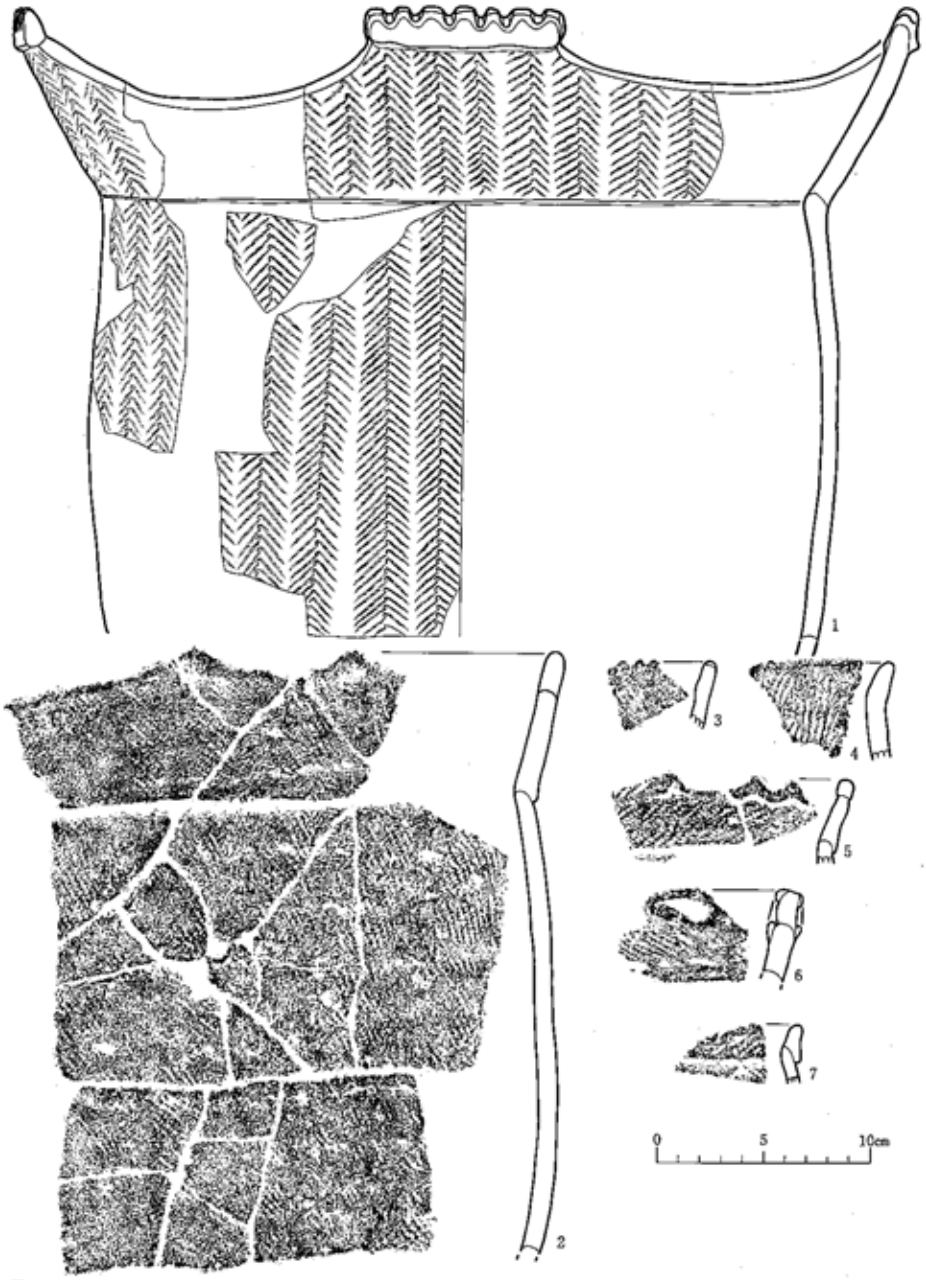
第180図　東側遺物包含層出土土器（CQ87区・6層上面(2)）

番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CQ87区・5層	深鉢・S9a	口縁部：平縁、三角形の刻去（下端）	263
2	CQ87区・5層	深鉢・E(I)－	口縁部：平縁、横位平行沈線文、縄文（RL）、頸部：横位隆帯	263
3	CQ87区・5層	深鉢・S11b	口縁部：平縁、無文（ナデ）	263

第181図　東側遺物包含層出土土器（CQ87区・5層）

番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CQ87区・4層	深鉢・N3(?)	口縁部：波状縁、口縁に沿う平行沈線文、横位平行沈線文、半截竹管による連続刺突文〔沈線間〕	263
2	CQ87区・4層	深鉢・E11	口縁部：突起のつく波状縁、橋状把手（斜路）、縄文（RL）結節文（片結び一段）	263
3	CQ87区・4層	深鉢・R(I)2	口縁部：平縁、「ｚ」字状区画隆線文、隆線に沿う沈線文、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、隆線に沿う沈線文	263
4	CQ87区・4層	深鉢・R(IIc2)1a	口縁部：波状縁、口縁に沿う沈線文、沈線文、縄文（LR）	263
5	CQ87区・4層	深鉢・－	胴部：隆線文（斜落）　胎土：金雲母をよく含む	263

第182図　東側遺物包含層出土土器（CQ87区・4層(1)）

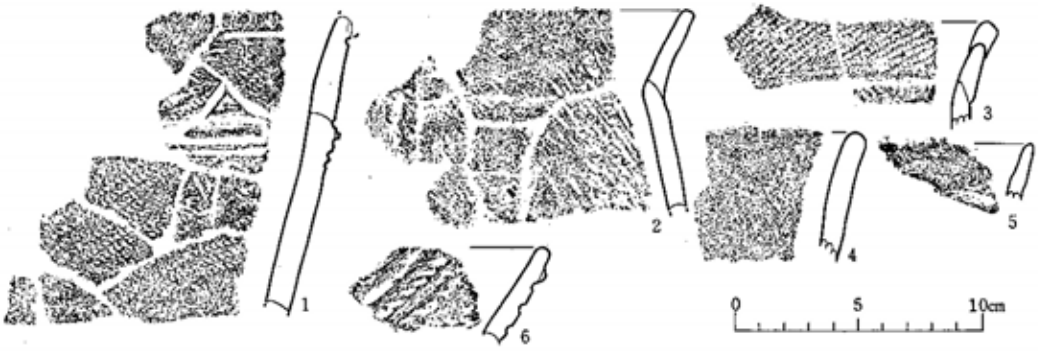


番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CQ97区・4層、CQ98区・Pトレ-ル3層、CQ98区・4層、CQ86区・4層上部、CQ87区・4層、CP98区・3層、CQ87区・5層	深鉢・D(Ⅱ2)5	口縁部：波状縁、網目状撚糸文（波頂部）、地文（第1種）羽状縄文（R f ×Lr）、胴部：地文（第1種）羽状縄文（R f ×Lr）	62−2
2	CQ87区・4層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	263
3	CQ87区・4層	深鉢・W3b	口縁部：小波状縁、押圧縄文（LR）、縄文（LR）	263
4	CQ87区・4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縄文（R f）	263
5	CQ87区・4層	深鉢・W3b	口縁部：小波状部をもつ平縁、波状貼付文（上端）、縄文（LR）	263
6	CQ87区・4層	深鉢・W3b	口縁部：突起のつく平縁、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	263
7	CQ87区・4層	深鉢・V3	口縁部：縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）	263

第183図　東側遺物包含層出土土器（CQ87区・4層(2)）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CQ87区・3層, CQ87区・1層	深鉢・R(Ⅰ)1(?)	口縁部：小突起のつく平縁，縦位刻目文（突起上），山形状沈線文，円形竹管文（下端）	264
2	CQ87区・3層	深鉢W3b	口縁部：小突起のつく平縁，押圧縄文（RL）（突起上），縄文（RL）	264

第184図　東側遺物包含層出土土器（CO87区・3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CQ87区・1層	深鉢・N9a	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，山形状沈線文，縄文（RL）	264
2	CQ87区・1層	深鉢・E(Ⅰ)4d	口縁部：平縁，懸垂隆線文，縄文（L{Lr/Rr}）胴部：懸垂隆線文，縄文（L{Lr/Rr}）	264
3	CQ87区・1層	深鉢・W3b	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（LR）　胴部：縄文（LR）	264
4	CQ87区・1層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	264
5	CQ87区・1層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	264
6	CQ87区・1層	深鉢・D(Ⅱc2)4c	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	264

第185図　東側遺物包含層出土土器（CQ87区・1層）

（5）61 列（CM61 区・CN61 区）

東側最南部の遺物包含層である。9 ㎡程の狭い範囲に 1 層のみ確認された。

CM61 区

第 2 層：第 186 図

第 186 図 1～5，10：口縁部破片で、文様が施される土器である。文様構成は明らかではないが、2 は半截竹管による方形状の区画文と三角形の彫去、10 は半截竹管による縦位平行沈線文が施されている。

第 186 図 7：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。胴部はゆるやかに膨む形状である。口縁部の形状は波状をなし、波頂部に「C」字状を呈する貼付文が付されている。口縁部上端、「C」字状貼付文、頸部隆帯上に刻目文が施され、その間に「ハ」字状短沈線文がめぐっている。胴部地文には結節文が縦走している。

第 186 図 9：胴部から口縁部にかけて、ほぼ直線的に外傾する器形である。指頭状圧痕が施される頸部隆帯から「Y」字状貼付文が小さく垂下している。

第 186 図 11～12：胴部破片である。半截竹管によって文様が構成されている。11 の縦位隆線文上には押圧縄文が連続して施されている。

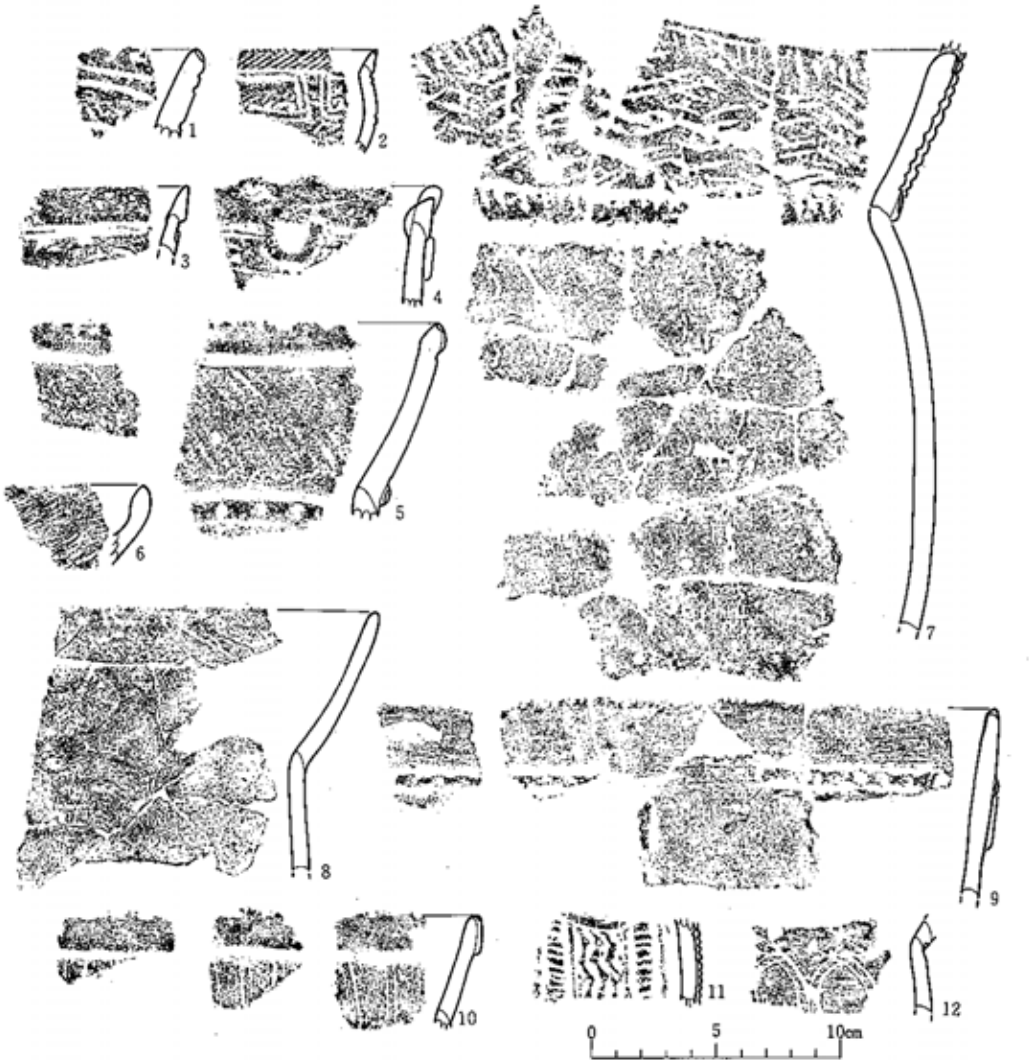
第 186 図 6，8：文様の施されない土器である。

CN61 区

第 2・3 層：第 187 図

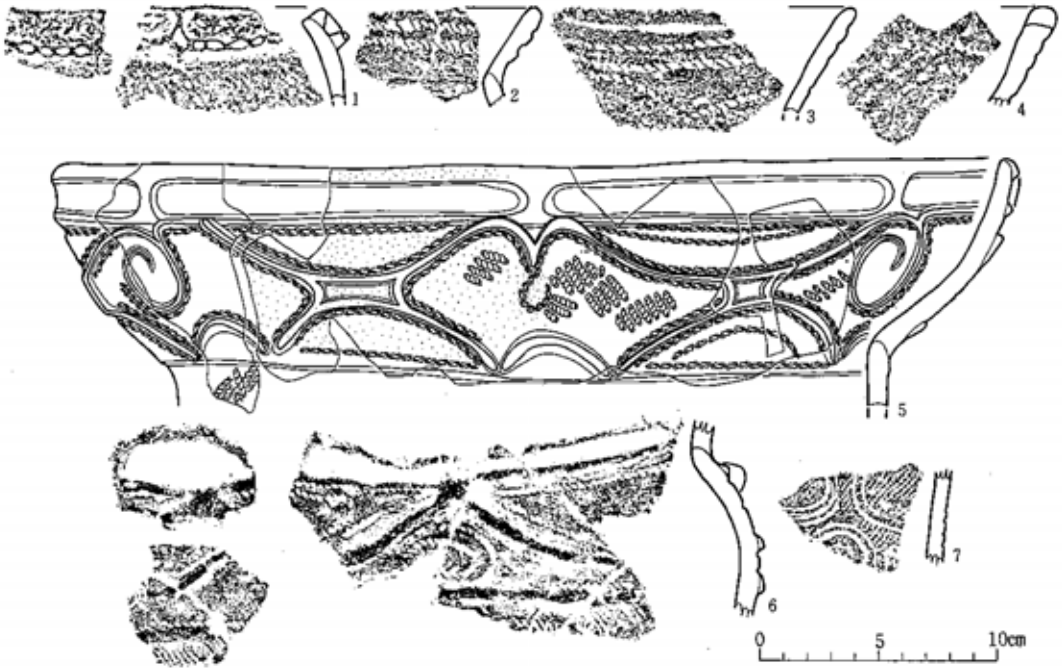
第 187 図 1～6：口縁部から胴部資料で文様に押圧縄文の施される土器である。1 は胴部から口縁部にかけて内弯し、口縁部に「𝑥」字状の区画隆線文と「C」字状の押圧縄文が施されている。5 は、口縁部に「𝑥」字状区画隆線文・相対する弧状をなす区画隆線文・渦巻状隆線文・隆線に沿う押圧縄文が施されている。6 は、胴部に弧状区画隆線文と押圧縄文が施されている。

第 187 図 7：胴部破片である。半截竹管による弧状平行沈線文が描かれている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM61区・1層	深鉢・S−	口縁部：平縁，刺突文（上端），横位平行沈線文，縄文（LR）	93
2	CM61区・1層	深鉢・L−	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：半截竹管による方形区画文，三角形の刺突文，縄文（LR），結節文（片結び一段）	93
3	CM61区・1層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，無文，胴部：横位沈線文，三角形の刺突文	93
4	CM61区・1層	深鉢・S−	口縁部：小突起のつく平縁，無文，胴部：横位平行沈線文，「U」字状貼付文，刺突文	93
5	CM61区・1層	深鉢・E(I)11	口縁部：平縁，刻目のつく横位隆帯，横位平行沈線文，縄文（RL）結節文（片結び一段）	93
6	CM61区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（Lr）	93
7	CM61区・1層	深鉢・E(IIa)2b	口縁部：波状縁，「C」字状貼付文，「∩」字状沈線文，刻目文，頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：結節文	93
8	CM61区・1層	深鉢・W8	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	93
9	CM61区・1層	深鉢・S9c	口縁部：平縁，頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：「Y」字状貼付文	93
10	CM61区・1層	深鉢・D(I)−	口縁部：平縁，刻目文（上端），半截竹管による縦位平行沈線文（下部）	93
11	CM61区・1層	深鉢・−	胴部：半截竹管による平行沈線文（渦巻状，縦位，斜衝状），押圧縄文の施される縦位隆線文	93
12	CM61区・1層	深鉢・D(I(?))−	口縁部：刺突文（下端），胴部：半截竹管による平行沈線文	93

第186図　東側遺物包含層出土土器（CM61区）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN61区・2層上面	深鉢・U−	口縁部：平縁。「〆」字状区画陰線文。「C」字状押圧縄文（LR）。胴部：縄文（LR）	94
2	CN61区・1層	深鉢・D(IIb)1	口縁部：波状縁。横位押圧縄文（Lr）	94
3	CN61区・1層	深鉢・D(II−)−	口縁部：波状縁。横位・連弧状押圧縄文（LR）	94
4	CN61区・1層	深鉢・D(IIa)3	口縁部：波状縁。口縁に沿う押圧縄文（LR）	94
5	CN61区・1層	深鉢・D(Ia)10a	口縁部：平縁。「〆」字状区画陰線文（上部）。相対する弧状区画陰線文，渦巻状陰線文，陰線に沿う押圧縄文（Rl），胴部：縄文結節文	94
6	CN61区・1層	深鉢・N4b	口縁部：波状縁。胴部：弧状区画陰線文，陰線に沿う押圧縄文（Lr）（上半），結節文（片結び一種）（下半）	94
7	CN61区・1層	深鉢・W4	胴部：半截竹管による弧状平行沈線文，縄文（R ℓ）	94

第187図　東側遺物包含層出土土器（CN61区）

（6）67列（CM67区）

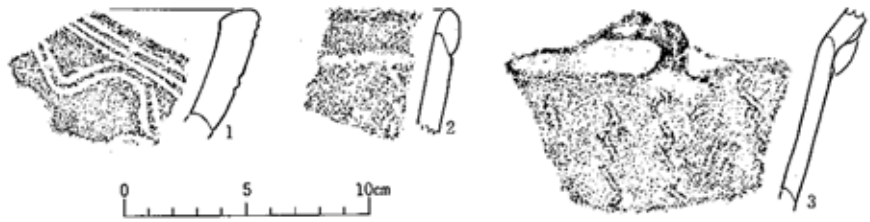
CM67区

第1層：第188図

第188図1：口縁部破片である。口縁に沿う平行沈線文・波状押引き文が施されている。

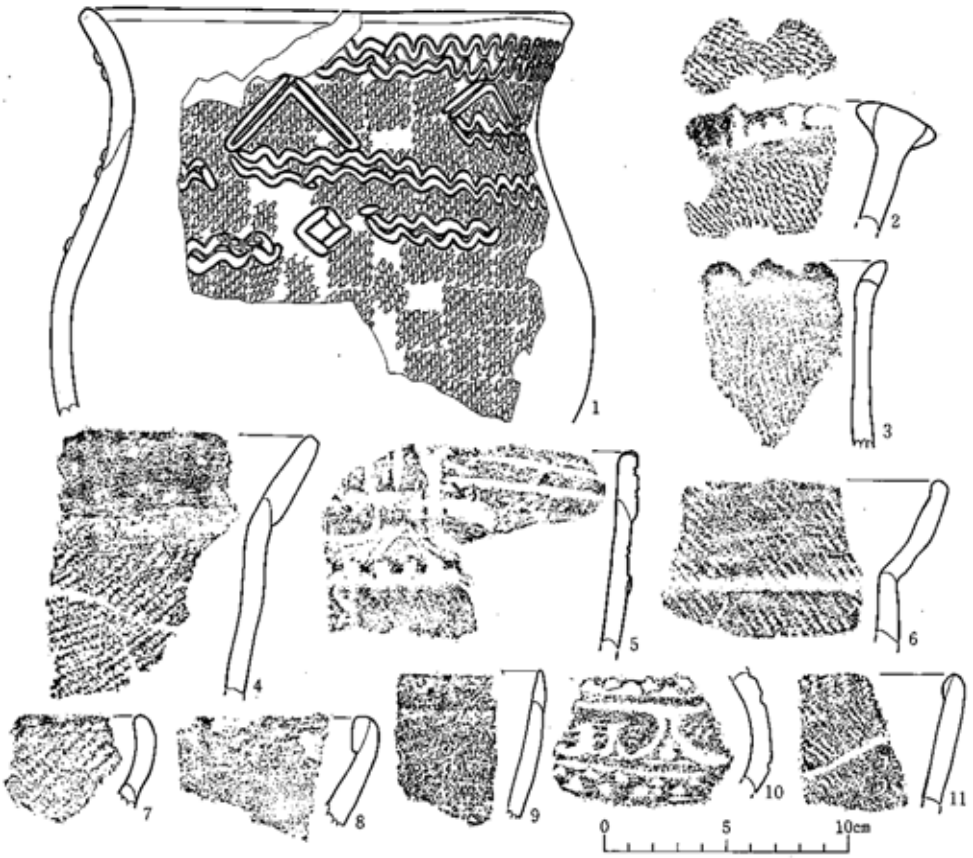
第188図2：口縁部は複合口縁状を呈している。胴部地文に縄文結節文が施されている。

第188図3：頸胴部破片である。頸部に橋状部が配されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM67区・1層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，波状押引き文	94
2	CM67区・1層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	94
3	CM67区・1層	深鉢・－	頸部：隆帯状，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	94

第188図　東側遺物包含層（CM67区・1層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM68区・2層上面，1981年度土壙223埋土	深鉢・－	口縁部：平縁，隆線状粘土帯貼付文，縄文（LR）	3－1
2	CM68区・1層	深鉢・－	口縁部：波状縁，燃糸文（R）	95
3	CM68区・1層	深鉢・－	口縁部：波状縁，縄文（RL+r(S巻)）	95
4	CM68区・1層	深鉢・W2a	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	95
5	CM68区・1層	深鉢・S－	口縁部：平縁，羽目文（上端），半截竹管による平行沈線文，頸部：横位隆帯，隆線状垂線，胴部：縄文(LR) 結節文（両結び一類）	95
6	CM68区・1層	深鉢・W3b	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（LR）結節文（片結び一類）	95
7	CM68区・1層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縄文（RL）	
8	CM68区・1層	深鉢・W5（?）	口縁部：小突起のつく平縁，無文	95
9	CM68区・1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	95
10	CM68区・1層	深鉢・N4a	口縁部：横位平行沈線文，交互斜突文，弧状区画沈線文	95
11	CM68区・1層	深鉢・S10a	口縁部：平縁：縦位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	95

第189図　東側遺物包含層（CM68区・2層上面，1層）

（7）68 列（CM68 区）

CM68 区：第 189 図

第 2 層上面：第 189 図 1

第 189 図 1:旧表土にくいこんで発見された。1981 年度土壙 233 埋土と接合関係がみられる。頸部がゆるやかにくびれ、胴部がふくらむ器形である。地文に縄文が施文してから、横位鋸歯状・山形状・菱形状の粘土紐が貼付されている。

第 1 層：第 189 図 2～11

第 189 図 2～3：波状縁を呈する口縁部破片である。地文に 1 は撚糸文、2 は縄文が施されている。

第 189 図 5：口縁部が直立し、胴部がゆるやかにすぼむ器形と思われる。複合口縁部と頸部隆帯が設けられ、半截竹管によって文様が構成されている。

第 189 図 10：口縁部上半が内傾する器形と思われる。横位平行沈線文、交互刺突文、連弧状沈線文が施されている。

第 189 図 4、6～9、11：地文のみの土器である。4 は口縁部が肥厚している。

（8）69 列（CM69 区）

CM69 区

第 5 層：第 190 図

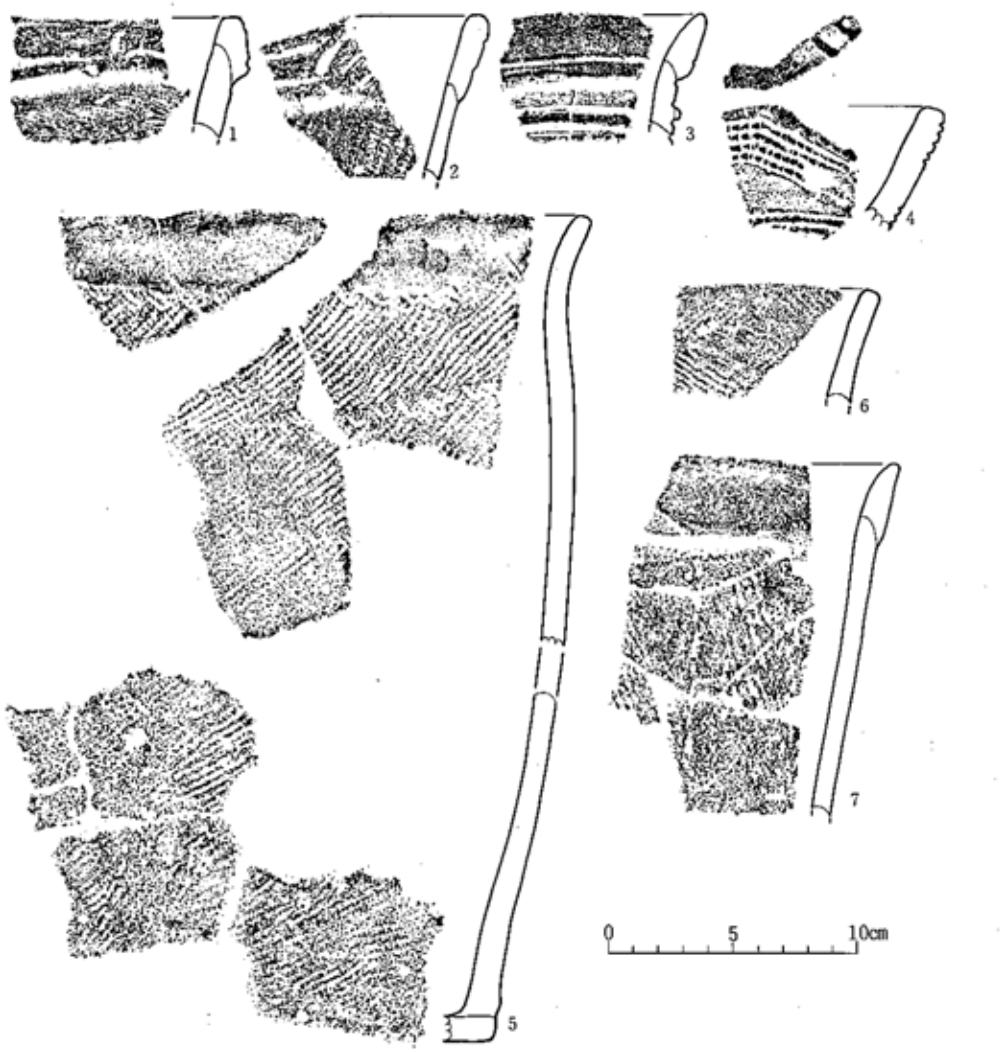
第 190 図 1～3：口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部には沈線文が施されている。3 の頸胴部には、横位隆帯・平行沈線文が施されている。

第 190 図 4：口縁部破片である。半截竹管による押引き文が施されている。

第 190 図 5～7：文様意匠の施されない土器である。5～6 は頸部がゆるくくびれ、7 は口縁部が複合口縁状を呈している。

第 4 層：第 191 図

第 191 図 1～2：文様意匠の施されない土器である。1 は口縁部上端に山形状の小突起が付さ



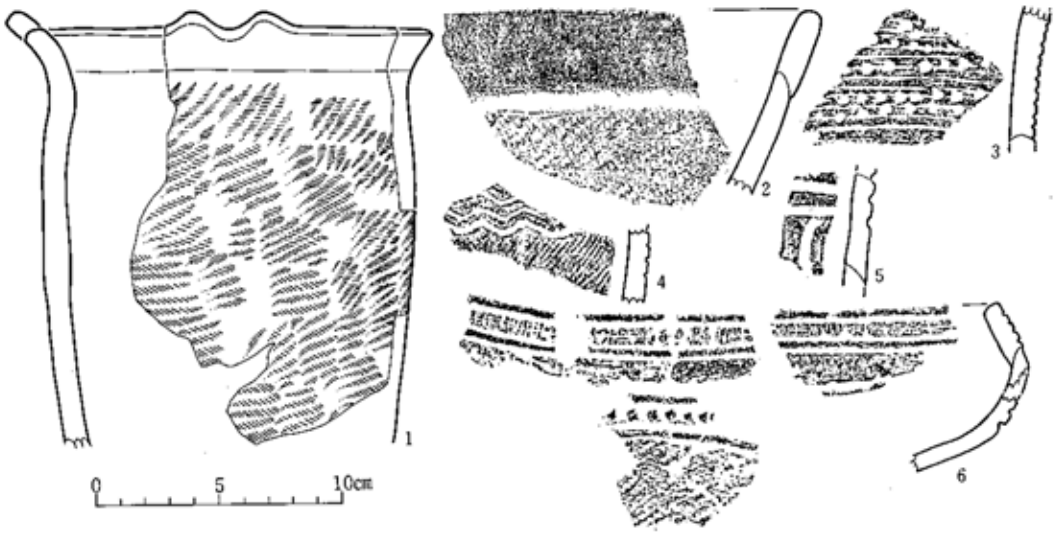
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM69区・5層	深鉢・A(I)	口縁部：平縁，横位沈線文．胴部：縄文（RR）	95
2	CM69区・5層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状縁，弧状沈線文．横位平行沈線文，胴部：縄文（LR）	95
3	CM69区・5層	深鉢・S4b(?)	口縁部：平縁，横位沈線文．頸胴部：横位隆帯，横位平行沈線文	95
4	CM69区・5層	深鉢・H4	口縁部：波状縁，縦位粘土紐貼付文〔上端〕，半截竹管による押引き文	95
5	CM69区・5層，CM69区・4層，CM69区・3層	深鉢・A(I)5b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一条），底部：網代底	96
6	CM69区・5層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，胴部：羽状縄文（LR,RL）	96
7	CM69区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一条）	96

第190図　東側遺物包含層出土土器（CM69区・5層）

れている。

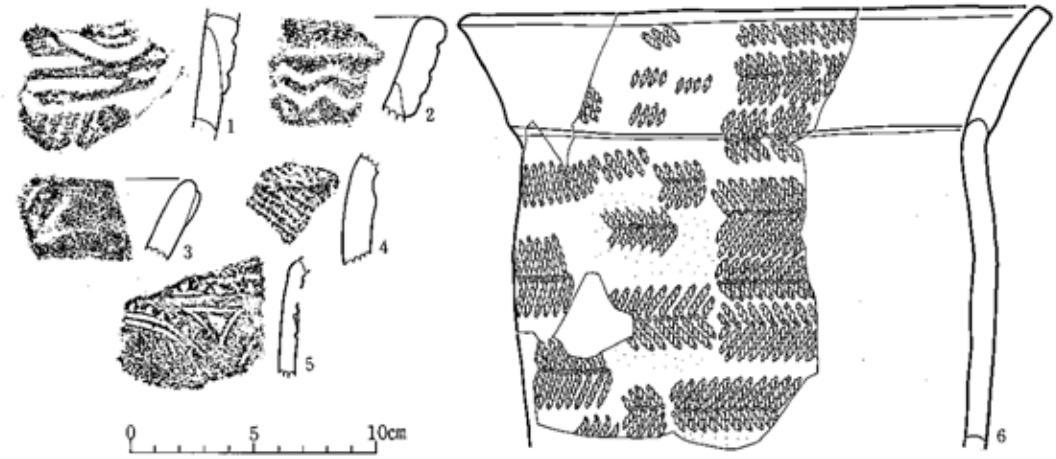
第 191 図 3〜5：頸胴部破片である。沈線文、半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 191 図 6：器形は口縁部中位から強く内傾している。半截竹管による平行沈線文・連続刺突文が横位に展開し、その間に縦位細沈線文と相対する三角形の彫去が組みあわされている。口縁下半部には、縄文結節文が横位回転によって施されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM69区・4層、CM69区・3層、CM69区・2層	深鉢・W2a	口縁部：小突起のつく平縁、無文、胴部：縄文（Rℓ）	96
2	CM69区・4層	深鉢・S10b	口縁部：平縁、無文、胴部：縄文（LR）	96
3	CM69区・4層	深鉢・A−	頸部：半截竹管による横位平行沈線文、半截竹管による連続刺突文	96
4	CM69区・4層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による弧曲状平行沈線文、縄文（Lr）	96
5	CM69区・4層	深鉢・−	口縁部：横位平行沈線文、円圏状沈線文	96
6	CM69区・4層	深鉢・K1	口縁部：平縁、半截竹管による横位平行沈線・押引き文、横位斜沈線文、三角形の刺突（上半）、縄文（LR） 横斜文（先端区一周）（下半）	96

第191図　東側遺物包含層出土土器（CM69区・4層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM69区・3層	深鉢・A(II)3(?)	口縁部：円形状沈線文、横位平行沈線文、胴部：縄文（LR）	97
2	CM69区・3層	深鉢・A(I)3	口縁部：平縁、横位沈線文、連続山形状沈線文	97
3	CM69区・3層	深鉢・A(II)1	口縁部：波状縁、叉状部に沿う縦線文	97
4	CM69区・3層	深鉢・−	口縁部・頸部：半截竹管による連続刺突文、胴部：縄文（RL）	97
5	CM69区・3層	深鉢・Cℓ(?)	胴部：三角形状沈線文、三角形の刺突文、三角形の彫去、縄文（Lr）、胎土：金雲母を多く含む	97
6	CM69区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）、胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	98

第192図　東側遺物包含層出土土器（CM69区・3層(1)）

第3層：第192図、第193図1〜7

第192図1〜3：口縁部は肥厚して外傾し、沈線文が施されている。

第192図4〜5：胴部破片である。5は三角形状の沈線文、三角形の刺突文、三角形の彫去が施されている。

第192図6：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。地文として結束羽状縄文が施されている。

第193図1〜5、7：口縁部〜胴部破片である。文様構成は明らかではない。沈線文や刺突文、隆線文が施されている。

第193図6：文様意匠の施されない土器である。

第3層上面：第193図8〜19、第194図

第193図8〜9：口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。口縁部に文様が施されている。

第193図10〜11：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。地文として縄文が施されている。

第193図12、14〜19：口縁部〜胴部破片で沈線文や刺突文が施される土器である。

第193図13：胴部から口縁部にかけてほぼ直線的に外傾する器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。

第194図1：胴部から口縁部にかけて、ゆるやかに外傾し、口縁上部と胴下部において若干反する器形である。口縁部には円環状突起が2つ貼付されている。頸部の4か所には、縦位橋状把手が設けられ、横位平行沈線文が描かれている。胴部は、区画隆線文と、区画に沿う平行沈線文が描かれ、隅の部分に彫去が加えられている。地文は縄文である。

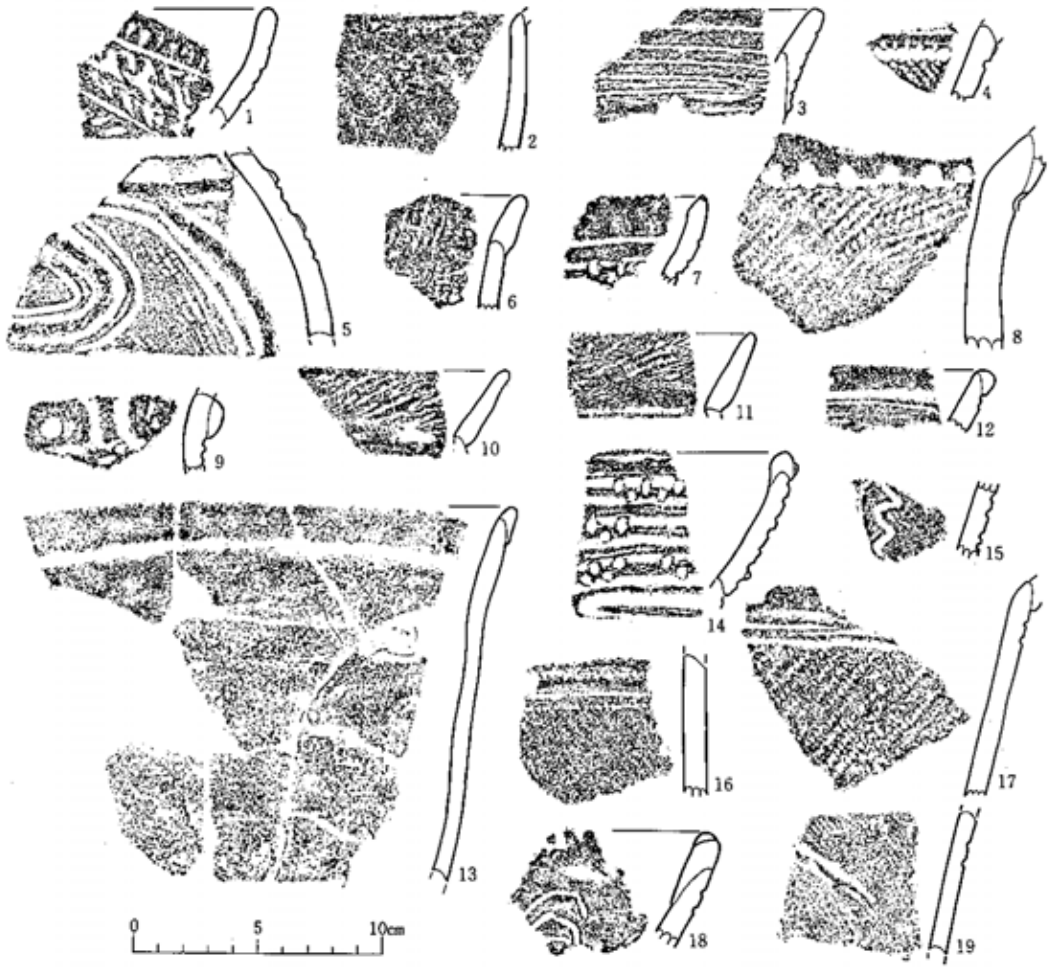
第2層：第195図、第196図1〜2

第195図1〜3：口縁部は外傾すると思われる。沈線文・刺突文が施されている。

第195図4、第196図1〜2：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。文様意匠は施されていない。

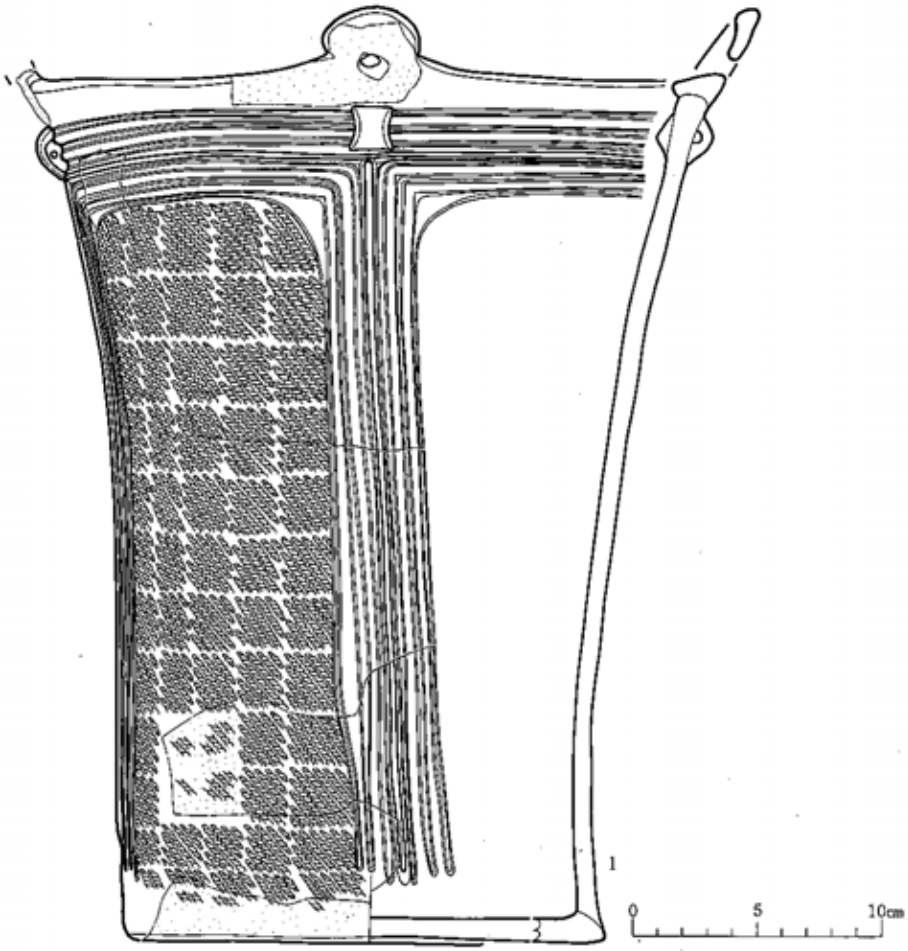
第1層：第196図3〜13

第196図3〜13：口縁部〜胴部破片である。いずれも文様構成は明らかではない。3は細い粘土紐貼付文、4〜9は沈線文・刺突文、13は横位平行沈線文が施されている。



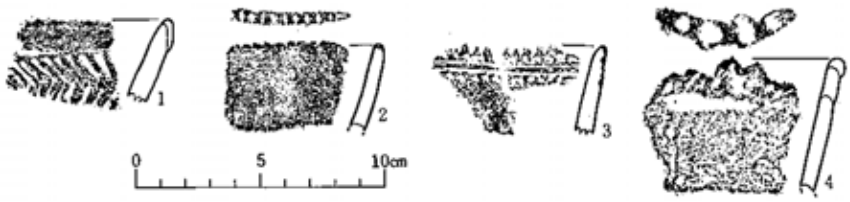
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CM69区・3層	深鉢・E(IIa)2b	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，矢羽根状短沈線文，三角形の彫去	98
2	CM69区・3層	深鉢・W4(?)	胴部：横位沈線，半截竹管による平行沈線文（渦巻状，「Y」字状），三角形の刺突文，磨滅が著しい	98
3	CM69区・3層	深鉢・D(I)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文	98
4	CM69区・3層	深鉢・－	頸部隆所，横位平行沈線文，三角形の刺突文，胴部：縄文（LR）	98
5	CM69区・3層	深鉢・N9a	胴部：弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	98
6	CM69区・3層	深鉢・S10b	口縁部：波状縁，縄文（RL+LR（S巻）），胴部：縄文（RL）	98
7	CM69区・3層	深鉢・－	口縁部：平縁，刻目文〔上端〕，横位平行沈線文，交互刺突文	98
8	CM69区・3層上面	深鉢・S9a	口縁部：細隆状正疵〔下端〕，胴部：縄文（LR）	98
9	CM69区・3層上面	深鉢・A－	口縁部：円環状貼付文，縦位の楕円形貼付文，頸部：半截竹管による押引き文	98
10	CM69区・3層上面	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（Lr）	98
11	CM69区・3層上面	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（Lr）	98
12	CM69区・3層上面	深鉢・E(I)4(?)	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文	98
13	CM69区・3層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	98
14	CM69区・3層上面	深鉢・D(I)1d	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文	98
15	CM69区・3層上面	深鉢・－	胴部：懸垂文，縦位連続山形文	98
16	CM69区・3層上面	深鉢・－	胴部：懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文・押引文，縄文（RL），胎土：金雲母を多く含む	98
17	CM69区・3層上面	深鉢・－	胴部：横位平行沈線文〔上部〕，結束（第1種）縄文（RL×RL）	98
18	CM69区・3層上面	深鉢・D(IIc2)4a(?)	口縁部：波状縁，縦位刻目文〔波頂部〕，渦巻文	98
19	CM69区・3層上面	深鉢・－	胴部：斜位沈線文，結束（第1種）縄文（Lr×Lr）	98

第193図　東側遺物包含層出土土器（CM69区・3層(2)，3層上面(1)）



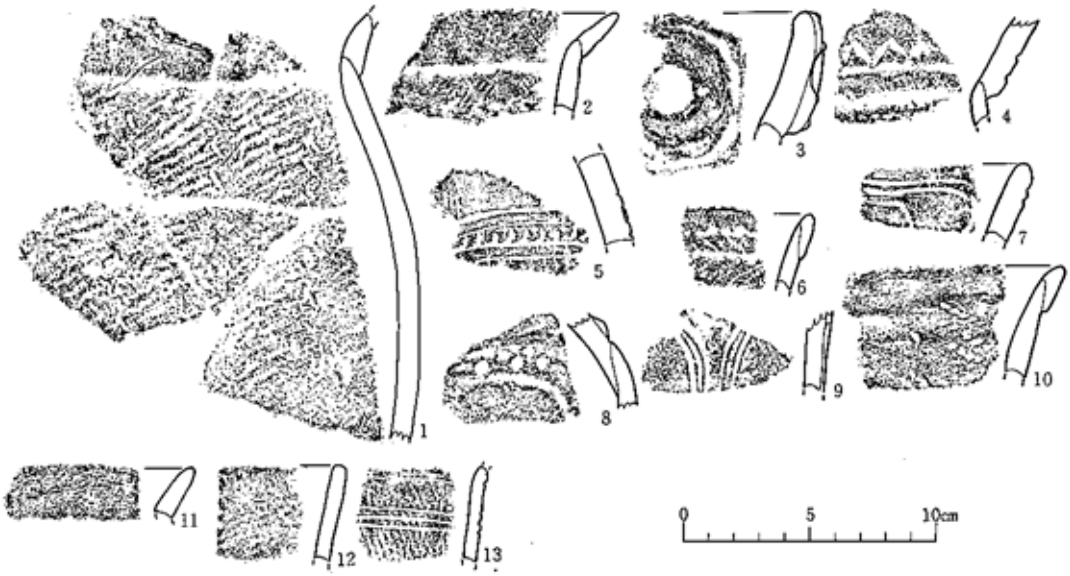
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM69区・3層上面	深鉢・S4a	口縁部：突起（円環状）のつく平縁，無文，頸部：縦位の環状肥手，横位平行沈線文，胴部：縄文・平行沈線による格子目状区画文，区画内の充填（十綾），縄文（LR）	3－2

第194図　東側遺物包含層出土土器（CM69区・3層上面(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM69区・2層	深鉢・D(I)	口縁部：平縁，無文（上部），羽状の縦沈線文	97
2	CM69区・2層	深鉢・S9(?)	口縁部：平縁，刻目文（上端），無文	97
3	CM69区・2層 CM69区・1層	深鉢・S--	口縁部：平縁，刻目文（上端），半截竹管による横位平行沈線文，連続刺突文	97
4	CM69区・2層	深鉢・W3b(?)	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（Lr）	97

第195図　東側遺物包含層出土土器（CM69区・2層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM69区・2層	深鉢・V2	口縁部：無文，胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	97
2	CM69区・2層	深鉢・V2	口縁部：平縁，無文，胴部：結束（第1種）羽状縄文（R ℓ ×Lr）	97
3	CM69区・1層	深鉢・H2a(?)	口縁部：波状縁，円環状貼付文（波頂部），円環状粘土紐貼付文	97
4	CM69区・1層	深鉢・A(I)3(?)	口縁部：横位沈線文，鋸歯状沈線文，胴部：縄文（LR）	97
5	CM69区・1層	深鉢・－	胴部：半截竹管による弧状平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	97
6	CM69区・1層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL）結節文，胴部：縄文（RL）	97
7	CM69区・1層	深鉢・S－	口縁部：波状縁，区画沈線文	97
8	CM69区・1層	深鉢・N9a	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	97
9	CM69区・1層	深鉢・S4b(?)	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	97
10	CM69区・1層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一連）	97
11	CM69区・1層	深鉢・W2b(?)	口縁部：平縁，無文	97
12	CM69区・1層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，結束（第1種）羽状縄文（R ℓ ×Lr）	97
13	CM69区・1層	深鉢・－	胴部：横位平行沈線文，縄文（RL）	97

第196図　東側遺物包含層出土土器（CM69区・2層(2)，1層）

（9）70列（CL70区・CM70区・CN70区）

CL70区

第6層：第197図～第198図

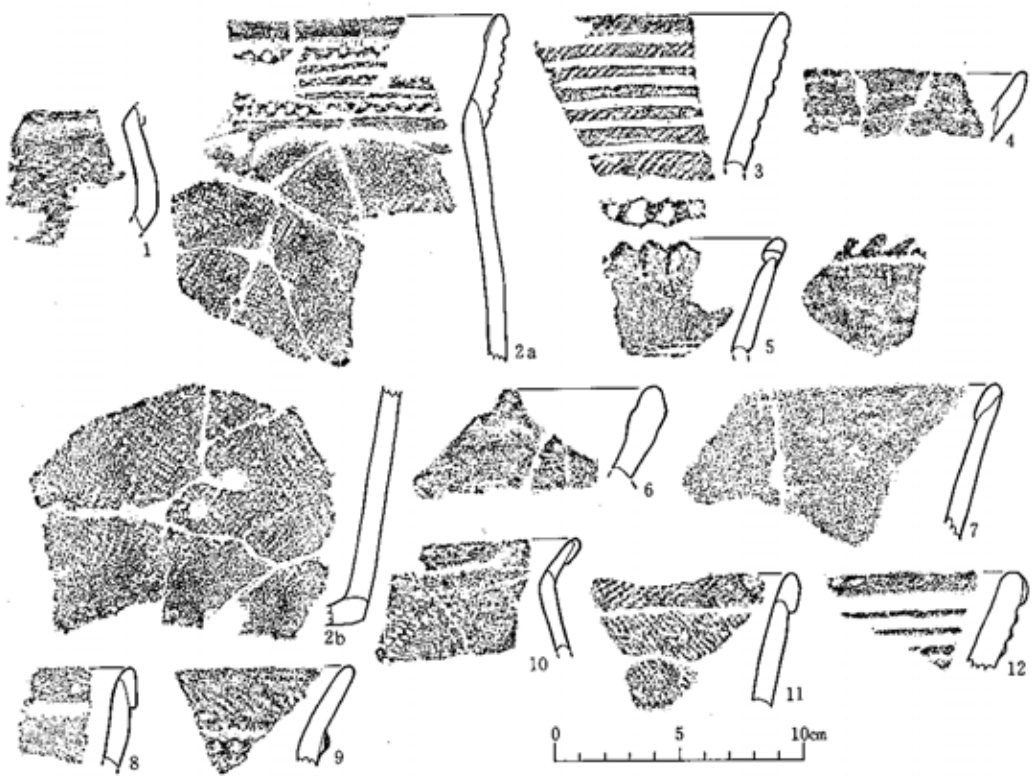
第197図1～2：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形と思われる。渦巻状の文様が、1は沈線文によって、2は粘土紐貼付文によって施されている。

第197図3：口縁部は内弯している。横位平行沈線文・押引き文が施されている。

第197図4：1981年度ピット20埋土と接合関係がみられる。頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部と胴上部に文様帯が設けられ、各々半截竹管によって施文されている。

番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CL70区・6層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状線，刻目文，同心円状沈線文，横位沈線文，縦位沈線文	3－4
2	CL70区・6層	深鉢・A(I)	口縁部：平縁，刻目文，渦巻状粘土紐貼付文，鋸歯状沈線文	99
3	CL70区・6層	深鉢・D(I)2	口縁部：平縁，横位平行沈線文，横位平行押引き文，胴部：縄文（RL）	99
4	CL70区・6層，1981年度Pit20埋土1層，CO69区・1層	深鉢・N3	口縁部：平縁，弧状押引き文，横位押引き文，頸部：横位隆帯，指頭状圧痕，胴部：横位押引き文，連続山形状押引き文，縄文（LR）	4－1
5	CL70区・6層	深鉢・N1(?)	頸部：横位沈線文，胴部：横位押引き文，弧状押引き文（上部），縄文（Lr）	99
6	CL70区・6層	深鉢・—	胴部：円形貼付文，縄文（LR）	99
7a,b,c	CL70区・6層	深鉢・H4	胴部：縦位・横位粘土紐貼付文，押引き文，縄文（LR）	99
8	CL70区・6層	深鉢・H6b	口縁部：横位粘土紐貼付文，鋸歯状粘土紐貼付文，頸部：橋状把手	99
9	CL70区・6層	深鉢・H6b	胴部：横位粘土紐貼付文，鋸歯状粘土紐貼付文	99
10a,b	CL70区・6層，CM70区・3層	深鉢・S4a(?)	胴部：半截竹管による渦巻状平行沈線文，縦位条線文，三角形刺突文	99
11	CL70区・6層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，刻目文（上端），縄文（LR），胴部：半截竹管による横位平行沈線文，（単位）	99

第197図　東側遺物包含層出土土器（CL70区・6層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CL70区・6層	深鉢・－	口縁部：縄文(RL)	99
2a,b	CL70区・6層	深鉢・D(Ⅰ)1d	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文，頸部：「Y」字状懸垂貼付文，胴部：結束(第1種)羽状縄文(RL×LR)	99
3	CL70区・6層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（RL）	99
4	CL70区・6層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	99
5	CL70区・6層	深鉢・W－(?)	口縁部：平縁，刻目文（上端），胴部：横位沈線文	99
6	CL70区・6層	深鉢・W2b	口縁部：波状縁，無文	99
7	CL70区・6層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	99
8	CL70区・6層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	99
9	CL70区・6層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（R d），頸部：横位の押圧縄文（R d）の施される隆帯	99
10	CL70区・6層	深鉢・W2b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）	99
11	CL70区・6層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	99
12	CL70区・6層	深鉢・S3c	口縁部：平縁，横位平行粘土紐貼付文	99

第198図　東側遺物包含層出土土器（CL70区・6層(2)）

第 197 図 5～7：胴部破片である。5、7 は押引き文、6 は円形貼付文が施されている。

第 197 図 8、9：頸部が強くくびれる器形である。鋸歯状に細い粘土紐が貼付されている。8 は頸部に橋状部が設けられている。

第 197 図 10：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が施されている。地文として縦位条線文が施されている。

第 197 図 11：口縁部破片である。口縁部上端に刻目文、胴部に半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 198 図 2～4、12：口縁部が外傾する器形である。口縁部に文様が構成されている。2 は横位平行沈線文・交互刺突文、3 は横位平行沈線文、4 は横位平行押圧縄文、12 は横位平行粘土紐貼付文が施されている。

第 198 図 1、5～11：口縁部破片である。文様意匠の施されない土器である。

第 5 層：第 199 図

第 199 図 1：口縁部は肥厚し短く外傾している。半截竹管による文様が胴部に施されている。

第 199 図 2～7：沈線文、刺突文が施されている破片である。6 の口縁部には横位の押圧縄文が施されている。

第 199 図 8～12：口縁部破片である。文様意匠は施されていない。

第 199 図 13：上面観が楕円形とした浅鉢形土器である。波頂部は小波状を呈し、縦位刻目文が施されている。

第 4 層：第 200 図

第 200 図 1：口縁部から胴部にかけて直線的に外傾する器形である。口縁部には小突起が付され、胴部地文は縄文結節文である。

第 200 図 2：胴部被片である。沈線文・刺突文が施されている。

第 200 図 3、4：口縁部に縄文が施される。浅鉢形土器である。胴部にはミガキ調整が施されている。

第 3 層：第 201 図

第 201 図 1～2：胴部破片である。弧状・山形状に粘土紐が貼付され、半截竹管による押引き文が加えられている。

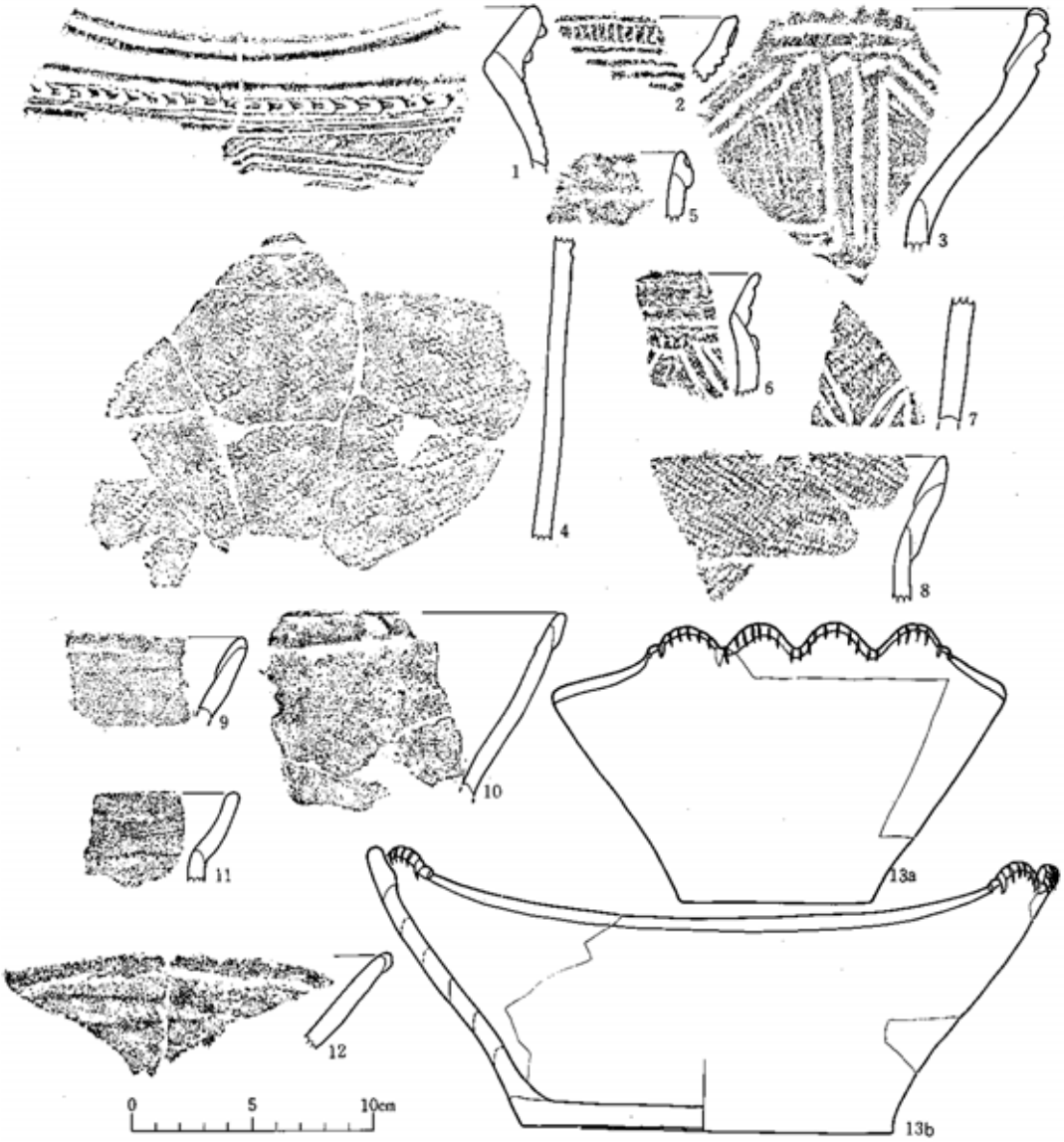
第 201 図 3～11：口縁部～胴部破片である。隆線文、沈線文が施されている。10 は胴部に文様帯が構成されている。

第 201 図 12～17：口縁部破片である。いずれも口縁部は外傾している。文様意匠は施されていない。

第 2 層：第 202 図、第 203 図 1～2

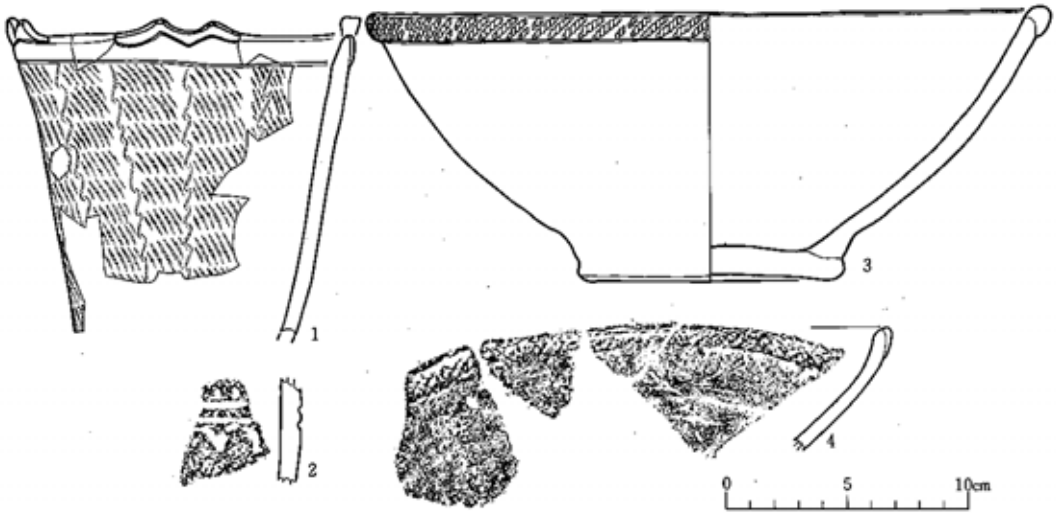
第 202 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部の形状は、4 単位の弁状を呈する波状縁である。

第 202 図 2～3、5～6：破片資料である。2 は弧状区画沈線文が施されている。3 は内面に



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL70区・5層 CM70区・2層	深鉢・N2	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆帯，頸部：半截竹管による平行沈線文，半截竹管による連続刺突文，縄文（LR）	100
2	CL70区・5層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，縦位斜沈線文	100
3	CL70区・5層 CL70区・3層	深鉢・D(Ⅱ(2)1a	口縁部：波状縁，刻目文（欠損部），区画沈線文，縄文（LR）	100
4	CL70区・5層	深鉢・－	頸部：横位沈線文，胴部：縄文（RL）	100
5	CL70区・5層	深鉢・S3b	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文，胴部：結節文	100
6	CL70区・5層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文(LR)，胴部：区画隆線文，刻目のつく楕円形貼付文，隆線に沿う沈線文	100
7	CL70区・5層	深鉢・－	胴部：連続山形文，縄文（RL）	100
8	CL70区・5層	深鉢・W3b	口縁部：縄文（RL），胴部：縄文（RL）	100
9	CL70区・5層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	100
10	CL70区・5層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平縁，無文	100
11	CL70区・5層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	100
12	CL70区・5層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文	100
13ab	CL70区・5層	浅鉢・B3	口縁部：波状縁，刻目文（欠損部）	4－3

第199図　東側遺物包含層出土土器（CL70区・5層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL75区・4層・CM70区・3層	深鉢・S10b	口縁部：小突起のつく平縁、無文、胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一段）	3－5
2	CL70区・4層	深鉢・－	胴部：横位平行沈線文、交互刺突文、連弧状沈線文、縄文（RL）	101
3	CL70区・4層	浅鉢・A8c	口縁部：平縁、縄文（LR）、胴部：無文（ミガキ）、底部：木葉底	4－2
4	CL70区・4層・CL75区・3層	浅鉢・A8c	口縁部：平縁、縄文（LR）、胴部：無文（ミガキ）	101

第200図　東側遺物包含層出土土器（CL70区・4層）

波状隆線文が施されている。5は指頭状圧痕を連続して施した後に、縄文結節文を施している。6は頸部隆帯下に文様が描かれている。

第202図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴上位でわずかに膨む器形である。胴部に懸垂沈線文・弧状沈線文が施されている。

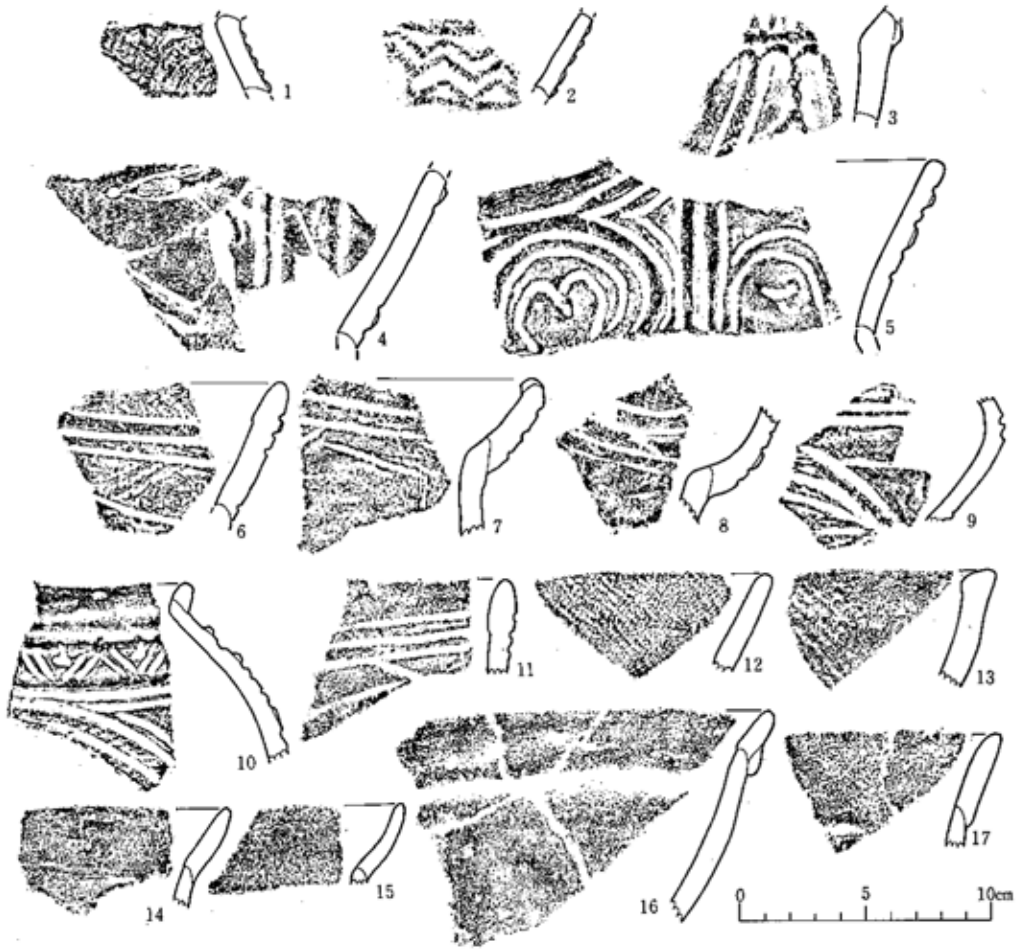
第203図1：胴部破片である。連弧状隆線文が貼付されている。

第203図2：胴底部資料である。

第1層：第203図3～5

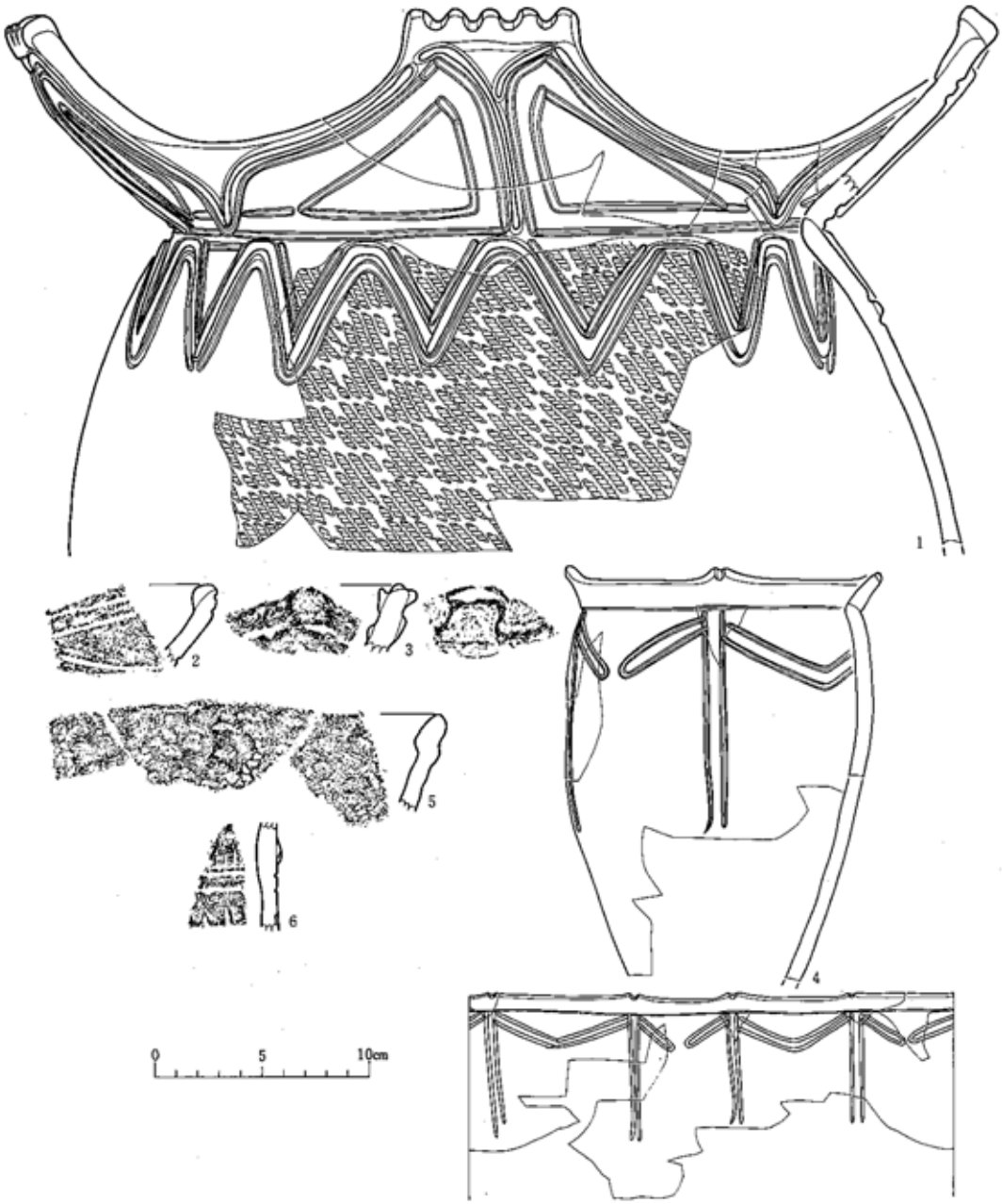
第203図3～4：口縁部破片である。3は隆線文、沈線文、三角形の彫去、4は連弧状貼付文、押圧縄文が施されている。

第203図5：胴部から口縁部にかけてほぼ直線的に外傾する器形である。地文として縄文が施されている。



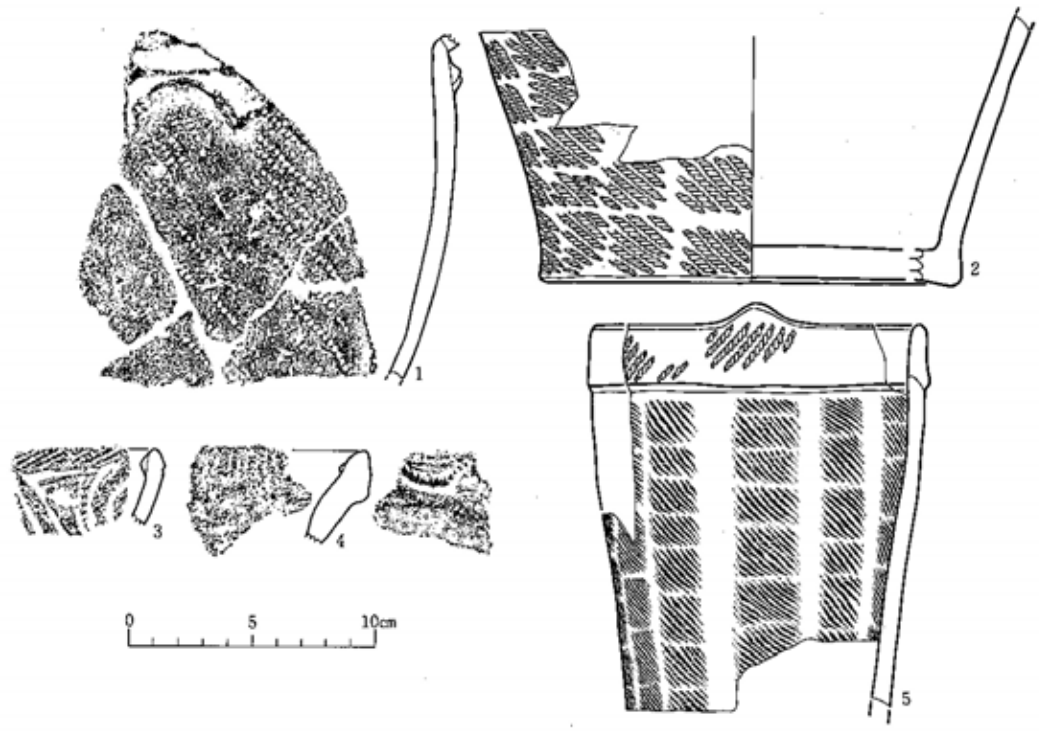
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL70区・3層	深鉢・H2a(?)	胴部：弧状隆線文，半截竹管による押引き文，縄文（LR）	101
2	CL70区・3層	深鉢・H6a	胴部：連続山形状隆線文，半截竹管による押引き文	101
3	CL70区・3層	深鉢・D(II(2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	101
4	CL70区・3層	深鉢・D(IIc2(?)1a	胴部：区画隆線文	101
5	CL70区・3層	深鉢・D(IIc2(?)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，三叉状沈線文	101
6	CL70区・3層	深鉢・D(IIc2(?)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	101
7	CL70区・3層	深鉢・D(IIc2(?)1a	口縁部：波状縁，区画沈線文	101
8	CL70区・3層	深鉢・−	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	101
9	CL70区・3層	深鉢・E(I)5(?)	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	101
10	CL70区・3層	深鉢・N5a	口縁部：平縁，無文，胴部：区画隆線文，連続山形文，三叉状沈線文，隆線に沿う沈線文	101
11	CL70区・3層	深鉢・S−	口縁部：平縁，横位平行沈線文，胴部：弧状沈線文	101
12	CL70区・3層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	101
13	CL70区・3層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）	101
14	CL70区・3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	101
15	CL70区・3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文，14と同一個体か（?）	101
16	CL70区・3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	101
17	CL70区・3層	深鉢・W2b(?)	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（?）	101

第201図　東側遺物包含層出土土器（CL70区・3層）



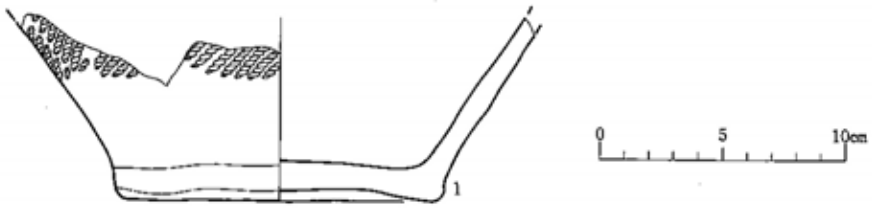
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図　版
1	CL70区・2層・1層, CL74区・2層・1層, CL75区・2層	深鉢・J1a	口縁部：波状縁，刺目文（鋭頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：連続山形状隆線文，縄文（LR）	102
2	CL70区・2層	深鉢・D(Ⅱa)(?)2	口縁部：波状縁，弧状区画沈線文	102
3	CL70区・2層	深鉢・－	口縁部：波状縁，盲孔（鋭頂部），波状隆線文（内面）	102
4	CL70区・2層, CL73区・1層	深鉢・N9a	口縁部：波状縁，無文，胴部：懸垂沈線文，弧状沈線文	5－3
5	CL70区・2層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，連続指頭状圧痕文，結節文（斜めぴー逆）縄文（LR）	102
6	CL70区・2層	深鉢・S－	頸部：縦位の刺目の施された隆帯，胴部：横位平行沈線文，縦位の沈沈線文	102

第202図　東側遺物包含層出土土器（CL70区・2層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL70区・2層	深鉢・N7a(?)	頸部：隆帯、胴部：連弧状隆線文、縄文（LR）	102
2	CL70区・2層	深鉢・—	胴部：縄文（LR）横回転、底部：網代底（2~4b）	
3	CL70区・1層	深鉢・C1(?)	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、三角形の彫去、縄文（LR）	102
4	CL70区・1層	浅鉢・A6	口縁部：波状縁、縦位の押圧縄文、連弧状貼付文・連弧状押圧縄文（内面）、胴部：無文	102
5	CL70区・1層	深鉢・—	口縁部：小突起のつく平縁、縄文(LR)、胴部：縄文（Lr）	5－2

第203図　東側遺物包含層出土土器（CL70区，2層(2)，1層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL70区・排土	深鉢・—	胴部：縄文（RL）、底部：網代底（任意1-1）	

第204図　東側遺物包含層出土土器（CL70区・排土）

CM70区

第6層：第205図

第205図1：胴中位からゆるやかに内弯する深鉢形土器である。複合する口縁部には一部鋸歯状を呈する横位沈線文が施されている。胴上部には、長方形状の区画文と弧状沈線文が組みあって施されている。地文は縄文である。

第 205 図 2：口縁部破片である。楕円形状の沈線文が描かれている。

第 205 図 3：胴部資料である。半截竹管による平行沈線文が幾何学的に配されている。

第 205 図 4～5：ともに同様の器形と思われる。4 は口縁部下端に指頭状圧痕が連続して施され、胴部は地文として縄文が施されている。5 は、口縁部下端に半截竹管による連続刺突文が施され、胴部は横位の条線文が施されている。

第 5 層：第 206 図 1

第 206 図 1：頸部がわずかにくびれ、口縁部は外傾し、胴部が直線的にすぼむ器形と思われる。頸部隆帯及び胴中部に「𝑥」字状区画隆線文が配されている。隆線に沿って沈線文、鋸歯状沈線文が描かれている。胴部地文として縄文が施されている。

第 4 層：第 206 図 2～14、第 207 図

第 206 図 2：胴部破片である。半截竹管による押引き文が施されている。

第 206 図 3～4：頸部がわずかにくびれる器形と思われる。3 は口縁部に半截竹管による横位平行沈線文と縦位短沈線文が配され、頸部には隆帯が付されている。4 は口縁部に「ハ」字状短枕線文が描かれている。

第 206 図 5～7：口縁部破片である。文様意匠の施されない土器である。

第 206 図 8：胴部破片である。半截竹管による平行沈線で渦巻文が描かれている。

第 206 図 9～11：口縁部が外傾し、内面上端は凸帯状に肥厚している。9 は円形竹管による連続刺突文、10～11 は沈線文によって文様が施されている。

第 206 図 12～14、第 207 図 1～3：文様意匠が施されない土器である。

第 207 図 4：底部資料である。胴部には懸垂隆線文が貼付されている。

第 3 層：第 208 図

第 208 図 1：口縁部破片である。口縁部下端に三角形の彫去が施されている。胴部に文様帯が構成されている。

第 208 図 2：頸部がわずかにすぼむ器形である。口縁部上端に刻目文が施されている。胴部には縄文結節文が施されている。

第 208 図 3～6：口縁部が外傾する器形と思われる。沈線文や刺突文、刻目文が施されている。6 は内面にも口縁部に沿って沈線文が施されている。

第 208 図 7～10、12：文様意匠が施されない土器である。

第 208 図 11、13～15：隆線文、沈線文によって文様が施されている。14 は横位平行押圧縄文

が施されている。

第 208 図 16：無文の浅鉢形土器である。

第 2 層：第 209 図 1～4

第 209 図 1～2：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 209 図 3：胴部破片である。渦巻状の沈線文と短沈線文が施されている。

第 209 図 4：無文の深鉢形土器である。

第 1 層：第 209 図 5～15

第 209 図 5～15：口縁部～胴部破片である。いずれも文様構成は明らかではない。隆線文や沈線文、刺突文、押圧縄文が施されている。

CN70 区

第 3 層：第 210 図 1～3

第 210 図 1～3：口縁部破片である。1～2 は、わずかに内弯しながら外傾する器形である。1 は横位沈線文と格子目状沈線文が施されている。2 は口縁部上端に刻目文が施されている。3 はゆるやかに内弯する器形である。口縁部上端には刻目文が施されている。

第 2 層：第 210 図 4～6

第 210 図 4：口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部は沈線文と刺突文が施されている。

第 210 図 5：口縁部から胴部にかけて、ほぼ直線的に外傾する器形である。刺突文が施されている。

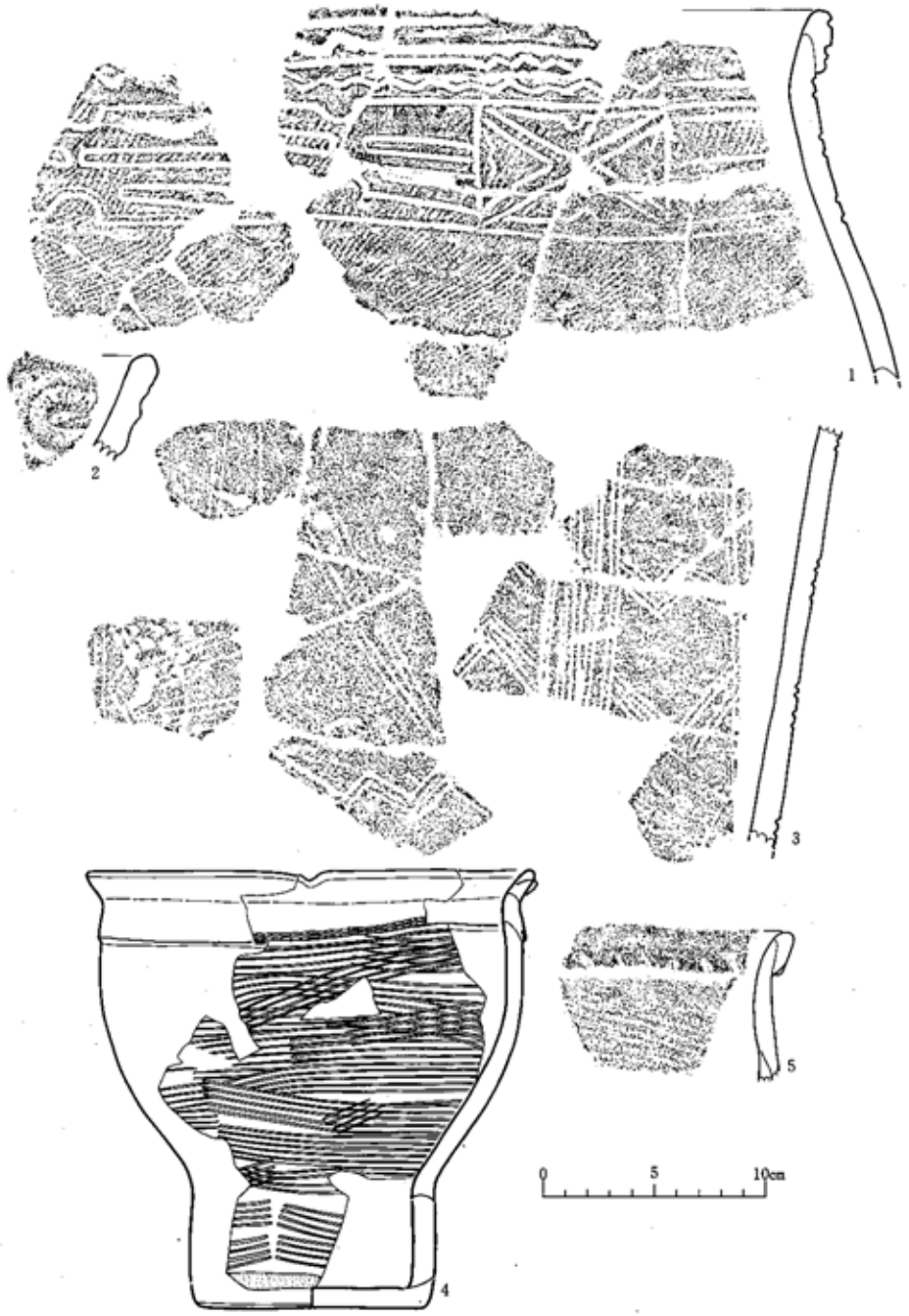
第 210 図 6：底部資料である。

第 1 層：第 210 図 7～9

第 210 図 7～9：口縁部～胴部破片である。7 は沈線文によって文様が描かれている。

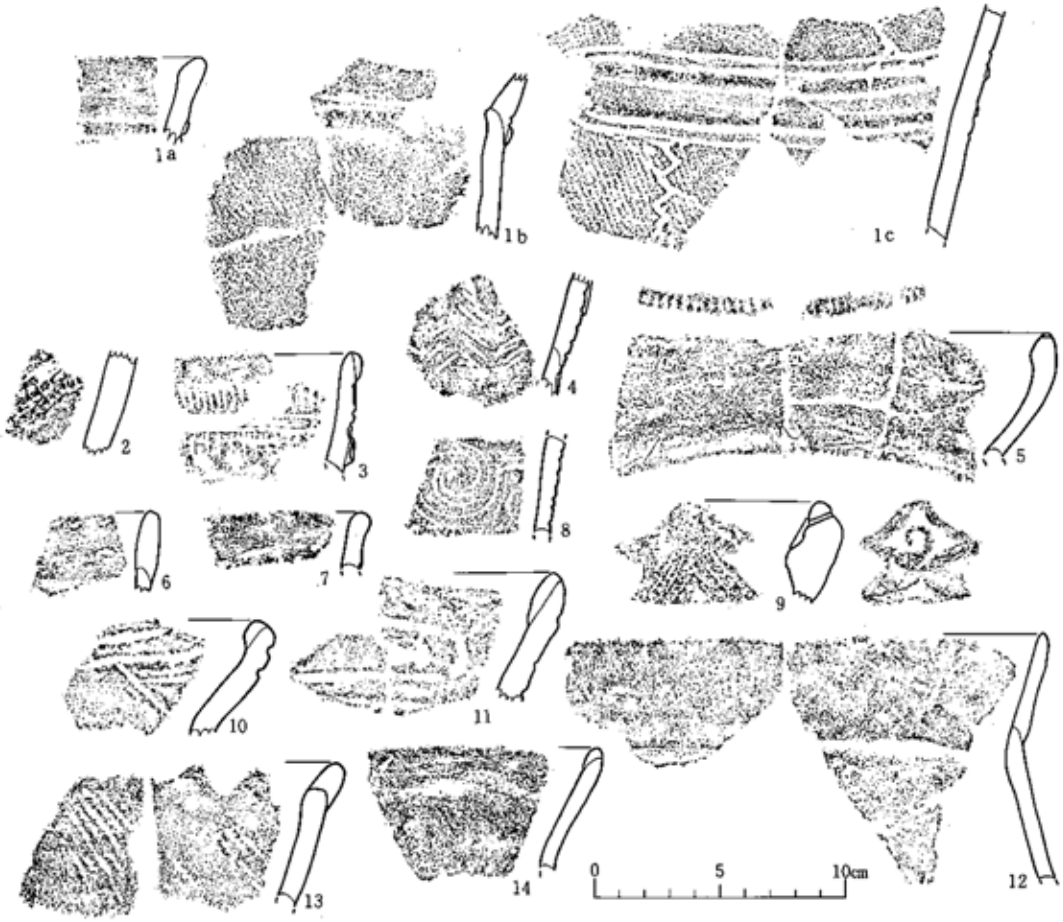
第 210 図 8：口縁部が外傾する器形である。隆線文が貼付されている。

第 210 図 9：頸部がゆるくくびれる器形である。交互刺突文とともに縦位の押圧縄文が施されている。



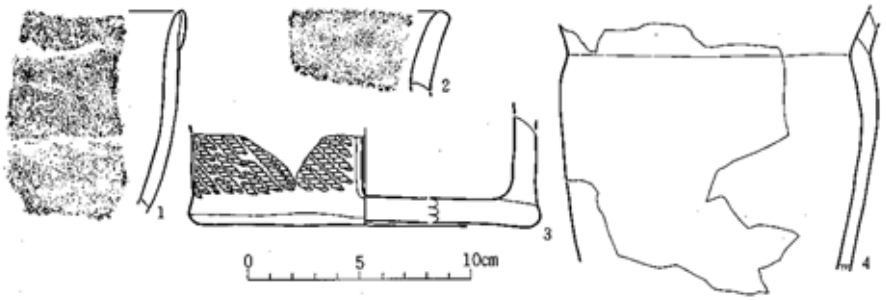
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM70区・6層・5層・4層	深鉢・B2	口縁部：波状線、横位平行沈線文、斜走状沈線文。胴部：長方形区画沈線文、弧状沈線文、縄文（LR）	103
2	CM70区・6層	深鉢・A(II)−	口縁部：波状線、楕円形区画沈線文	103
3	CM70区・6層、CL70区・6層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文（堅垂状、ω形状）、縄文（RL）結節文（片結び一重）	103
4	CM70区・6層、CL74区・6層、CM71区・5層	深鉢・H1	口縁部：平縁、半截竹管による連続刺突文（下端）、胴部：条線文	5−5
5	CM70区・6層	深鉢・S1a	口縁部：平縁、指頭状圧痕（下端）、胴部：縄文（RL）	103

第205図　東側遺物包含層出土土器（CM70区・6層）



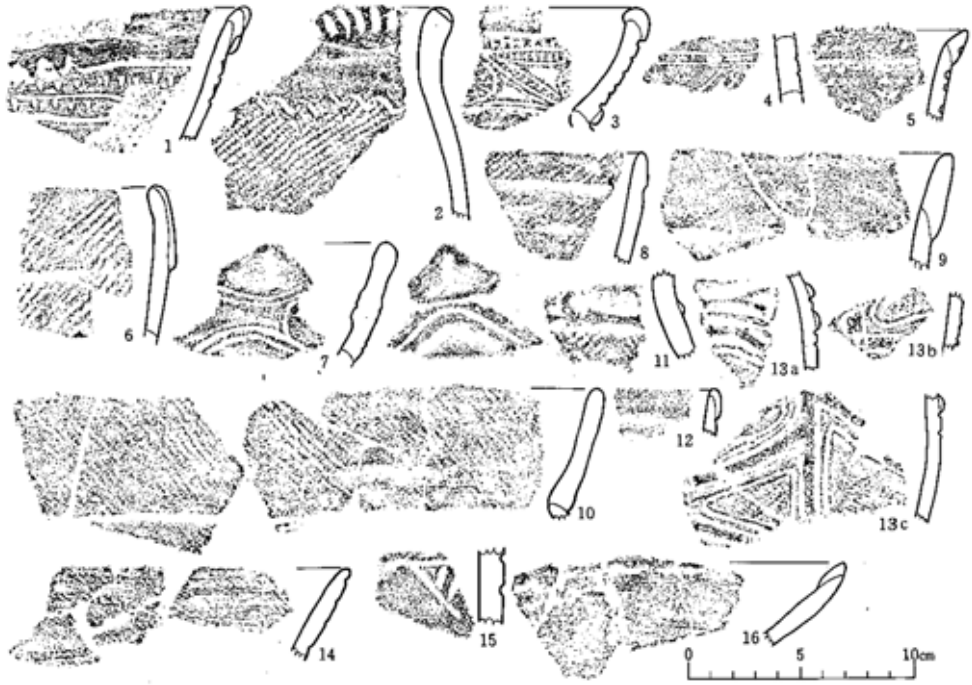
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b,c	CM70区・5層，CL71区・8層，CM70区・2層	深鉢・S4	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：「〆」字状区画隆線文，縦長状沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を含む	104
2	CM70区・4層	深鉢・N3(?)	胴部：半截竹管による押引き文	104
3	CM70区・4層	深鉢・S3	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，縦位短沈線文，頸部：横位隆帯，楕円状圧痕	104
4	CM70区・4層	深鉢・E(IIa)2a	口縁部：「〆」字状沈線文，頸部：縦位短沈線文	104
5	CM70区・4層，CL71区・8層	深鉢・H−	口縁部：波状縁，縦位刻目文（上端）	104
6	CM70区・4層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文，結節文，摩滅が著しい	104
7	CM70区・4層	深鉢・S8a	口縁部：平縁，無文，頸部：刺突文	104
8	CM70区・4層	深鉢・S4a(?)	胴部：半截竹管による平行沈線文（綾巻状）	104
9	CM70区・4層	深鉢・D(IIa)2	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，円形竹管による連続刺突文	104
10	CM70区・4層	深鉢・D(II−)−	口縁部：波状縁，区画沈線文	104
11	CM70区・4層	深鉢・D(II−)−	口縁部：波状縁，区画沈線文	104
12	CM70区・4層	深鉢・V4	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	104
13	CM70区・4層	深鉢・W3b	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	104
14	CM70区・4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	104

第206図　東側遺物包含層出土土器（CM70区・5層，4層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM70区・4層	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	105
2	CM70区・4層	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文	105
3	CM70区・4層	深鉢・－	口縁部：無文、胴部：無文	
4	CM70区・4層	深鉢・W5	胴部：垂直隆線文、縄文（LR）、底部：無文、粘土：金雲母を多く含む	

第207図　東側遺物包含層出土土器（CM70区・4層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM70区・3層	深鉢・E(I)4b(?)	口縁部：平縁、三角形の剥去（下端）、胴部：横位平行沈線文、下から突き上げられる刺突文	105
2	CM70区・3層	深鉢・A(I)5b(?)	口縁部：平縁、縦位刺目文（上端）、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一組）	105
3	CM70区・3層	深鉢・H2b	口縁部：平縁、円形及び楕円形の組みあわせ状沈線文、三角形の剥去	105
4	CM70区・3層	深鉢・－	口縁部：平縁、無文、胴部：半截竹管による平行沈線文	105
5	CM70区・3層	深鉢・D(I)－	口縁部：平縁、下から突き上げられる刺突文	105
6	CM70区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	105
7	CM70区・3層	深鉢・D(IIa)2	口縁部：波状縁、半截竹管による平行沈線文（外面）、口縁に沿う沈線文（内面）	105
8	CM70区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁、山形の横位沈線文、縄文（LR）、胴部：無文	105
9	CM70区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁、無文、胴部：結節文（片結び一組）	105
10	CM70区・3層・2層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	105
11	CM70区・3層	深鉢・－	口縁部：「〆」字状区画隆線文、胴部：縄文（RL）	105
12	CM70区・3層	深鉢・S11b	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	105
13a,b,c	CM70区・3層	深鉢・F(II)1	頸部：無文、胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（RL）	105
14	CM70区・3層・2層	深鉢・E(I)2a	口縁部：平縁、押圧縄文（LL）、縄文（LL）結節文（片結び一組）	105
15	CM70区・3層	深鉢・－	胴部：三角形状沈線文、斜沈線文	105
16	CM70区・3層・2層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	105

第208図　東側遺物包含層出土土器（CM70区・3層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM70区・2層	深鉢・H2a	口縁部：波状線，半截竹管による平行沈線文	106
2	CM70区・2層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，弧状沈線文	106
3	CM70区・2層	深鉢・H2b	胴部：渦巻状沈線文，斜沈線文	106
4	CM70区・2層	深鉢・S11b	口縁部：小突起のつく平縁，無文	106
5	CM70区・1層	深鉢・H2a(?)	口縁部：平縁，粘土紐貼付文	106
6	CM70区・1層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状線，弧状沈線文（波頂部），口縁に沿う沈線文	106
7	CM70区・1層	深鉢・A(II)1	口縁部：波状線，隆位粘土紐貼付文（又状部），渦巻状隆線文	106
8	CM70区・1層	深鉢・A(I)−	口縁部：平縁，横位沈線文	106
9	CM70区・1層	深鉢・A−	頸部：押圧縄文（RL）の施される隆帯，胴部：横位平行沈線文，縄文（LR）	106
10	CM70区・1層	深鉢・S3a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縦位短沈線文，三角形の彫去	106
11	CM70区・1層	深鉢・N9a	胴部：区画沈線文，縄文（Lr）	106
12	CM70区・1層	深鉢・N9a	胴部：渦巻状沈線文，縄文（RL）	106
13	CM70区・1層	深鉢・D(I(?))8c	口縁部：相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	106
14	CM70区・1層	深鉢・W4(?)	胴部：半截竹管による平行沈線文	106
15	CM70区・1層	深鉢・W4(?)	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（RL）	106

第209図　東側遺物包含層出土土器（CM70区・2層・1層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN70区・3層	深鉢・D(I)−	口縁部：平縁，横位沈線文，縦位格子II状沈線文	106
2	CN70区・3層	深鉢・E(II−)−	口縁部：波状縁，刻目文（上端），縄文（LR）	106
3	CN70区・3層	深鉢・U−	口縁部：平縁，刻目文（上端）	106
4	CN70区・2層	深鉢・A(I)2	口縁部：平縁，山形状沈線文，弧状沈線文，連続刺突文	106
5	CN70区・2層	深鉢・E(I)4b(?)	口縁部：平縁，連続刺突文，胴部：横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯上）	105
6	CN70区・2層	深鉢・−	胴部：無文，底部：無文	
7	CN70区・1層	深鉢・J1a	胴部：平行沈線文，縄文（LR）	106
8	CN70区・1層	深鉢・−	口縁部：小突起のつく平縁，隆線文，縄文（Lr）	106
9	CN70区・1層	深鉢・S−(?)	口縁部：平縁，縦位の押圧縄文（LR），交互刺突文，胴部：押圧縄文（LR）の施される隆線文，入組状沈線文	106

第210図　東側遺物包含層出土土器（CN70区・3層・2層・1層）

（10）71 列（ＣＬ71 区・ＣＭ71 区・ＣＮ71 区）

ＣＬ71 区

第９層：第 211 図 1～6

第 211 図 1：口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部には弧状の沈線文が描かれている。

第 211 図 2、6：口縁部がゆるやかに外反する器形である。2 は半截竹管によって山形状の文様が描かれている。

第 211 図 3：口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。細い粘土紐によって文様が構成されている。

第 211 図 4：胴部破片である。半截竹管によって文様が描かれ、彫去が施されている。

第 211 図 5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。

第８層：第 211 図 7～14、第 212 図

第 211 図 7～9：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が肥厚する器形と思われる。7 は隆線上に半截竹管による押引き文が、8・9 は平行沈線文が施されている。

第 211 図 10～11：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。平行沈線文間に、梯子状に短沈線文が描かれている。

第 211 図 12～14：文様意匠が施されない土器である。

第 212 図 1～2：頸部がすぼみ、口縁部が短く外反する器形である。頸胴部に隆線文、沈線文によって文様が施されている。

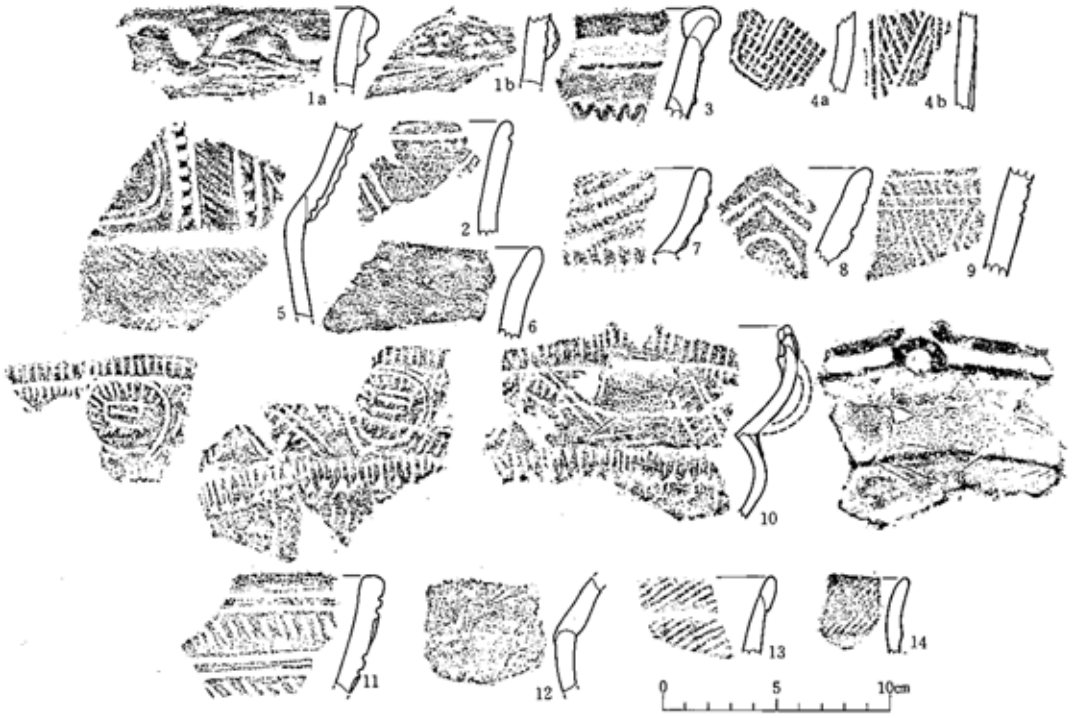
第 212 図 3：頸部がゆるやかにくびれる器形と思われる。隆線文・沈線文によって文様が施されている。

第７層：第 213 図

第 213 図 1～6：口縁部が肥厚し、頸部がゆるやかに外反する器形と思われる。沈線文・連続刺突文によって文様が描かれている。

第 213 図 7～8：口縁部が内弯しながら外傾し、頸部が強くくびれる器形である。8 は頸部に橋状把手が配されている。

第 213 図 9～10：口縁部から胴部にかけて直線的に外傾する器形である。頸部には隆帯が設けられている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CL71区，9層	深鉢・A(Ⅰ)3	口縁部：平縁，弧状沈線文，半截竹管による平行沈線文（下半），頸部：横位隆帯，半截竹管による連続刺突文，胴部：縄文（LR）	107
2	CL71区・9層	深鉢・S6b(？)	口縁部：平縁，横位沈線文，半截竹管による平行沈線文	107
3	CL71区・9層	深鉢・S2	口縁部：平縁，横位粘土紐貼付文，鋸歯状粘土紐貼付文	107
4a,b	CL71区・9層・8層	深鉢・K3b	胴部：半截竹管による平行沈線文（区画文），格子目状沈線文	107
5	CL71区・9層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：横位隆線文，指頭状圧痕，弧状沈線文，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	107
6	CL71区・9層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	107
7	CL71区・8層	深鉢・H4	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，半截竹管による押引き文，頸部：横位隆帯，刻目文	107
8	CL71区・8層	深鉢・D(Ⅱa)～	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，半円形文	107
9	CL71区・ベルト8層	深鉢・－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	107
10	CL71区・8層，CM71区・4層，CM71区・1層	深鉢・H2b	口縁部：小突起のつく平縁，横位楕円沈線文，円形及び山形の組み合わせ状沈線文，頸部：横位楕円沈線文，三角形の刺突，胴部：縄文（片結び一種）	107
11	CL71区・8層	深鉢・E(Ⅰ)4b	口縁部：平縁，接位平行沈線文，斜位楕円沈線文	107
12	CL71区・ベルト8層	深鉢・V4	口縁部：無文，胴部：無文	107
13	CL71区・ベルト8層	深鉢・S15b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	107
14	CL71区・8層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	107

第211図　東側遺物包含層出土土器（CL71区・9層，8層(1)）

第213図11～14、19～20：文様意匠が施されない土器である。口縁部は外傾している。

第213図15～18：隆線文、沈線文によって文様が施されている。15は口縁部が外傾する器形である。18の口縁上部は内弯している。

第6層：グリット北部にのみ認められた遺物を含まない粘土層である。ＣＬ72 区では明確に確認できず面的にはひろがらない。

第5層：第 214 図

第 214 図 1：口縁部破片で、鋸歯状沈線文と縦位沈線文が施されている。

第 214 図 2、4～6：文様意匠が施されない土器である。5 は、頸部がゆるくくびれる器形である。6 は、口縁部が複合口縁状を呈している。

第 214 図 3、7～8：口縁部が外傾する器形と思われる。隆線文、沈線文が施されている。

第 214 図 9～10：頸部が「く」字状にくびれる器形である。隆線文、押圧縄文が施されている。

第4層：第 215 図

第 215 図 1：口縁部が肥厚し外傾する器形である。口縁部には縦横の沈線文が施されている。

第 215 図 2：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。

第 215 図 3：口縁部破片である。上端に刻目文が施されている。

第 215 図 4：頸部が「く」字状にくびれる器形である。頸部隆帯の上下に沈線文と刺突文が施されている。

第 215 図 5～9：頸部がくびれる器形である。文様意匠は施されていない。

第3層：第 216 図

第 216 図 1～6：口縁部破片である。文様構成は明らかではない。粘土紐貼付文や沈線文などが施されている。

第 216 図 7～8、12～13、15：文様意匠が施されない土器である。7 は頸部に刺突文が、12・15 は頸部に沈線文が各々施されている。

第 216 図 11：口縁部破片で、刺突文が口縁上部に施されている。

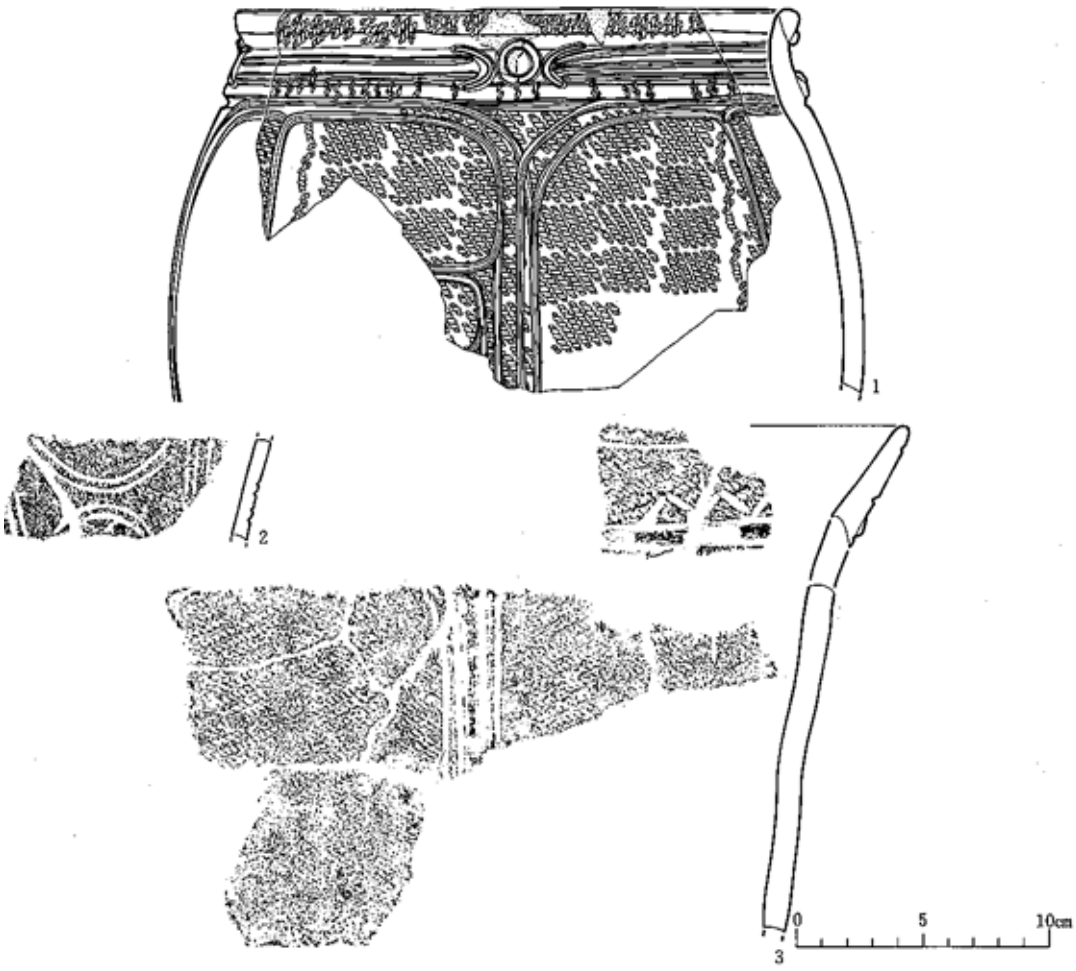
第 216 図 10、14：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。口縁部は区画隆線文と沈線文によって構成されている。

第 216 図 16：頸部が「く」字状にくびれる器形である。口縁部は横位押圧縄文が施されている。

第 216 図 17：胴部破片である。隆線文と沈線文によって文様が施されている。

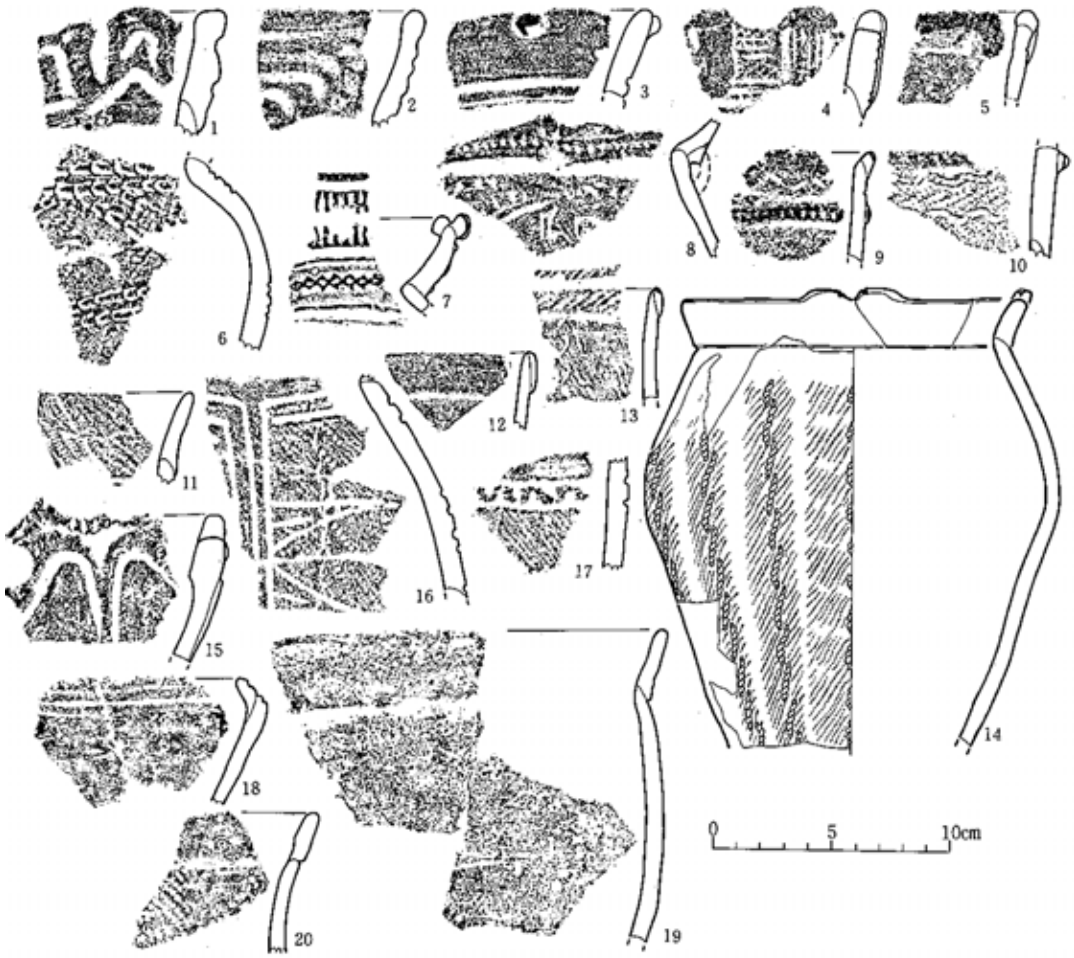
第2層：第 217 図 1～6

第 217 図 1～6：口縁部～胴部破片である。いずれも文様構成は明らかではない。沈線文や押圧縄文、隆線文などが施されている。



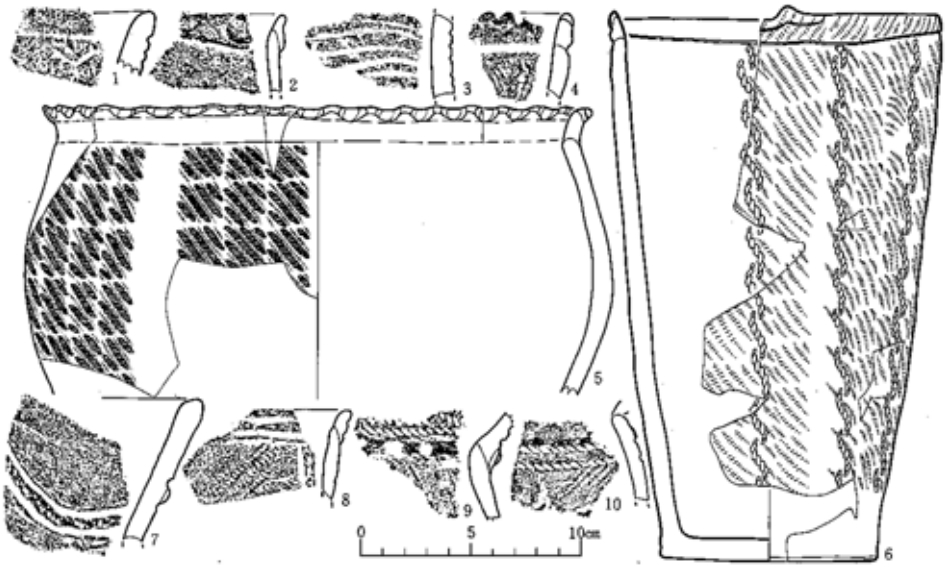
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL71区・8層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，縄文（LR），頸部：すよう字状区画貼付文，円環状貼付文，横位平行沈線文，胴部：区画沈線文，連弧状沈線文，縄文（LR）地紋文	5－4
2	CL71区・8層	深鉢・N9a(?)	胴部：縦位押引き文（懸垂文，弧状文）	108
3	CL71区・8層	深鉢・IX(IIc2(?)10)	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，横位沈線文，連続山形文，縄文（RL），胴部：懸垂施線文，施線に沿う沈線文，縄文（RL）	108

第212図　東側遺物包含層出土土器（CL71区・8層(2)）



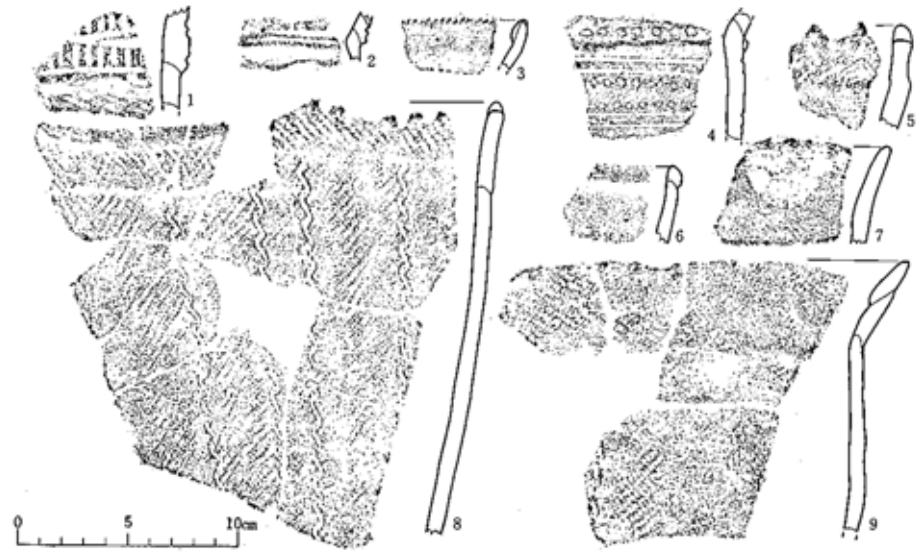
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL71区・7層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状線，沈線文（半円状，長方形，山形），胴部：縄文（LR）	108
2	CL71区・ベルト7層	深鉢・A(I)4(?)	口縁部：平線，弧状沈線文	108
3	CL71区・7層	深鉢・A(I)−	口縁部：平線，円形貼付文，胴部：横位平行沈線文	108
4	CL71区・7層	深鉢・A(1)1−	口縁部：小突起のつく平縁，半截竹管による平行沈線文（縦位，横位），縄文（LR）	108
5	CL71区・ベルト7層	深鉢・A(1)5−	口縁部：平縁，縦位隆線文，横位沈線文	108
6	CL71区・7層	深鉢・N3	胴部：半截竹管による押引き文（横位，山形，半円状），縄文（LR）	108
7	CL71区・7層	深鉢・H6b	口縁部：平縁，縦位粘土紐貼付文（上端），連続「メ」字状粘土紐貼付文，横位粘土紐貼付文	109
8	CL71区・ベルト7層	深鉢・H6b	口縁部：横位半円形刺突文，縦位三角形刺突文，頸部：櫛状施文，胴部：半截竹管による平行沈線文（綾杉状・弧状），三角形刺突文	108
9	CL71区・7層	深鉢・S2	口縁部：平縁，隆帯，刻目文（上端），連続山形文，頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：結束（第2種）羽状縄文（LR×RL）結節文（片結び一段）	108
10	CL71区・7層	深鉢・S−	頸部：横位隆帯，刻目文，胴部：結束（第2種）羽状縄文（LR×RL）結節文（片結び一逆）	108
11	CL71区・7層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL）結節文（片結び一組）	108
12	CL71区・ベルト7層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	108
13	CL71区・7層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，斜位刻目文（上端），縄文（LR），胴部：縄文（L $\left\{\begin{smallmatrix}R\\L\end{smallmatrix}\right.$） 結節文（片結び一逆）	108
14	CL71区・7層	深鉢・V2	口縁部：小突起のつく平縁，無文，胴部：縄文（RR）結節文（片結び一逆）	5−1
15	CL71区・7層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状線，縦位刻目文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	108
16	CL71区・7層	深鉢・L1a	胴部：区画沈線文，弧状沈線文，縄文（L $\left\{\begin{smallmatrix}R\\L\end{smallmatrix}\right.$） 結節文（片結び一逆）	109
17	CL71区・7層	深鉢・N9a	胴部：横位交互刺突帯，縄文（LL）結節文（片結び一逆）	108
18	CL71区・7層	深鉢・X−	口縁部：平縁，横位平行沈線文	108
19	CL71区・7層，3層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	
20	CL71区・7層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	108

第213図　東側遺物包含層出土土器（CL71区・7層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL71区・5層	深鉢・S2	口縁部：平縁、横位沈線文、横位隆線状貼付文、縦位沈線文	109
2	CL71区・5層	深鉢・S2a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	109
3	CL71区・5層	深鉢・-	胴部：沈線文（横位、縦位）、縄文（LRH）	109
4	CL71区・ベルト1・5層	深鉢・S2b	口縁部：小突起のやや平縁、無文、胴部：横位沈線文、胴部：縄文（Lr）縦走文（内傾2Y→3L）	101
5	CL71区・5層 CL71区・6層 CM82区・2層 CM83区・2層	深鉢・V2	口縁部：平縁・横位沈線文（2条）、胴部：縄文（L）	5-1
6	CL71区・5層	深鉢・S2b	口縁部：小突起のやや平縁、縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）縦走文（内傾2Y→3L）、底部：網代痕（2×4）痕	5-6
7	CL71区・5層	深鉢・(S1.5)(T2.5a)	口縁部：波状縁、肥厚隆線文、隆帯の右1方向刺文、縄文（RL）（隆線上）	109
8	CL71区・ベルト3・5層	深鉢・S5a(T)	口縁部：平縁、横位平行沈線文、胴部：斜縄文（縄地、原体）、縄文（RL）	109
9	CL71区・5層	深鉢・S-	口縁部：波状押引縄文（LR）、隆帯：横位隆帯、指頭押圧痕、胴部：縄文（LR）	109
10	CL71区・5層	深鉢・J3b	胴部：横位沈線縄文文、隆帯60度1方向刺縄文（LR）、縦位斜位縄文（LR）、縄文（LR）	109

第214図　東側遺物包含層出土土器（CL71区・5層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL71区・ベルト4・4層	深鉢・S3a	口縁部：沈線文（横位・縦位）、胴部：縄文（R.r）	109
2	CL71区・4層	深鉢・C1	口縁部：横位沈線文、三角押小突出、胴部：無文	109
3	CL71区・4層	深鉢・S5(T.)	口縁部：平縁、刺目文（1.5条）	109
4	CL71区・ベルト4・4層	深鉢・D-	口縁部：円形竹管による連続刺突文、胴部：隆帯、胴部：連合平行沈線文、円形竹管による連続刺突文	109
5	CL71区・4層	深鉢・S2b	口縁部：小突起のやや平縁、縄文（LL）、胴部：縄文（LL）	109
6	CL71区・4層	深鉢・S2a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	109
7	CL71区・ベルト4・4層	深鉢・S2b	口縁部：平縁、無文	109
8	CL71区・ベルト4・4層	深鉢・V2b	口縁部：波状縁、刺目文（縦原体2）、縄文（2L）、胴部：縄文（2L）縦走文（内傾2Y→3R）	109
9	CL71区・ベルト4・4層	深鉢・V2b	口縁部：平縁、縄文（2L）、胴部：縄文（2L）縦走文（内傾2Y→3R）	109

第215図　東側遺物包含層出土土器（CL71区・4層）